

GOVP3198012461

362.951×538

朝鮮に於ける救濟制度の沿革

1929

朝鮮總督府



例 言

- 1 本要覽ハ朝鮮ニ於ケル各種社會事業團體ニ就キ其ノ名稱・所在地・組織及事業ノ現況・經營狀況並沿革等ヲ記述シタルモノナリ
- 2 本要覽ハ昭和四年六月ヨリ同八月迄ノ間ニ於ケル事業ニツキ各道ノ報告ニ基キ記述シタルモノナリ
- 3 本要覽ハ倉卒ノ調査ニ成ルヲ以テ收錄セル各種社會事業團體ノ内容ニツキ幾多ノ誤謬脱漏アルヲ免レズ夫等ハ他日ヲ期シテ改訂スル所アルベシ
- 4 附録トシテ朝鮮舊來ニ於ケル社會事業ノ推移ヲ知ルニ便センタメ救濟制度沿革ヲ掲記セリ

昭和四年九月

朝鮮總督府內務局社會課

內 容

	頁
1 育 兒 事 業.....	1
2 兒童健康相談事業.....	10
3 貧兒教育事業.....	12
4 特殊教育事業.....	15
5 感 化 事 業.....	16
6 社 會 教 化 事 業.....	17
7 職 業 紹 介 事 業(附人事相談事業).....	23
8 授 產 事 業.....	31
9 簡 易 宿 泊 所.....	35
10 公 娼 市 場.....	39
11 公 衆 食 堂.....	49
12 公 設 浴 場 事 業(附公設理髮事業、 公設洗濯)	50
13 公 益 質 業.....	63
14 小額生業資金貸付事業.....	65
15 公 設 住 宅.....	73
16 窮 民 救 助 事 業(附行旅病人救護事業).....	78
17 養 老 事 業.....	115
18 隣 保 事 業.....	118
19 方 面 委 員.....	121
20 釋 放 者 保 護 事 業.....	122
21 聯 絡 助 成 機 關.....	149

附 錄

朝鮮ニ於ケル救濟制度ノ沿革.....	1
--------------------	---

索 引

(1) 育 兒 事 業

1. 朝鮮總督府濟生院養育部.....	11 1
2. 財團法人鎌倉保育園京城支部.....	1
3. 財團法人京城保育院.....	2
4. 天主教會嬰兒院.....	2
5. 救世軍育兒ホーム.....	3
6. 仁川天主教堂附屬孤兒院.....	3
7. 聖公會孤兒院.....	4
8. 虎溪豐德院.....	4
9. 同民會公州救濟院 公州支部.....	5
10. 瑞山孤兒救濟會.....	5
11. 鷄籠豐德院.....	6
12. 金堤救濟院.....	6
13. 財團法人朝鮮扶植農園.....	7
14. セングド・アング・フランス(聖幼稚)天主教修女院附設女子孤兒院.....	7
15. 慶北救濟會.....	8
16. 平壤保育院.....	8
17. 財團法人日本育兒院平壤支部.....	9
18. 宜川大同孤兒院.....	9

(2) 兒童健康相談事業

1. 韓鐵達財團乳幼兒健康相談所.....	10
2. 愛國婦人會朝鮮本部幼兒健康相談所.....	10
3. 中央嬰兒部.....	11

(3) 貧 兒 教 育 事 業

1. 和光教園.....	12
2. 求禮弘濟院.....	12
3. 同慶女學院.....	13
4. 釜山共生兩學園部.....	13
5. 馬山私設福壽寺夜學會.....	14

6. 領海慈教講習會.....	R 14
(4) 特殊教育事業	
1. 朝鮮總督府濟生院盲啞部.....	15
2. 平壤私立盲啞學校.....	15
(5) 感化事業	
1. 朝鮮總督府感化院永興學校.....	16
2. 明進舍.....	16
(6) 社會教化事業	
1. 朝鮮總督府圖書館.....	17
2. 鐵道圖書館.....	17
3. 京城府立圖書館.....	18
4. 京城府立圖書館分館.....	18
5. 府立仁川圖書館.....	19
6. 忠清北道簡易圖書館.....	19
7. 群山圖書館.....	20
8. 大邱府立圖書館.....	20
9. 釜山府立圖書館.....	21
10. 馬山府立圖書館.....	21
11. 平壤府立圖書館.....	22
(7) 職業紹介事業	
1. 京城府職業紹介所.....	23
2. 和光教團職業紹介所.....	23
3. 仁川基督教青年會職業紹介所.....	24
4. 仁川府職業紹介所.....	24
5. 大邱府職業紹介所.....	25
6. 釜山府人事相談所 職業紹介所.....	25
7. 平壤府職業紹介所.....	26
8. 新義州府公設職業紹介所.....	26
9. 宣川面公設職業紹介所.....	27
10. 咸興面職業紹介所.....	27
11. 釜山勞働共濟會.....	28

(8) 人事相談事業

1. 京城府人事相談部.....	29
2. 和光教團人事相談部.....	29
3. 清津人事相談所.....	30

(9) 授産事業

1. 朝鮮總督府鐵道局現業員共済組合授産部.....	31
2. 向上會館授産部.....	31
3. 和光教團授産部.....	32
4. 木浦共生園授産部.....	32
5. 財團法人有隣會.....	33
6. 釜山共生園授産所.....	33
7. 馬山福壽會.....	34

(10) 簡易宿泊所

1. 和光教團勞働宿泊所.....	35
2. 京城府職業紹介所勞働宿泊部.....	35
3. 仁川府共同宿泊所.....	36
4. 釜山府共同宿泊所.....	36
5. 平壤府公設宿泊所.....	37

(11) 漁業者共同宿泊所

1. 漁業者共同宿泊所.....	38
------------------	----

(12) 公設市場

1. 明治町公設日用品市場.....	39
2. 花園町公設日用品市場.....	39
3. 龍山公設日用品市場.....	40
4. 仁川府公設日用品市場.....	40
5. 群山公設市場.....	41
6. 全州面公設市場.....	41
7. 木浦公設市場.....	42
8. 大邱府公設市場.....	42
9. 釜山府公設南濱町市場.....	43

10. 釜山府公設富平町市場	43
11. 馬山府富町公設市場	44
12. 馬山府原町公設市場	44
13. 平壤府壽町公設市場	45
14. 平壤府率町公設市場	45
15. 平壤府司合公設市場	46
16. 元山府壽町公設市場	46
17. 元山府海岸通公設市場	47
18. 成興面公設市場	47
19. 羅南面公設市場	48
20. 清津府營公設市場	48

(13) 公衆食堂

1. 釜山府共同食堂	49
------------------	----

(14) 公設浴場事業

1. 群山公設浴場	50
2. 東萊面公設浴場	50
3. 鎮海面公設浴場	51
4. 平山溫泉	51
5. 黃海道馬山溫泉	52
6. 安岳公設浴場	52
7. 溫泉面溫泉浴場	53
8. 草里面溫泉浴場	53
9. 弓興面溫泉浴場	54
10. 平壤府公設浴場	54
11. 義州面公設浴場	55
12. 江陵面公設浴場	55
13. 道井面共同浴場	56

(15) 公設理髮所事業

1. 群山公設理髮所	57
------------------	----

(16) 公設洗濯場事業

1. 群山公設洗濯場	58
------------------	----

2. 南橋洞公設洗濯場.....	58
3. 溫錦洞公設洗濯場.....	59
4. 溫泉面共同洗濯場.....	59
5. 信川面共同洗濯場.....	60
6. 載寧共同洗濯場.....	60
7. 紫二浦公設洗濯場.....	61
8. 義州面公設洗濯場.....	61
9. 統營面共同洗濯場.....	62

(17) 公益質屋

1. 群山公益委託質屋.....	63
2. 全州公益委託質屋.....	63
3. 全羅南道指定質屋.....	64

(18) 小額生業資金貸付事業

1. 京畿道.....	65
2. 忠清北道.....	65
3. 忠清南道.....	66
4. 全羅北道.....	66
5. 全羅南道.....	67
6. 慶尙北道.....	67
7. 慶尙南道.....	68
8. 黃海道.....	68
9. 平安南道.....	69
10. 平安北道.....	69
11. 江原道.....	70
12. 咸鏡南道.....	70
13. 咸鏡北道.....	71
14. 全羅南道.....	71
15. 慶尙北道.....	72

(19) 公設住宅

1. 財團法人保隣會.....	73
2. 光熙住宅.....	74
3. 公州面營住宅.....	74

4. 木浦府營住宅.....	75
5. 大邱府公設住宅.....	75
6. 釜山府府營住宅.....	76
7. 海州面營住宅.....	76
8. 新義州府營住宅.....	77
9. 清津府營公設住宅.....	77

(20) 窮民救助事業

1. 行旅病人收容所.....	78
2. 清州博仁會.....	78
3. 光州佛教慈光會.....	79
4. 大邱府行旅病人救護所.....	79
5. 釜山府行旅病人救護所.....	80
6. 平壤佛教廣濟會.....	80
7. 鎮南浦府行旅病人救護所.....	81
8. 平壤救活院.....	81
9. 春川行旅病人救護所.....	82
10. 鐵原行旅病人救護所.....	82
11. 元山行旅病人救護所.....	83
12. 朝鮮水難救濟會.....	83
13. 清津行旅病人救護所.....	84
14. 羅南行旅病人救護所.....	84
15. 善隣會.....	85
16. 新生院.....	85
17. 仁川佛教悲田院.....	86
18. 大田佛教慈濟會.....	86
19. 群山府行旅病人救護所.....	87
20. 全州面行旅病人收容所.....	87

(21) 救療事業

1. セブランス病院施療部.....	88
2. 京畿道立水原醫院.....	88
3. 京畿道立開城醫院.....	89
4. 府立仁川病院.....	89
5. 道立清州醫院.....	90

6. 蘇民病院.....	90
7. 愛人病院.....	91
8. 忠清南道立公州醫院施療部.....	91
9. 全羅北道立群山醫院.....	92
10. 全羅北道立全州醫院.....	92
11. 全羅北道立南原醫院.....	93
12. 全羅南道順天醫院.....	93
13. 全羅南道立濟州病院.....	94
14. 全羅南道小鹿島慈惠醫院.....	94
15. 全羅南道立光州醫院.....	95
16. 光州濟衆院.....	95
17. 安力山病院.....	96
18. ビツウィルブ癩病院.....	96
19. 慶尙北道立大邱醫院.....	97
20. 慶尙北道立安東醫院.....	97
21. 慶尙北道立金泉醫院.....	98
22. 東山病院救療部.....	98
23. 大邱癩病院.....	99
24. 釜山府立病院.....	99
25. 釜山共生園診療所.....	100
26. 慶尙南道立馬山醫院.....	100
27. 慶尙北道立晉州醫院.....	101
28. 晉州培敦病院.....	101
29. 財團法人大英癩病者救療會朝鮮支部.....	102
30. 黃海道立海州醫院.....	102
31. 海州救世病院.....	103
32. 肺結核療養病院.....	103
33. 載寧濟衆病院.....	104
34. 平安南道立平壤慈惠醫院.....	104
35. 平安南道立平壤慈惠醫院嶺南浦分院.....	105
36. 平安北道立新義州醫院.....	105
37. 平壤接乞救濟會.....	106
38. 平安北道立義州醫院.....	107
39. 平安北道立楚山醫院.....	107
40. 東洋合同鐵業會社附屬病院.....	108

41. 道立春川醫院.....	108
42. 平安北道立江界醫院.....	109
43. 宣川私立美東病院.....	109
44. 道立江陵醫院.....	110
45. 咸鏡南道立成興醫院.....	110
46. 咸鏡南道立惠山醫院.....	111
47. 元山救世病院.....	111
48. 咸鏡北道立羅南醫院.....	112
49. 咸鏡北道立城市醫院.....	112
50. 咸鏡北道立會寧醫院.....	113
51. 咸鏡北道立會寧醫院開島出張員診療所.....	113
52. 京城醫學專門學校附屬醫院.....	114
53. 京城帝國大學醫學部附屬醫院.....	114

(22) 養老事業

1. 財團法人京城養老院.....	115
2. 佛教慈濟會養老部.....	115
3. 平壤養老院.....	116
4. 宣川昌信養老院.....	116
5. 義州天主公教養老院.....	117

(23) 隣保事業

1. 慶北救濟會セツルメント.....	118
2. 釜山共生園.....	119
3. 釜山慈善教社.....	120
4. 方面委員・方面事業狀況.....	121

(24) 釋放者保護事業

1. 財團法人京城救護會.....	122
3. 財團法人開城大成會.....	123
3. 財團法人公州俱樂部.....	124
4. 財團法人忠北有隣會.....	125
5. 財團法人大田自強會.....	126
6. 財團法人全州有終會.....	127
7. 財團法人群山誠之會.....	128

8. 財團法人光州有隣會.....	129
9. 濟州成美會.....	130
10. 財團法人木浦成美會.....	131
11. 財團法人大邱常成會.....	132
12. 財團法人金泉尚善會.....	133
13. 安東辛酉博愛會.....	134
14. 財團法人釜山輔成會.....	135
15. 馬山保護會.....	136
16. 晉州扶掖館.....	137
17. 金山浦善隣會.....	138
18. 財團法人海州濟美會.....	139
19. 瑞興保全會.....	140
20. 平壤保護會.....	141
21. 鎮南浦獎善院.....	142
22. 財團法人新義州自治會.....	143
23. 江陵保護會.....	144
24. 財團法人春川同胞會.....	145
25. 財團法人咸興博仁會.....	146
26. 元山陽報會.....	147
27. 清津保護會.....	148

(25) 聯 絡 機 關

1. 朝鮮社會事業協會.....	149
------------------	-----

(26) 助 成 機 關

1. サルタレニ財團.....	150
-----------------	-----

育 兒 事 業

名 稱	救世軍育兒ホーム	仁川天主教堂附置孤兒院		
場 所	京畿道高陽郡延福面	京畿道仁川府寺野三洞		
經 營 主 體	救世軍	天主教會		
開 設	大正7年12月30日	明治28年3月19日		
宗 教 別	キリスト教	天主教		
代 表 者	救世軍育兒ホーム長 シイダブルユウウイダソン	マリア・エレーネ		
現 況	従 事 者	9名	9人	
	收 容 定 員	80名	約40人	
	現 在 收 容 数	71名	57名	
取 扱 兒 童	孤兒、貧兒	孤兒、女	最高20歳 最低5歳	最高18歳 最低3歳
	保 護 方 法	宗教的教養、普通學校指定 學科ノ教授及實科教育ヲナ ス	院内ニ於テ聖教ヲ教ヘ且ツ 簡單ナル語學、手工、裁縫 等ヲ授ケ其ノ後ハ各兒ノ希 望ニ依リ補助獨立セシム	
經 費	基 金	ナン	無	
	上 地	20,000 受貸付地	約80坪 天主教堂所有土地 利用	
	建 物	96坪 13,180円	約40坪 天主教堂所有建物 利用	
	備 品	家具其他 2,112円	約200円 天主教堂所有備品 利用	
濟 財	豫 算	9,712円	8,170円	
	財 源	寄附金、補助金、事業收入 本部負擔金	一般寄附金、院長兼出金、佛 國信託寄附金、總督府敍仁 正府補助金、御下賜金、孤 兒計二收入バザー賣上代金	
沿 革	大正7年12月30日京城西大 門外平洞ニ於テ京城南大門 通小林源六氏ノ寄附金ヲ基 トシテ事業開始大正12年12 月現在ノ場所ニ移轉ス	明治28年教管内ノ建物ノ一 部ヲ借用シ孤兒及貧兒10名 ヲ保護收容シタルヲ巡廻ト シ今日ニ至ル		
備 考		本院ハ孤兒及貧兒女子ノミ ヲ收容ス		

育 兒 事 業

名 稱	聖公會孤兒院	虎溪童徳院	
場 所	京畿道水原郡水原面山樓里	忠清南道公州郡寺谷面虎溪甲	
經 營 主 體	聖公會	朴仁默個人經營	
開 設	大正2年7月13日	大正3年12月	
宗 教 別	天主教	佛教	
代 表 者・主 任	濟施修女	朴 仁 默	
現 況	從 事 員	5 人	1 人
	收 容 定 員	30人	ナシ
	現 在 收 容 數	30人	23人
	取 扱 兒 童	孤兒(年齡最高17歳 最低4歳)	年齢ニ制限ナシ、 孤兒及貧困者
	保 護 方 法	英女主務2人鮮女補助3人 孤兒ノ保育ニ當リ學齡ニ達 スルモノハ之ヲ通學セシム	一ヶ所ニ收容シ簡易ナル勞 働ニ從事セシム
濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	100坪	ナシ
	建 物	60坪	一棟
	備 品	1,000円	ナシ
經	豫 算	3,000円	ナシ
	財 源	宣教會ヨリ毎年3000圓ヲ補 給ス	朴仁默ヨリ支出ス
沿 革	大正2年7月宣教會ノ援助 ヲ受ケ聖公會設立者マクネ ービトトロア之ヲ開設シ孤 兒ヲ收容保育シ今日ニ及ブ	大正3年12月朴仁默ノ設立 ニ係リ大正15年、一時廢止 セルモ昭和3年再開設セリ	
備 考			

育 兒 事 業

名 稱	同 民 會 公 州 救 濟 院 公 州 支 部	瑞 山 孤 兒 救 濟 堂	
場 所	忠清南道公州郡公州面錦町	忠清南道瑞山郡瑞山面東門里	
經 營 主 體	同民會公州支部	瑞山郡守	
開 設	大正3年5月	大正7年9月	
宗 教 別	ナシ	ナシ	
代 表 者・主 任	藤澤英夫	瑞山郡守鄭雲成	
現 況	從 事 員	2人	1人(教養師金教三)
	收 容 定 員	20人	15人
	現 在 收 容 數	20人	14人
	取 扱 兒 童	孤兒7歳以上14歳未滿	孤兒ニシテ8歳以上17歳未滿ノモノ
保 護 方 法	專任教養師1名ヲ置キ保護セシム	1ヶ所ニ收容シ專任教養師1名ヲ置キ簡易ナル普通學及農業ヲ實習セシム	
經 濟	基 金	2,900円	4,800円
	土 地	63坪 外ニ山林6町7反5畝	ナシ
	建 物	1棟30坪	朝鮮式平家1棟2坪
	備 品	ナシ	柱時計1個、黑板1個、兒童用机牀掛15組、夜具15人分
	豫 算	2,168円	1,840円
	財 源	補助金、基金利息、一般ノ寄附	基金ヨリ生ズル利子收入及國費地方費ノ補助及有志寄附金
沿 革	大正3年ノ設立ニ係リ昭和三年10月同民會公州支部經營トナレリ	大正7年當時ノ郡守池喜烈氏ノ發起ニヨリ篤志家ノ寄附金ヲ基金トシテ部内ノ孤兒ヲ收容保護スルコト、シ當初ハ三仙庵住持ニ教養ヲ委托シツ、アリタルモ大正13年新ニ收容所ヲ設クルト共ニ專任教養師ヲ置キ今日ニ至リ	
備 考			

育 兒 事 業

名 稱		翼龍童徳院	金堤救養院
場 所		忠清南道公州龍徳洞面中壯甲	全羅北道金堤面校洞里
經 營 主 體		李漢烈個人經營	金駿熙個人經營
開 設		大正2年4月	大正7年12月25日
宗 教 別		佛教	ナシ
代 表 者・主 任		李漢烈	金駿熙
現	従 事 員	10人	6名
	収 容 定 員	40人	ナシ
	現 在 収 容 數	51人	1名
況	取 扱 兒 童	4歳以上18歳未満の孤兒及貧困者ヲ收容	孤兒
	保 護 方 法	1ヶ所ニ收容シ専任教師師1名ヲ置キ平易ナル普通及專業ヲ實習セシム	食品及衣服ヲ給與ヘル外簡易ナル學科及勞働作業ヲテ之ニ於テ之ガ行ニ當ル
經	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	40,000坪	ナシ
	建 物	52坪 本家2棟	朝鮮式築坪1家建、建坪10坪6台
濟	備 品	ナシ	ナシ
	豫 算	4,200円	1,259円
	財 源	管理者負擔	金堤市場内ニ牛肉販賣所ヲ設ケ其ノ收入ヲ以テ經營ス
沿革		大正2年4月附近ノ孤兒ヲ收容セシニ始マリ前管烈教養師トシテ其ノ任ニ當リ昭和4年6月李漢烈管理者トナレリ	金堤高白鶴面半月里富豪金駿熙ハ全堤附近ヲ徘徊シ孤兒ノ悲慘ナル情況ヲ感シ之ガ救濟感化ヲ私財ヲ投シテ大正7年1月22日私財ヲ投シテ金堤郡金堤面校洞里52番地ニ朝鮮式古建築物ヲ築キ孤兒ヲ收容扶養シタルニ始マシムル大正10年4月朝鮮總督府ヨリ交付セラレタル補助金トシテ大正9年度歲計剩餘金ヲ以テ10坪6台ノ朝鮮式建築物ヲ新シ今日ニ至ル
備 考			

育 兒 事 業

名 稱	財團法人朝鮮扶植農園	セント・アング・フランス (聖幼羅)天主教修女院附 設女子孤兒院	
場 所	慶尚北道達城郡解顔面檢沙洞	慶尚北道大邱府南11町190番地ノ一	
經 營 主 體	朝鮮扶植農園	天主教朝鮮大邱教區經營 ニシテ慈善及布教ヲ目的ス	
開 設	明治43年10月	大正4年10月15日	
宗 教 別	基督教	天主教	
代 表 者・主 任	加島敏郎	最上文管理一天主公會 翻譯大邱各區 管理者佛蘭西天主教フロリアン、ジマ ンチー、監務一天主公會大邱修女院 院長佛蘭西人修女マエール、ドナシオン	
現 況	従 事 員	12名	西洋人(佛蘭)修女2人、朝 鮮人修女2人
	收 容 定 員	無制限	約80人
	現 在 收 容 數	64名	昭和3年末現在38人、養兒12人、孤兒 25人、最高年齢20歳一最低年齢2歳
	取 扱 兒 童	最高19歳 最低7歳	皆不幸兒 自設立以來至昭和3年末累計117人、 昭和3年度中收容6人
保 護 方 法	保 護 方 法	乳兒ノ附近農家ニ預ケトシ其後ハ 三三族ニ分テ各家族ニ生母ヲ置キ次 三三族ニ分テ各家族ニ施設ヲナサシム 種朝鮮長セバ少年及青年ハ直チニ一 定ノ場所ニ集メ行政主義ノ訓練ヲナ ス。通達通達孤兒院17名ハ詳細公立育 童學校ニ入學シシメ又小園内ノ孤兒 25ニ於テハ六年程度ノ教育ヲ施シ13歳 以上ノ者ハ農業補習学校ニ入學シ勞 務ヲ習得シシム	本院内ニ居住セシメ衣食ヲ 與ヘ將來ノ生活ヲ計リ相當 知識ヲ與ヘル爲メ院内又ハ 他ノ學校へ通學セシメ以テ 教育ス
	保 護 方 法		
經 濟	基 金	5,281円	ナシ
	土 地	39町9反8畝7歩	
	建 物	14棟 277坪	煉瓦造り洋式總務ノシテ健兒及孤兒 收容室ヲ有セリ
	備 品	2,335円	寝具、食卓具及教育上諸般 用具現用完備セリ
	豫 算	18,526円	昭和4年度豫算歳出5,260円
財 源	財 源	財産収入 2,262円 農學收入 5,143円 諸 收 入 1,396円 總督府及本道補助金3,700円 寄 附 金 5,025円	佛蘭巴里ニ於ケル本道支給 及其他寄贈金、宮内省下賜 金及國庫補助金、本院雜收 入管理者自辦補充金等ナリ
	財 源		
沿革	明治23年大坂ニ漢委扶植會ヲ創設シ タメ加島敏郎ハ同會出身者ノ前途ヲ 開拓スベク朝鮮總督府及本道ニ後援ヲ 得テ明治43年此ノ園ヲ開設セリ大正 3年ヨリ總督府及本道ノ補助金ヲ朝鮮 女子會モ收容スルコトヲ同時期 ヨリ年々補助金ノ増大ヲ受ケ	最初設立以來大邱府收容孤兒及大邱 警察署收容孤兒一部ヲ引繼シ天主教 修女院ニ於テ收容シ來タリ、大正 4年度ニ至リテ其餘額ヲ自テ本園 建築セリ。養兒及孤兒收容累計ハ 117人中、死亡者及結婚者ヲ除ク現在 在者38人ナリ、今日マデ總額3、約 55,700圓也リ消費シタリ、但シ以上 建築費1萬圓他ハ入会金マズ	
備 考		養童トシテ收容シテ從事員總額ノ異給 ナキコト、養兒ニ限リ收容スルコト	

業 事 兒 育

名 稱	慶北救濟會	平壤保育院	
場 所	慶尙北道大邱市山町120	平安南道平壤市上需里7ノ1	
經 營 主 體	慶北救濟會	平壤孤兒救濟會	
開 設	大正11年12月31日	大正10年10月1日	
宗 教 別	キリスト教	—	
代 表 者・主 任	代表者 鄭 在 煥 主 任 趙 忠 治 氏	朴 鍾 錫	
現 在 從 事 員	理事 1人 書記 1人 庶務 5人 主 婦 1人 監 評 1人	4人	
現 在 收 容 定 員	100人	50人	
現 在 收 容 數	100人 (男47, 女53)	30人	
取 扱 兒 童	富 歲 以 上 15 歲 迄 ニ・貧・ 棄・兒	孤 兒 5 歲 最 高 18 歲	
保 護 方 法	乳 兒 ハ 甲 預 又 ハ 院 內 養 育。 幼 兒 ハ 幼 兒 院 於 於 專 任 者 之 レ ヲ 擔 當 ス。 學 齡 達 ス レ バ 普 通 學 校 ニ 通 學。 成 績 佳 良 ノ モ ノ ハ 更 ニ 上 級 學 ベ シ ム。 飲 性 監 督 職 業 指 導 ヲ ナ ス	衣 食 ヲ 給 シ 毎 日 3 時 間 完 善 通 學 校 3 學 年 程 迄 ノ 學 科 ヲ 授 ケ 年 長 兒 童 ニ ハ 各 自 ノ 趣 味 藝 芝 居 ム 靴 鈺 力 靴 下 洋 服 染 織 等 ヲ 見 習 ハ シ メ 自 活 ノ 途 ヲ 講 ゼ シ ム	
經 濟	基 金	32,000 ^円	400 ^圓
	土 地	(寄有地無償貸付)	田畑雜種地等 約11,200 ^円
	建 物	(貯有建物無償貸付) 4,500 ^円	木造廊給食棟 約 8,500 ^円 及木造瓦葺1棟
	備 品	1,500 ^円	椅子、テーブル其他 約 710 ^円
	豫 算	13,000 ^円	7,570 ^円
財 源	御下賜金 補助金 基金利 子 事業收入 寄附金	國費、道地方費、寄費、補 助金、會費ノ豫出金、一般 寄附金、基本金收入其他	
沿 革	大正10年嶺南共濟會ヲ創立 シタルモ經營不能トナリ組 織ヲ改メ以テ現在ニ至ル	有志金炳善外數名發起トナ リ無依ノ孤兒輩ヲ收容養育 シ今日ニ至ル	
備 考	電話677 (兼、營ベス西城町下車南へ) (約5丁)	目下本院ヲ財團法人ニナス ベク許可申請中ナリ	

育 兒 事 業

名 稱	財團 法人 日本育兒院平塚支部	壹川大同孤兒院	
場 所	平安南道平壤宮鷄里137番地	平安北道宣川郡宣川面川北洞	
經 營 主 體	財團 法人 日本育兒院	會員組織	
開 設	大正11年4月25日	大正5年8月15日	
宗 教 別	基督教	耶蘇教	
代 表 者・主 任	五十嵐喜廣	梁尚伯(北長老教派牧師)	
現 狀	從 事 員	代表者 1人 總務 1人 會計 1人	
	收 容 定 員	20名	
	現 在 收 容 數	6名	
	取 扱 兒 童	孤、貧兒 最低5歳 最高19歳	
況 保 護 方 法	衣食ヲ給シ學齡兒童ニハ公年 私立學校ニ通學セシメ幼年 者ニハ院内ニテ教養シ尙年 長者ニハ仕事ヲ授ケ	孤兒ニシテ年齡最高15歳最 低5歳迄ニス 保育專任者トシテ保姆1名 ヲ置キ食事衣服其ノ他一切 ノ世話ヲ爲シ學齡ニ達シタル ルモノハ學校ニ送セザルモ ノハ幼稚園ニ通學セシム 尙喘託醫ヲ置キ病氣ノ場合 ハ無料治療ヲ爲サシム	
	基 金	300円	35,000円
經 濟	土 地	畑地、雜種地等8町3段 (光州ニ在リ)	畝17,148坪、田18,759坪、 倉 192坪
	建 物	藁葺平屋建1棟 (光州ニ在リ)	煉瓦倉1棟 60坪 瓦 倉2棟 10坪
	備 品	椅子、テーブル其他 約 1,300円	食卓3、椅21、餐4、釜4、洗面 器4、ランプ2、食器81
	豫 算	3,000円	歳入 1,747 歳出 1,747
	財 源	保育院ト同ジ	上記不動産土地ヨリノ收入 ニ依ル
造 革	本部ハ岐阜市ニ在リ大正3 年光州ニ支部ヲ創設シ大正 11年當地ニ轉ジ今日ニ至ル	大正5年夏米國在留李炳俊 現總務ノハ同志相設リ孤兒 院基金1,000円ヲ牧師梁尚伯 ニ送致シタルヲ以テ同年8 月院舎1棟ヲ買受ケ最初孤 兒5名ヲ收容シタルニ經費 不足ノ爲大正9年ニ至リ經 費不足ノ爲孤兒收容ヲ中止 シテ専ラ基金造成ヲ圖リ同 15年ニ至リ上記建物ヲ新築 シテ本院ヲ復活經營スルニ 至レリ	
備 考			

兒 童 健 康 相 談 事 業

	名 稱	韓鐵達財團乳幼児健康相談所	愛國婦人會朝鮮本部幼児健康相談所
	所 在 地	京城府蓮池洞朝陽幼稚園内	京城府明治町愛國婦人會朝鮮本部京城幼稚園内
	經 營 主 體	韓鐵達財團	愛國婦人會朝鮮本部
	開 設 日	昭和4年5月5日	昭和4年5月5日
	宗 教 別		
	代 表 者	神尾式春	愛國婦人會朝鮮本部主幹大橋次郎（内地支部ノ例ニ依ル）
	従 事 員	事務員1名 醫師1名 看護婦1名	醫 員1名 看護婦1名 事務員1名
現 況	相 談 事 項	毎週土曜日午後1時ヨリ4時迄6歳未満ノ乳幼児ニ對スル健康相談ヲ爲ス開設以來8月1日迄相談兒童數累計235名	乳ノミ兒ノ取扱方、母乳ノ飲マセ方、離乳ノ仕方ト乳離レドキノ食物、牛乳其他營養品ノ用セ方、御子様ノ體ガ年齢相當ニ發育サレテ居ラレマスカ眼耳齒牙ノ障害ナドアリマセヌカ、其ノ他御子様ノ健康ニ關シテ開設以來ノ相談件數 177名 { 内地人 86名 朝鮮人 91名
經 濟	共 金		（一箇年經費 400円ノ見込）
	土 地		ナシ
	建 物		
	備 品	診断用器具機械 150円	
資 源	財 源	韓鐵達財團	
	沿 革	昭和4年5月5日ノ兒童愛護日ヲ機トシ韓鐵達財團ノ事業トシ本相談所ヲ設置セリ	昭和4年5月5日全國乳幼児愛護デー當日ヨリ乳幼児保護事業トシテ週間健康相談所ヲ開設ス
	備 考		本年5月5日乳幼児愛護デー當日149名ニシテ其後6月末日迄28名 計177名

兒 童 健 康 相 談 事 業

名 所	中央嬰兒部	
所 在 地	忠清南道公州郡公州而本町	
經 營 主 體	基督教美監理女宣教會 ボーデイン	
開 設	大正13年4月	
宗 教 別	基督教美監理教會	
主 任 醫	ミスボーデイン	
現 況	從 事 員	5人
	相 談 事 項	健康相談、保育ノ相談
	相 談 日	毎週月曜
	來 所 兒 童 數	1年間 120名
現 況	制 限 年 齡	4歳迄
	訪 問 兒 童 數	170名(内1時的ノモノ50名)
	社 會 ト 連 絡	ナシ
經 濟	基 金	ナシ
	土 地	ナシ
	建 物	煉瓦建20坪(時價3,000円)
	備 用	診察具一切牛乳調達ノ器具 等ノ設備完全セリ
	豫 算	3,600円
沿 革	財 源	女宣教會補助及篤志家ノ寄附
		設立者シスボーデインハ布教ノ傍ラ本事業ノ緊切ナルヲ認メ美監理女宣教會ノ援助ノ下ニ大正13年本事業ヲ開設セリ
備 考		

貧 兒 教 育 事 業

名 稱		和光學園	求禮弘濟院
場 所		京城府觀水洞102	全羅南道求禮郡求禮面鳳東里
經 營 主 體		淨土宗開教院	個人經營
開 設		大正10年1月	大正7年1月5日
宗 教 別		佛教、淨土宗	
代 表 者 主 任		荻野順導	金澤均
現 況	從 事 員	15名	2名
	現 在 生 徒 數	723名	9名
	補 習 科 生 徒 數	74名	
	實 科 課 目		農業實習及朝鮮語
	特 殊 施 設		
	教 室 數	12教室	1
	卒 業 生 數	108名	23名
附 帶 事 業		無料入浴、簡易理髮文房具廉賣	ナシ
經 濟	基 金	3,500円	500円
	土 地	893坪	垵168坪、畑970坪
	建 物	177坪	2棟
	備 品		世帯道具及農具其他
	豫 算	11,800円	1,000円
財 源		福永政治郎翁寄附金、各官廳ノ補助金及一般有志ノ寄附金	經營者ノ私金
浩 革		大正9年10月淨土宗開教院ノ設立ニシテ當初貧困女兒及勞働子弟ニ簡易ナル文藝ノ數ヲ授ケルモメナルモ入學ヲ希望スミ朝鮮教育令ニ依ル初等教育ヲ遂行セリ現在六ヶ年トス	大正7年1月5日救金局弘濟院ノ當時記念事業トシテ本院ヲ設立經營中大正10年9月死亡ノ爲其ノ遺志ヲ受ケテ男金成均ニ於テ引續キ經營シタルが大正14年3月本人京城ニ移居ニ依リ實弟金澤均ニ於テ引受經營今ニ及ブ
備 考			

貧 兒 教 育 專 業

	名 稱	同慶女學院	釜山共生園學園部
	所 在 地	慶尙北道大邱府鳳山町64	慶尙南道釜山府水品町1ノ21番地
	經 營 主 體	天理教内鮮同慶會	大正13年4月
	開 設	昭和2年5月16日	佛教淨土宗
	宗 教 別	天理教	個人經營
	代 表 者	上原義彦	大田秀山
現	從 事 員	講師6名	5人
	現 在 生 徒 數	17名	160名
	補 習 科 生 數	夜學生32名	
	實 科 課 目	ミシン裁縫(1週10時間)手藝	紙下編
況	特 殊 施 設	天理教々義 = 據ル品性ノ陶冶勤勞獎勵	宗教的施設、醫療
	教 室 數	3	2
	卒 業 生 數	18名	35名
	附 帶 事 業	授産事業、職業指導	就職周旋
經	基 金	1,000円	
	土 地	308坪	434坪、無償貸地(後援會員ノ所有)
	建 物	教室28坪、舍宅19坪、本館93坪	120坪一棟、價格1,300円
	備 品	1,900円	點數450點 見積價格1,286円
濟	豫 算	2,680円	1,215円
	財 源	天理教内鮮同慶會、教育事業費	共生園後援會費、補助金等
沿	革	鮮人教化事業ノ一機關トシテ昭和2年2月内鮮同慶會ノ設立ヲ見、ソノ一事業トシテ本學院ヲ開設シ貧民子女ノ實科教育ヲ開始シタリ	共生園附屬附事業ノ一ニシテ大正13年4月開設朝鮮女子ノ晝間労働者及不就學女子ヲ收容シテ普通學校教育ヲ施シ現在實務科三學級夜學二學級アリ月謝實務科30錢獨學10錢ヲ徴ス
	備 考		

貧 兒 教 育 事 業

		馬山私設福壽寺夜學會	鎮濟慈教講習會
名 稱	稱	馬山私設福壽寺夜學會	鎮濟慈教講習會
所 在 地	地	慶尙南道馬山府玩月洞	慶尙南道昌原郡鎮海面寺町鎮海立正慈教園内
開 設	設	大正11年9月1日	大正11年8月開設
宗 教 別	別	曹洞宗	佛教日蓮宗
經 營 主 任	任	馬山福壽會	妙法寺住職旭寬成個人經營
代 表 者 主 體	體	光英博明	旭寬成
現 況	行 事 員	4名	旭寬成・羅鍾權・禹洪根
	現 在 生 徒 數	166名	103名
	補 習 科 生 數		8名
現 況	實 科 課 目	修身、國語、算術、朝鮮語、漢文	國語、朝鮮語、算術、書方、綴方、修身
	特 殊 施 設		品格陶冶ノ爲メニ土曜日ノ設ク
	教 室 數	3教室	3教堂……
現 況	卒 業 生 數	65名	58名
	附 帶 事 業	生徒職業紹介、少年保護	
經 済	基 金		ナシ
	土 地	福壽寺境内	慈教園土地ニヨル
	建 物	福壽會館60坪此價格6,000円	慈教園舎内ニ置ク
	備 品	机課掛其他1,000円	慈教園備品ニヨル
経 済	豫 算	1,405円	慈教園豫算ニヨル
	財 源	國庫、地方費、本山補助、喜捨、設立者ノ出資	慈教園財源ニヨル
沿 革	革	大正11年頃ヨリ貧窮婦人向學心ノ勃興ニ依リ各公立普通學校ニ於テ收養シ得ザレ兒童行ニ年餘能シ者及貧困ニシテ養育費ノ爲メハ最早各學堂ニ入ル者ニ收養シ現在ニ於テハ各年級ニ於テハ男女ノ數ニ至レリ月謝ハ僅數ニ限ラセテ全額ヲ月謝ニ充テ一般ニ收養シ得ル者ハ少ク卒業生數ノ少キハ尙キ稀トシ若少キニ限リ	
備 考	考		

特 殊 教 育 事 業

名 稱		朝鮮總督府濟生院盲啞部	平壤私立盲啞學校
場 所		京城府天然洞98	平壤府水玉里33番地
經 營 主 體		朝鮮總督府	平壤監理派宣教會
設 立		大正2年4月	明治31年2月28日
宗 教 別			監理派
代 表 者		生田祐三郎	惠仁秀
現 狀	從 事 者	10人	教員1人 保姆1人 書記1人
	在 校 者	盲生34人 啞生71人	15名 日下盲兒(女ノミ)
	入 校 手 續	一般生徒募集ニ依ル	保護人連署セル入校願書ニ 履歷書ヲ添附シ學校長ニ提 出スルヲ要ス
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	2,595坪	畑地3畝25步
	建 物	398坪	木造瓦葺平屋建1棟
	備 品	約6,000円	點字板20 點字機械2
	豫 算 財 源	20,000円	3,570円
沿 革		朝鮮總督府濟生院ハ私立京城 孤兒院ノ事業ヲ繼承シトナ シテ明治44年6月濟生院ヲ 改稱シ孤兒院ノ教育ヲナ シ來リシガ大正2年4月更 ニ盲啞教育事業ヲモ開始 シ茲ニ濟生院盲啞部ノ設立 見ルニ至レリ	明治31年2月米國宣教師故 ホール夫人大祭里163番地 ニ私塾ヲ設立シ數人ノ女子 盲人ヲ教育シタルニ創 シテ後明治44年6月9日現在 ノ場所ニ校舍ヲ新築シ今日 ニ至ル
備 考			各生徒ノ學費ハ學校ノ負擔 シ食費トシテ生徒1人ニ 付1ヶ月4圓ヲ其ノ父兄ヨ リ徴收スルモ負擔力ナキ者 ニ對シテハ之ヲ免ス

感 化 事 業

名 稱	朝鮮總督府感化院永興學校	明達舍
所 在 地	咸鏡南道文川郡明孝面松田洞	京城府西四軒町高野山別院內
經 營 主 體	朝鮮總督府	京城本町警察署
開 設	大正12年10月1日	昭和3年12月18日
宗 教 別		眞言宗
代 表 者・主 任	學校長 伊藤藤太郎	小松寛美
職 員	11人 婦人6人	2人
現 在 教 科	6年制普通學校程度	30分間 毎日)
收 容 者 數	63名	18人(最高18歳—最低12歳)
收 容 者ノ生 立	健全ナル家庭ニ育チタル者殆ンド少シ	
收 容 者ノ特 質	剛情、意志薄弱	
收 容 者ノ健 康	體質不良ナルモ病氣少シ	1時間20分(同)
入 院 理 由	浮浪及盜竊	本署ヨリ浮浪不良ト認メタルモノノ中選定ニ依ル
退 院 後ノ狀 況	轉校及徒弟トシテ指導シツツアリ	
收 容 委 託 者		
附 帶 事 業		
基 金		ナシ
土 地	元永興海軍防備隊附屬田畠8,726坪及林野3,143町歩ヲ保管利用ス	高野山別院內
建 物	元永興海軍防備隊ノ跡ニシテ總建坪1,365坪アリ	同
備 品	480種2,351點	ナシ
豫 算	金36,098圓	1,500圓
財 源	朝鮮總督府特別會計	作業收入及寄附金
沿革	元永興海軍防備隊ノ土地建物ヲ利用シ大正12年10月1日開校、以來入院兒童125名ヲ收容セリ	昭和3年12月18日高野山別院內ニ設立シ本町警察署ヨリ浮浪者ニシテ不良性ヲ帶ビタルモノヲ收容感化セシム
備 考	教科ハ漢科教授ノ外將來獨立生活ニ必要ナル實科ヲ課ス	主ニ草履ヲ手作用デ爲ス、6時間(毎日)

社 會 教 化 事 業

名 稱	朝鮮總督府圖書館	鐵道圖書館	
場 所	京城府南大門通	京城府漢江通16番地	
經 營 主 體	朝鮮總督府	朝鮮總督府鐵道局	
開 設	大正14年4月3日	大正9年7月	
宗 教 別			
代 表 者・主 任	館長 荻山秀雄	林 靖一	
現 狀	從 事 員	44名	24人
	藏 書 數	106,861冊	76,208冊
	1ヶ月閲覧人員	17,608	15,690人
	1ヶ月閲覧冊數	13,834	43,932冊
	1人1日平均閲覧冊數	2冊弱	3冊
經 濟	基 金		
	土 地	總坪數1,956坪4合	鐵道局所管地
沿 革	建 物	延建坪9,750坪5合1勺	料合ビル棟瓦坪數(延坪)483坪
	革	本館は大正11年朝鮮教育令發布記念事業ノ一トシテノ計畫畫セラレ翌12年3月地ヲ南大門通光復門内石教壇趾ニトシテ工事ヲ初メ同年12月略竣成セリ同年11月30日官制發布13年4月16日本館内部設備完成スルモ圖書ノ整理ノ急ギ翌14年4月3日神武天皇祭ヨリ先ツ新書部ノミヲ以テ公衆ノ閲覧ヲ開始セシメノナリ	大正9年7月南滿洲鐵道株式會社京線管理局經營ノ下ニ龍山ニ於テ京城圖書館ノ創設シ閲覧事務ヲ開始シ從事員ノ研究心向上ト德性ノ培養ニ資スルコトヲ主トシテ從事員及其ノ家族ニ利用セシメ傍ノ一般ニモ公開シ來レリ
備 考			

社 會 教 化 事 業

名 稱		京 城 府 立 圖 書 館 本 館	京 城 府 立 圖 書 館 分 館
場 所		京 城 府 長 谷 川 町	京 城 府 鍾 路 通 三 丁 目 37 番 地
經 營 主 體		京 城 府	京 城 府
開 設		大 正 11 年 10 月	大 正 15 年 4 月 1 日
宗 教 別		ナ シ	ナ シ
代 表 者 ・ 主 任		山 本 貫 一	李 肯 鐘
現 狀	從 事 員	25 人	職 員 5 人、備 人 8 人
	藏 書 數	21,676 冊	13,380 冊
	1 ヶ 月 閱 覽 人 員	7,517 人	6,527 人
	1 ヶ 月 閱 覽 冊 數	9,462 冊	5,793 冊
	1 人 1 日 平 均 閱 覽 冊 數	1.25 (冊)	0.89 (冊)
經 濟	基 金		
	土 地	1,700 坪	442 坪
	建 物	282 坪	147 坪 7 合
	備 品	1,140 個	608 個
	豫 算	30,317 ^円	(本館 = 含ム)
	財 源	府 費	府 費
沿 革		大 正 11 年 10 月 府 内 明 治 町 二 丁 目 舊 廣 城 病 院 跡 ヲ 修 理 シ テ 開 館 ス。開 館 以 來 閱 覽 者 激 增 スルニ 伴 ヒ 廳 舍 狭 小 ノ 爲メ 府 内 長 谷 川 町 大 觀 亭 跡 ニ 移 轉 ス。移 轉 ト 共ニ 舊 館 ニ 接 續 シ テ 新 築 ノ 工 事 フ ヲ 起 シ 昭 和 三 年 七 月 竣 工 セ リ	大 正 10 年 9 月 9 日 現 總 督 府 事 務 官 李 範 昇 氏 創 立 シ タ ル モ ノ ニ シ テ 大 正 15 年 4 月 1 日 京 城 府 買 収 經 營 シ 今 日ニ 至 レ リ
備 考			

社 會 教 化 事 業

名 稱		府立仁川圖書館	忠清北道簡易圖書館
所 在 地		仁川府山手町一丁目1番地	忠清北道清州郡清州西
經 營 主 體		仁川府	忠清北道
開 設		大正12年1月6日	大正11年7月
宗 教 別			
代 表 者・主 任		仁川府尹	
現 況	從 事 員	2名	1名
	藏 書 數	4,541冊	2,854冊
	1ヶ月閱覽人員	359人	290人
	1ヶ月閱覽冊數	543冊	303冊
	1人1日平均閱覽回数	1.51冊強	1.5冊
經 濟	基 金	圖書館移轉費積立金489円	
	土 地	3,199坪	
	建 物	208坪595	舊官舎利用
	備 品	5,780円	本棚12、卓子2、椅子11、 本箱3、秤時計1
	豫 算	3,404円	1,578円
財 源	仁川府費	道地方費	
沿 革	本館ハ政府管理財産タリシ 清光閣ヲ買收シ其ノ一部ヲ 通俗圖書館トシテ利用スル ニ至リタルモノナリ		
備 考			閱覽者ノ割、官吏4、學生 5、其ノ他1割

社 會 教 化 事 業

名 稱		群 山 圖 書 館	大 邱 府 立 圖 書 館
所 在 地		全 羅 北 道 群 山 府 鐘 町 7	慶 尙 北 道 大 邱 府 東 雲 町
經 營 主 體		財 團 法 人 群 山 教 育 會	大 邱 府
開 設		大 正 3 年 7 月 1 日	大 正 8 年 7 月
宗 教 別			
代 表 者・主 任		理 事 前 田 善 次	大 邱 府 尹
現	從 事 員	1 人	2 名
	藏 書 數	3,930 冊	7,227 冊
況	1 ヶ 月 閱 覽 人 員	322 人	748 人
	1 ヶ 月 閱 覽 冊 數	550 冊	1,412 冊
	1 人 1 日 平 均 閱 覽 冊 數	1 冊 乃 至 2 冊	2 冊
經	基 金		
	上 地		450 坪 11,250 円
	建 物	33 坪 2 合 5 勺 1,860 円	163 坪 32,150 円
	備 品	495 円	圖 書 18,600 円 器 具 2,000 円
	豫 算	788 円	5,326 円
濟	財 源	會 費	府 費
沿	章	同 治 15 年 佐 藤 政 次 郎 ヨ リ 書 籍 244 冊 寄 贈 大 正 3 年 農 業 組 合 ヨ リ 圖 書 館 建 物 寄 贈 大 正 3 年 7 月 1 日 開 館 ス	大 正 8 年 7 月 上 町 ニ 開 設、大 正 12 年 現 在 ノ 場 所 ニ 新 築 棟 瓦 造 ト ス
備	考		

社 會 教 化 事 業

名 稱		釜山府立圖書館	府立圖書館
所 在 地		慶尙南道釜山府本町2丁目20番地	慶尙南道馬山府柳町
經 營 主 體		釜山府	馬山府尹
開 設		大正8年	昭和3年10月12日
宗 教 別			
代 表 者・主 任		釜山府尹	馬山府尹
現 況	從 事 員	釜山府書記	1人
	藏 書 數	10,851冊	3,787冊
現 況	1ヶ月閱覽人口	1,900人	600人
	1ヶ月閱覽冊數	2,331冊	1,200冊
	1人1日平均閱覽冊數	1.23冊	2冊
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	316坪7合5勺 但シ國有	民有借受
	建 物	46坪	同上
	備 品	樂譜外263個	書棚卓了椅子等 50個
	豫 算	3,368円	500円
財 源	府 費	府 費	
沿革		本館ハ明治34年日本弘道會釜山支部ノ創設ニ係リシモ同44年釜山教育會之ニシテ大正8年府立トシテ今日ノ建物の教育會總務ニシテ建築セシモノトス	大正8年5月府内現田孫之氏愛兒逝去ニ遭ヒ名付ケテ余次郎文庫ト稱シ開設ニ係ルモ其ノニシテ尙來官ノ補助其他ノ支援ヲ以テ内容漸次充テ昭和3年10月府立寄附アリタルモノナリ
備 考		建物ハ46坪、外ニ階上、30坪アリ	現在ハ館敷地及建物ハ月額2圓ノ以テ借借ニ係ルモ其ノ内高津濱自氏ノ寄附ニ依リテ此ニ借借家ナリ

社 會 教 化 事 業

名 稱	平壤府立圖書館	
所 在 地	平安南道平壤府旭町	
經 營 主 體	平壤府	
開 設	昭和3年8月10日	
宗 教 別	ナシ	
代 表 者	館長 針啓理平	
現 況	從 事 員	11人
	藏 書 數	3,289部(4,852冊)
	1ヶ月閱覽人員	3,110人
	1ヶ月閱覽冊數	3,515冊
	1人1日平均閱覽冊數	1冊強
經 濟	基 金	ナシ
	土 地	ナシ
	建 物	煉瓦建3階1棟(總坪數243坪)
	備 品	覽閱机. 椅子. 書籍等
	豫 算	17,028 ^円
	豫 源	平壤府費
沿 革	本館ハ大正13年以來ノ計畫ナリシモ財政上實現スルコト能ハザリシガ昭和3年3月ニ至リテ始テ建築ヲナシ今日ノ開館ヲ見ルニ至ル	
備 考	建築費3萬圓. 設備費7,500圓館内ニハ普通閱覽室ノ外兒童閱覽室及新聞閱覽室ヲ設ク. 閱覽料金ハ普通閱覽室ノミ1回2錢. 10回券15錢ナリ	

職 業 紹 介 事 業

名 稱		京城府職業紹介所	和光教團職業紹介所
場 所		京城府黃金町3丁目46番地	京城府觀水洞102番地
經 營 主 體		京城府	和光教團
開 設		大正11年8月1日	大正11年4月
宗 教 別			佛教淨土宗
代 表 者 主 任		沖元徳市	荻野順壽
現 狀	從 事 員	書記1名、囑託1名、雇5名	2人
	紹 介 種 數	土木、鑛業、建築、商業、農業、通信運輸、戸内使用人、雜業等	同上
	一日平均求人數	18人	5人
	同 求 職 數	34人	8人
	同 紹 介 數	15人	5人
	同 就 業 數	8人	2人
	附 帶 事 業	人事相談、宿泊部	一時救護
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	155坪	和光教團内ニアリ
	建 物	1階23坪二階12坪	50坪(宿泊所、人事相談部ヲ含ム)
	備 品	事務用卓子、椅子外電話數種	電話其他
	豫 算	9,245圓(人事相談、宿泊部豫算ヲ含ム)	1,390圓
財 源	府費、國庫補助	福水政治郎氏ノ寄附金及一般寄附金	
沿 革		大正11年8月1日明治町2丁目25番地ニ開設シ昭和2年12月3日現在位置ニ移轉セリ。開設當時ハ人事相談所ト稱シタリシガ昭和3年9月23日職業紹介所ト改稱セリ	當初ハ宿泊人中無職者ニ對シテノミ紹介シタルモノナラガ漸次擴張シ専務事務員ヲ置キ一般ノ紹介ヲ開始スルニ至リタルモノニシテ現在ハ獨立ノ一部トナレリ
備 考			

職 業 紹 介 事 業

名 稱	仁川基督教青年會職業紹介所	仁川府職業紹介所	
所 在 地	仁川府山手町3丁目3番地	仁川府栗木里58番地	
經 營 主 體	仁川基督教青年會	仁川府	
開 設	明治44年3月15日	大正9年8月5日	
宗 教 別	メソヂスト組合教會		
所 長	小谷益次郎	仁川府尹	
現 況	從 事 員	2人	1人
	紹 介 種 數	一般職業紹介	日傭勞働紹介
	一日平均求人數	0.33人強	0.34人
	一日平均求職數	0.52人	0.6人
	一日平均紹介件數	0.33人強	0.6人
附 帶 事 業	人々相談事業		
經 濟	基 金	無	無
	土 地	約40坪	共同宿泊所ヲ利用
	建 物	約30坪	同前
	備 品	約100冊	同前
	源 算	110冊	
財 源	青年會會費	府費.	
沿革		本所ハ仁川府共同宿泊所ノ開設ト同時ニ附帶事業トシテ開始シタルモノナリ開設以來求職申込者1,263人紹介就職者729人ニ達セリ	
備 考			

職 業 紹 介 事 業

名	稱	大邱府職業紹介所	釜山府人事相談所 職業紹介所
所	在 地	慶尙北道大邱府東雲町(圖書館内)	慶尙南道釜山府密永町1丁目1番地ノ3
經	營 主 體	大邱府	釜山府
開	設	昭和3年5月1日	大正12年8月
宗	教 別		
所	長	兼務	小林梅次郎
現 況	従 事 員	2名	書記3名事務員3名傭人1名計6名
	紹 介 種 數	一般職業紹介	一般紹介及日働紹介
	一日平均求人數	一般紹介1人 6分	4人 自昭和4年5月1日 至同 5年3月31日 取扱ニル 數ニ依
	一日平均求職數	同上 8人	求職者新規7人 再來1人計8人 同 上
	一日平均件數	同上 1人 5分	同上 6人 2分
附	帶 事 業		共同食堂、共同宿泊所
經	基 金		
	土 地		府有土地ニシテ坪毎勞130.6坪 時價18,000圓附帶事業敷地共
	建 物		建物29.5坪 外2階12坪 時價3,828圓本館木造瓦葺二階建12坪附屬家屋木造五葺平家建12.5坪風呂熱庫木造鐵板葺平家建5坪
	備 品	桌子、椅子、書箱、門標、平板、掛札、カード挾、カード入、鐵火鉢	2,320圓
濟	豫 算	1,701圓	昭和4年度豫算歳出經常部6,868圓
	財 源	府費、故庫補助	國庫貸付方補助金及地方一般個人ニ依リモノニシテ本年度豫算ニ於テ國庫補助金1,372圓 地方補助金3,050圓府ノ歳入2,425圓ナリ
措	革	昭和3年度中ハ一般職業紹介ノ取扱ロクルガ昭和4年度ヨリ日働勞働紹介ノ取扱フニ至レリ	夫レ若クモ職ノ存 職ノ紹介シ又ハ一造民業ノ身上相談ニ應ジ其目的ニ依リテ本年5月4日 開始シテ翌年4月ヨリ建物部ノ取扱ヲ行ハルニ至リ又ハ各職ノ現況ニ依リテ各職ノ充實ヲ行ハルニ依リテ運行ノ設備ヲ増シテ置ケル
備	考	日働勞働求人求職紹介ハ昭和4年5.6月ノ平均トス	

職 業 紹 介 事 業

名 稱		平塚府職業紹介所	新義州府公設職業紹介所
所 在 地		平安南道平塚府廳内	平安北道新義州府常盤町4丁目新義州府廳内
經 營 主 體		平塚府	新義州府
開 設		大正11年4月1日	昭和3年11月1日
宗 教 別		ナシ	ナシ
所 長		ナシ	新義州府尹
現 況	從 事 員	2人	専任事務員1名 兼務1名
	紹 介 種 數	工業及商業、土木建築業、商業、農林業、通信運輸業、戸内使用人、雜業等ナリ	戸内使用人、店員、職工、給仕、一般勞働者
	一日平均求人數	0.8人	44人
	一日平均求職數	2人強	5人
	一日平均紹介件數	一件強	4人強
附 帶 事 業		ナシ	ナシ
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	ナシ	ナシ
	建 物	ナシ	府廳舍内
	備 品	ナシ	ナシ
後 算	1,287圓	1,546圓	
財 源	府 費	府費、國庫補助、地方費補助	
沿革	職業紹介ノ事務ハ大正9年6月4日ヨリ人事相談所ノ設置ト共ニ同所ニ於テ取扱ヒ來リシガ大正14年4月1日ヨリ人事相談所ヲ集約シ府廳内ニ於テ本事務ヲ取扱フコトトセリ		
備 考	ナシ		

職 業 紹 介 事 業

名 稱		宜川面公設職業紹介所	成興面職業紹介所
所 在 地		平安北道宜川郡宜川面川北洞宜川面事務所内	成鏡南道成興郡成興面
經 營 主 體		宜川面	成興面
開 設		昭和4年3月20日	昭和4年2月28日
宗 教 別		ナシ	
所 長		宜川面長	面長
現 況	從 事 員	書記1人・備人1人	2人
	紹 介 種 數	一般及日傭労働紹介	一般及日傭労働紹介
	一 日 平 均 求 職 數	2人	0.5人
	一 日 平 均 求 人 數	2人	2.2人
附 帶 事 業	一 日 平 均 紹 介 件 數	2人	0.4人
	附 帶 事 業	ナシ	人事相談、住宅紹介、無料代書
	基 金	ナシ	
	土 地	ナシ	
	建 物	ナシ	
	備 品	所印1、卓子2、書箱2、椅子2	
預 算	988圓	2,800圓	
財 源	面費、國庫補助	面費、地方費及國庫補助	
沿 革		昭和3年8月職業紹介所設置認可申請ヲ爲シタル處同4年3月8日附ヲ以テ認可セラレタルヲ以テ同年同月二十日開所セリ	開設日淺ク當分面事務所内ニ於テ事業開始ス近ク新築建物ニ移轉ノ見込ナリ
備 考			

職 業 紹 介 事 業

名 稱	釜山勞僱共濟會	
所 在 地	本 部	慶尙南道釜山幸町 2番地ノ39
經 營 主 體	出張所	慶尙南道釜山巖道 第一棧橋構内
開 設	會員組織	木村清ノ經營ニ テ 岡康ノ補助アリ
宗 教 別	開 設	大正12年5月7日
所 長	宗 教 別	
現 況	所 長	(代表者) 木村 清
	從 事 員	專務理事1名 事務員(内)二名 (外)一名
現 況	紹 介 種 數	一般紹介及勞働紹介
	一日平均求人數	3人
	一日平均求職數	6人
附 帶 事 業	一日平均紹介件數	4人
	附 帶 事 業	人事相談、貸家案内、事業案内、勞資間協調、共同宿泊所
經 費 源	基 金	
	地 物 借 品	
經 費 源	算 源	昭和4年度 4,331円
	財 源	會費、補助金、一般寄附金、 事業收入、代表者出資金
備 考	備 考	朝鮮人ノ強烈期スル所ナク内地ニ渡 ルニシテハ一應ヲ求メラレシメ然レ テ亦ハ一應シテ自ラナル者アル ヲ得テ大正15年5月1日 概内ニ勞働者 求業者ノ共濟會所ヲ設ケ、之ニ對 シテ前職共濟會ヲ兼テ自ラナル者 向テ勞働共濟會ト選擇シ取り立てシ スルモノナリ、其後詳内文ニ著内ニ テモ一般紹介ノ意ナシ

人 事 相 談 事 業

名 稱	京 城 府 人 事 相 談 部	和 光 教 團 人 事 相 談 部	
場 所	京 城 府 黄 金 町 3 丁 目 64 番 地	京 城 府 觀 水 洞 102 番 地	
經 營 主 體	京 城 府	和 光 教 團	
開 設	大 正 12 年 7 月 1 日	大 正 11 年 4 月	
宗 教 別		佛 教 淨 土 宗	
代 表 者 主 任	沖 元 德 市	森 野 順 導	
現 狀	從 事 員	7 名 (職 業 紹 介 所 員 兼 任)	2 名
	一 日 平 均 談	1 件	3.5 件
	附 帶 事 業	一 時 救 護・副 業・住 宅 等 紹 介	
	相 談 種	人 事 上、生 活 上、勞 働 上、 商 業 上 其 他	人 事 上、生 活 上、勞 働 上、 商 業 上 其 他
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	京 城 府 職 業 紹 介 所 土 地	和 光 教 團 宿 泊 部 土 地
	建 物	同 建 物	同 建 物
	備 品	同 備 品	事 務 用 卓 子、椅 子、電 話 等
	豫 算 財 源	同 豫 算 財 源	1,280 円 福 永 政 治 郎 氏 ノ 寄 附 金 諸 官 廳 ノ 補 助 金 一 般 寄 附 金
沿 革	京 城 府 職 業 紹 介 所 ノ 沿 革 ト 同 ジ	宿 泊 人 ノ 相 談 ニ 應 ジ ツ ヅ ア リ シ ガ 逐 日 申 込 者 増 加 ニ 付 キ 一 部 ト ナリ 今 日 ニ 至 ル	
備 考	職 業 紹 介 所 ト 人 事 相 談 所 ト ノ 事 務 ハ 開 設 當 時 ヨ リ 一 緒 ニ 取 扱 ヒ 現 今 ニ 至 リ タリ		

人 事 相 談 事 業

	名 稱	清津人事相談所	
	所 在 地	盛饒北道清津府敷島町	
	經 營 主 體	清津府	
	開 設	大正12年4月1日	
	宗 教 別		
	代 表 者 主 任	清津府尹	
現 況	從 事 員	府書記1名	
	紹 介 種 數	職業紹介, 保護願, 人事相談	
	一 日 平 均 談		
	附 帶 事 業		
經 濟	相 談 種		
	基 金		
	土 地		
	建 物		
	備 品		
	豫 算	50円	
備 考	財 源		
	治 革		
	備 考	人事相談ノ取扱件數不明 職業紹介ハ見ルベキモノナ ク 昭和3年中取扱ハ求人 求職, 就職者トモ谷10名ニ 滿タズ	

授 産 事 業

名 稱	朝鮮總督府鐵道局現業員共濟組合授産部	向上會館授産部	
所 在 地	京城府漢江通15番地	京城府天然洞31番地	
經 營 主 體	朝鮮總督府鐵道局現業員共濟組合	大谷派本願寺	
開 設	大正14年4月1日	大正11年10月1日	
宗 教 別	ナシ	佛 教	
代 表 者 主 任	石崎頼久	土谷彦次郎	
現 況	從 事 員	224人	10名
	講 習 種 目	裁縫、印刷手工、編物洗濯	洋服裁縫
	一日平均講習者	200人	52名
	講習者種別	裁縫88人、印刷手工90人、編物37人、洗濯9人	1,2,3.學級及補習科
	講習中一日平均收入	一人當60錢	每人1日平均 .60圓
	生産品ノ販路	鐵道局	官廳、學校、銀行、會社其他
經 濟	基 金	ナシ但必要ノ都度鐵道局共濟組合貯金部ヨリ借入	ナシ
	土 地	鐵道局所管地	向上會館内
	建 物	鐵道局建物	同
	備 品	15,000圓	ミシン機械其他 5,000圓
	豫 算	15,000圓	45,700圓
	財 源	事業收入	事業收入、補助金、寄附金等
沿 革	<p>大正11年末滿經京城鐵道局ガ社會政策ノ一環トシテ設置セル社會會館鐵道局ノ一事業トシテ下級局員ノ家族ニ間島ナル副業ヲ授ケ以テ生活安定ノ一助ニ資セムガ爲メ設立シタルモノニシテ當時授産部(合宿所一館)ト稱セシガ読業者ノ増加及作業範圍ノ擴張ニ依リ大正13年現在ノ場所ニ歌酒1,200餘坪ヲ以テ新ニ作業場ヲ建造シ共濟會ト改メ起シテ大正14年4月移管ト共ニ鐵道局現業員共濟組合ノ附屬施設トシテ設置セラレタルナリ</p>		
備 考	<p>大正11年10月1日 本部洋服科及洋服科ヲ開設昭和2年1月末都合ニ依リ洋服科ヲ中止 同年4月 技術完成ノ爲洋服科ノ補習科ヲ増設ス</p>		

授 産 事 業

名 稱		和光教團授産部	本浦共生團授産部
所 在 地		京城府觀水洞102番地	慶尚南道本浦府大成洞127番地
經 營 主 體		和光教團	本浦共生團
開 設		大正13年10月	昭和2年10月1日
宗 教 別		佛教淨土宗	神 教
代 表 者 主 任		荻野順導	武村鶴男
現 況	従 事 員	2名	擔任者 1 補助 1
	講 習 種 目	毛絲編物、靴下製作	製繩、製紙袋
	一 日 平 均 講 習 者	25名	10名
	講 習 者 種 別	毛絲編物部、靴下製作部	少年乞食、孤兒
	講 習 中 一 日 平 均 收 入	60円	2円
生 産 品 ノ 販 路	發務局陸軍78、79聯隊及京城府内一般	府内	
經 費	基 金	ナシ	50円
	土 地	和光教團内	200坪
	建 物	56坪 1棟	亞鉛管木造平家建 3棟 30坪
	備 品	横編機械 8臺、靴下機械 20臺	製繩機 5臺
豫 算	12,504円	2,980円	
財 源	福永政治郎ノ寄附金、事業收入、官廳補助金、有志寄附金	授産、寄附金、會費、補助金收入	
沿 革	都市細民ニ家庭内職獎勵ノ趣旨ヲ以テ大正13年10月開設セシモノ毛絲編、靴下製作ノ二科ヲ置ク	本浦奇ハ郡内ノ交通阻弊ニ東ニハ國係上地方ヨリ東リ東ニハ乞食等ノ困窮者向ヲ救済スルニ差支ケ申出ル者不且著アルモ概シテ身當復命ナル少年多ク之等ハ衣食ニ乏シク時ハ廢ラシテ良分ヲナリ能ハズ人々ノ愛アリ之ヲ指導シ奉モルナル爲 昭和2年10月1日 本浦共生團ヲ設立シ授産事業ヲ始メシ昭和3年11月授産場、牧場等倉庫等30坪ヲ建築シ授産上刷新シテ了リ	
備 考			

授 産 協 會

名 稱	財團法人 授産協會	釜山 生 授産所	
所 在 地	全羅南道 麗川郡 麗川邑 邑內 甲	釜山 西區 水晶町 1ノ 甲	
經 營 主 體	有隣會	法人組織	
開 設	大正7年5月3日	大正10年4月	
宗 教 別	ナシ	宗教淨土宗	
代 表 者 主 任	全探 道知	大正秀甫	
現 況	從 事 者	2名	2人
	講 習 種 目	農 業	縫製
	一日平均講習者	2人	14.84人
	講習者種別	免因者	成人、子供、男女
況	講 習 中 一 日 入		15%
	生 産 品 販 路	光州市内	卸賣及在店賣
經 済	基 金	100円	
	土 地	敷地65坪、一畝42坪	4坪、1坪、1坪、無取付地
	建 物	1棟	10坪
	備 品	什器農具共他計91點	計20點、價格計6,618円60銭
況	豫 算	7,734円	6,104円
	財 源	國庫補助、地方費補助及事業收入	其他8坪、地方補助金表出賣金
沿 革	免因保護ノ目的ヲ以テ大正2年1月同仁會ヲ組織シ大正3年2月保護會ト改稱シ大正7年5月從來ノ財産ヲ寄附シ財團法人有隣會トナシテ現在ニ至ル	大正10年4月開設、1初等國語生徒ノミニナリシダ令、一般者ニモ利用ナセ、通勤ニミテ一切ノ原料材料等ヲ與フ	
備 考			

授 産 事 業

名 稱	馬山福壽會	
所 在 地	慶尚南道馬山府玩月洞 320番地	
經 營 主 體	馬山福壽會	
開 設	大正13年8月1日	
宗 教 別	曹洞宗	
代 表 者 主 任	光英博明	
現 況	從 事 員	15人
	講 習 科 目	竹細工、ミシン、養蠶、樹苗圃
	一 日 平 均 講 習 者	5人
	講 習 者 種 別	福壽寺夜學會生徒
	講 習 中 一 日 平 均 收 入	20圓
	生 産 品 ノ 販 路	府及郡ノ幹旋ニ依ル
經 濟	基 金	ナシ
	土 地	909坪
	建 物	福壽會館 60坪
	備 品	器具機械 250円
	豫 算	450円
	財 源	土地收入、官廳補助、本山補助、喜捨金、設立者出資
沿 革	大正11年開設ノ夜學會生徒ハ概ネ本郡農貧困者ノ子弟ニシテ之等ノ生活狀態ニ適切ナル授産事業トシテ大正13年8月ヨリ竹細工ミシンノ傳習養蠶樹苗圃ノ事業ヲ開始ス	
備 考	將來ニ於ケル計畫トシ目下樹苗圃ニ於ケル松苗ノ育成及桑園ノ經營ニヨリテ養蠶ヲ盛ナラシムベク考究中ニ屬ス	

簡 易

	名 稱	和光教團勞	
	場 所	京畿道京城府地	
	經 營 主 體	和光教團	
	開 設	大正9年12月25日	
	宗 教 別	佛教淨土宗	
	代 表 者・主 任	荻野順導	
現 狀	從 事 員	2名	
	宿 泊 者 定 員	90名	
	宿 泊 者 一 日 員	2,402人 (5月現在)	2,172名
	宿 泊 者 平 均 一 日 員	80人	70名
	宿 泊 料	5錢	自4月5錢 自11月10錢 至10月 至3月
	義 務 貯 金	5錢	
	義 務 貯 金	ナシ	
	附 帶 施 設	實費給食、無料入浴、簡易理髮、佛前禮拜	
	附 帶 施 設	沐浴、食事	
經 費	基 金		
	土 地	和光教團内	職業紹介所土地
	建 物	50坪	1階23坪 2階12坪
	備 品	毛布其他	
濟 源	豫 算	2,327円	京城職業紹介所費 = 含ム
	財 源	福永政澄郎ノ寄附金、諸官廳ノ補助金及一般有志ノ寄附金	
沿 革	沿 革	家庭ヲ有セザル労働者ヲ保護スル目的ヲ以テ宿泊室ヲ設ケ宿泊ノ便宜ヲ計ルト共ニ之ニ關聯シテ食事理髮入浴職業ノ紹介ヲナス	
備 考	備 考		

簡 易 宿 泊 所

名 稱	平壤府公設宿泊所	
所 在 地	平安南道平壤府鷄里 136 番地	
經 營 主 體	平壤府	
開 設	大正 9 年 6 月 4 日	
宗 教 別	ナシ	
代 表 者	平壤府尹	
現 況	從 事 員	3 人
	宿 泊 者 定 員	60 人
	宿 泊 者 1 箇 月 延 入 員	平均 645 人
	宿 泊 者 1 日 平 均 入 員	22 人弱
	宿 泊 料	1 泊 10 錢
義 務 附 金	ナシ	
附 帶 施 設	ナシ	
經 済	基 金	ナシ
	土 地	
	建 物	五 條 一 棟 (總坪 120 坪 建坪 65 坪)
	借 品	本國 6 和卓子 5 椅子 5
	備 置	112 圓 (修繕費トシテ)
	財 源	府 費
沿 業	和味店ニ於テ直接經營シ來 リシガ大正 14 年 4 月 1 日マ リ民間ニ委託シ經營ス	
備 考	本年度ニ於テ新設スル職業 紹介所ノ附帶事業トシテ煉 瓦建ニ改造スル計程ナリ	

漁 業 者 共 同 宿 泊 所

	積	漁業者共同宿泊所	
所	在 地	慶尚北道鬱陵島南面道洞	
經	營 主 體	鬱陵島漁業組合	
開	設	昭和3年12月16日	
宗	教 別		
代	表 者	鬱陵島漁業組合長	
現 況	從 事 員	2名	
	種 目	宿泊・食事	
	料 金	1食12錢	
	時 間	1定ノ時間ナシ	
	1日平均 入所者數	5名	
經 濟	基 金	基金トシテ別ニナシ	
	土 地	60坪	
	建 物	木造トタン葺平家55坪	
	備 品	ナシ(組合ニ於テ特ニ備品トシテ設備ナク宿泊人ニ必要ナル道具ハ管理人ニ於テ提供ス)	
	豫 算	建物修繕費50圓宿泊所管理人補助50圓計金100圓也	
	財 源	漁業組合經費ヨリ負擔ス	
沿	革	昭和3年11月5日竣功建築費4,000圓ナリ 昭和3年12月16日ヨリ開所ス	
備	考	建物維持修繕ハ漁業組合ニ於テ負擔シ管理人ヲ置キ之ニ當ラシメ年ニ50圓ノ補助金ヲ與フ	

公 設 市 場

名 稱	明治町公設日用品市場	花園町公設日用品市場	
場 所	京畿道京城府明治町2丁目25番地	京畿道京城府花園町83番地	
經 營 主 體	京城府	京城府	
開 設	大正8年12月	大正9年10月	
宗 教 別			
代 表 者	京城府尹	京城府尹	
現 狀	從 事 員	2名	2名
	店 舖 數	15	14
	敷地總坪數及市場使用料	226坪. 坪2圓	264坪. 坪2圓
	使用者資格	府ニ於テ適當ト認メタルモノ	府ニ於テ適當ト認メタルモノ
	營 業 時 間	午前7時ヨリ午後10時迄	午前7時ヨリ午後10時迄
	建 物 總 坪 數	226坪	201坪.
	總 建 築 費	21,937円	13,500円
	休 業 日	1月1日及毎月第二日曜日	(1月1日及毎月第2日曜)
一箇年賣上總額	249,149円	234,719円	
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	226坪	民有
	建 物	20,000円	12,000円
	備 品	ナシ	ナシ
	豫 算	歲入8,546圓歲出8,696圓 (他ノ市場經營ヲ含ム)	明治町市場ニ合算ス
	財 源	府 費	府 費
措 置	大正8年物價騰貴ノ爲一般ハ生活ノ脅威ヲ感ズルニ至リタルヲ以テ府ハ日用必需品ノ廉實供給ヲナシ府民ノ生活安定ヲ圖ル目的ニテ開設シ今日ニ至ル	明治町市場ニ同ジ	
備 考	従事員2名ハ他ノ市場ト兼務ナリ	従事員2名ハ他ノ市場ト兼務ナリ	

公 設 市 場

名 稱	龍山公設日用品市場	仁川府公設日用品市場
場 所	京畿道京城府漢江通3番地ノ44	京畿道仁川府
經 營 主 體	京城府	
創 立	大正11年10月	昭和2年7月1日
代 表 者	京城府尹	仁川府尹
現 況	從 事 員	2名
	店 舖 數	15
	市 場 數	2箇所
	敷 地 總 坪 數	205坪
	建 物 總 坪 數	111坪
	總 建 築 費	10,908 ^圓
	市 場 使 用 料	坪2 ^圓
	使 用 者 資 格	官ニ於テ適宜ト認メタルモ 市場ノ使用條例ニ依リ府尹 ノ許可ヲ受ケタル者
	營 業 時 間	午前7時ヨリ午後10時迄
現 況	休 業 日	(1月1日及毎月第二日曜)
	1 年 賣 上 總 額	234,715 ^圓
經 營	基 金	ナシ
	地 地	26坪
	建 物	13,040 ^圓
	他	ナシ
設 置	設 置 費	明治町市場ニ合算ス
	設 置 費	仁川府費
設 置 費	明治町市場ニ同ジ	如來個人經營ニ係ル市場類 創メ經營所アリヲ以テ府 ニ於テ之ヲ經營スルニ至 ルモノナリ
備 考	從事員2ノ他ノ市場ノ業務 ナリ	

公 設 市 場

名 稱	羶山公設市場	全州面公設市場	
場 所	全羅北道羶山府明治町通	全羅北道全州郡全州面大正町3丁目	
創 立	大正10年9月1日	大正12年4月16日	
代 表 者	羶山府尹	全州面長	
現 況	從 事 員		
	店 舖 數	10	18
	市 場 數	1	1箇所
	敷 地 總 坪 數	50坪	150坪
	建 物 總 坪 數	100坪	90坪
	總 建 築 費	800円	1,817円
	市 場 使 用 料		
	使 用 者 資 格	府住民ニシテ商業ニ經驗アルモノ	指定商人
	營 業 時 間	自午前6時至午後10時	無制限
	休 業 日	4大節	
1 箇 年 賣 上 總 額	418,549円	297,749円	
經 濟	基 礎 地 價		15坪
	建 物 費	500円	9坪・クワン・倉庫・建屋4棟
	其 他		
財 源	豫 算	50円	
	財 源	府	1 費
治 革		<p>物價ノ急騰シテ廉價ヲ求メ且申 民ノ便ヲシテ市民ノ生活ヲ安 定スルニシテ爲設備ス</p>	<p>大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長 大正12年4月16日、全州面長</p>
備 考			

公 設 市 場

名 稱	機 構	木浦公設市場	大邱府公設市場
場 所	所	全羅南道木浦府南橋洞	慶尙北道大邱府東門町13番地ノ1
創 立	立	昭和4年7月	大正9年7月1日
代 表 者	者	木浦府尹	大邱府尹
現 況	從 事 員	府吏員1人, 傭人1人	
	店 舗 數	41戸露店約100	15
	市 場 數	1箇所	1
	敷 地 總 坪 數	1,009坪	371坪
	建 物 總 坪 數	132坪	50坪
	總 建 築 費	4,356円	7,000円
	市 場 使 用 料	屋內1坪ニ付1箇月3圓40錢 乃至2圓40錢屋外1箇月50錢	坪當月額 1圓20錢 1圓
	使 用 者 資 格	商業ノ經驗アリ信用アルモノ	指定販賣者
	特 業 時 間	季節ニ依リ異ナルモ概シテ 日出ヨリ日没マデヲ標準トス	概シテ午前7時ヨリ午後7時 迄
	休 業 日	1月1日, 紀元節, 天長節 明治節	1月1日3日
	1箇年賣上總數		平均22萬圓
經 濟	基 金	ナシ	
	土 地	1,030坪	
	建 物	亞鉛葺木造平家132坪	
	其 他		
濟	豫 算	1,922円	436圓
	財 源	市場使用料收入	府 費
治 革	革		大正9年戰後物價高騰ニ鑑 ミ日用品實價低減ヲ目的ト シテ創設今日ニ至ル
備 考	考	昭和4年7月ヨリ開始ノ見 込ナリ	

公 設 市 場

	名 稱	釜山府公設南濱町市場	釜山府公設富平町市場	
場	所	慶尙南道釜山府本町1丁目	慶尙南道釜山府富平町2丁目	
創	立	大正13年8月	大正4年9月	
代	表 者	釜山府尹	釜山府尹	
現	從 事 員	2人(他=乗務1人)	7人	
	店 舗 數	166	屋內 115戸 屋外 979戸	
	市 場 數			
	敷地總坪數	166坪	1,287坪(道路ヲ合ム)	
	建物總坪數	131坪	489坪9合4勺(外二階坪27坪6合2勺)	
	總 建 築 費		32,666円	
況	市 場 使 用 料	屋內1月 { 一等4.80圓 19圓 二等3.40圓 14圓 三等2.40圓 10圓 } 1日 屋外1月 { 一等2.50圓 16圓 二等2.25圓 9圓 三等2.00圓 8圓 } 1日	場屋內1月 { 一等4.60圓 19圓 二等3.00圓 12圓 三等2.50圓 10圓 } 1日 場屋外1月 { 一等2.50圓 16圓 二等2.25圓 9圓 三等2.00圓 8圓 } 1日	
	使 用 者 資 格	許可制トシ特ニ制限ナシ	許可制トシ殊ニ制限ナシ	
	營 業 時 間	自4月至9月 自午前6時30分至午後7時 自10月至3月 自午前7時30分至午後6時	自10月至3月 自午前7時30分至午後6時 自4月至9月 自午前6時30分至午後7時	
	休 業 日	一月一日、紀元節、天長節、明治節	一月一日、紀元節、天長節、明治節	
	一箇年賣上總額	393,000円	2,000,000円	
	經	基 金		
		土 地		535坪(此評價格55,000円)
		建 物		489坪9合4勺 此評價30,704円)
		其 他		
	濟	豫 算	歲 入 9,400円 歲 出 7,431円	歲 入 22,500円 歲 出 6,641円
財 源		市場使用料	市場使用料	
沿	革	牧場ヨリスル野菜類ト肉類ニ陸揚セラルル魚類トノ消化機關トシテ大正13年11月民有地165坪ト不造瓦葺ニ階礎トヲ借受ケ經營スルニ至リタルモノナリ	個人經營ヨリ大正4年府ノ所管ニ移シ設備其他ニ改善ヲ加ヘ大正11年市場周圍ノ道路840坪ヲ市場區域ニ編入シ今日ニ達セリ	
備	考			

公 設 市 場

名 稱	富町公設市場	馬町公設市場	
場 所	慶尙南道馬山府富町(舊馬山)	慶尙南道馬山府馬町	
創 立	大正13年9月1日	大正12年12月25日	
代 表 者	馬山府尹	馬山府尹	
現 況	従 事 員	2名	1名
	店 舗 數	21(常設店舗)屋外72	16
	市 場 數	1	1
	敷地總坪數	1,799坪6合	2,281坪
	建物總坪數	煉瓦造平家住宅附常設店舗 2坪土屋94坪	106坪5合
	總 建 築 費	7,600 ^円	5,808 ^円
	市場使用料	屋内1坪1ヶ月3圓以内1日15 錢以内 屋外1箇月1圓以内 1日5錢以内	屋内1坪1ヶ月3圓以内1日15 錢以内 同外1坪1ヶ月1圓 以内1日5錢以内
	使用者資格	別ニ制限ヲ設ケズ	別ニ制限ヲ設ケズ
	營 業 時 間	自午前5時至午後9時頃	自午前8時至午後6時
	休 業 日	ナシ	ナシ
1箇年賣上總額	270,300 ^円 (昭和3年)中	29,500 ^円	
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	19,508 ^円	4,000 ^円
	建 物	7,600 ^円	5,808 ^円
	其 他	ナシ	ナシ
備 考	豫 算	1,276 ^円	151 ^円
	財 源	府 費	府 費
備 考	富市場ハ平合前ヨリ陸5.10ノロノ古 リトナシ通商ノ商賣ニ由リ交通 上ノ弊ヲ免ルニシテ新ナルヲ以 テ富町トスルノ故ヨリ大正13年 餘前ノ市場ノ中心點ニ包テスル數 ノ買取ヲ行ヒ其合ニ至リ	富市場ハ大正3年蘇靈山ニ隣接ノ水 邊共進會ノ建物ノ一部ヲ買取シ新馬 山町ノ市場トシテ開設セルモノニシ テ將來別ニ買取スレバ其年賣上額 ノ増大シ理合ニ至レルモノナリ	
備 考	將來市場以テ是ノ隣接地帯ノ買取 ニ行ヒ大規模ノ建設セテ完成ノ 場ニ於テハ市場ノ秩序ヲ整ヒ賣上額 ノ増大ニ至リ		

公 設 市 場

名 稱	平 ^一 府 ^二 龜 ^三 町 ^四 公 ^五 設 ^六 市 ^七 場	平 ^一 府 ^二 幸 ^三 町 ^四 公 ^五 設 ^六 市 ^七 場	
場 所	平 ^一 安 ^二 南 ^三 道 ^四 壤 ^五 府 ^六 幸 ^七 町 ^八	平 ^一 安 ^二 南 ^三 道 ^四 壤 ^五 府 ^六 幸 ^七 町 ^八	
創 立	大正9年7月27日	大正9年11月6日	
代 表 者	壤府尹	壤幸町	
現 況	従 事 員	2人	
	店 舗 数	20	14
	市 場 数	1ヶ所	1ヶ所
	敷地總坪數	758.0坪	384.25坪
	建物總坪數	19坪	85坪
	總 建 築 費	12,500円	7,965円
	市場使用料	1坪 $\frac{11}{100} \times 90.3$ $\frac{11}{100} \times 50.3$	壽町市場ト同ジ
	使用者資格	前科ナク身元確式ニシテ6 業ニ経験アリノ格資ノ限ナ ル者	同 上
	停 業 時 間	夜明ヨリ日暮マデ	同 上
	休 業 日	ナシ	ナシ
1箇年賣上總額	056,730.81 $\left(\frac{601.61}{3年} \right)$	39,634.14 $\left(\frac{601.61}{3年} \right)$	
經 済	基 金	ナシ	
	土 池	ナシ	
	建 物	トタン平屋建1棟	瓦葺平屋建3棟
	其 他	ナシ	ナシ
	豫 算 財 源	4,513円 $\left(\frac{601.61}{3年} \right)$ (幸町、同員)	府 費
沿 革	42價ノ暴騰ヘ一販府住氏ノ 生活ヲ脅威シ其ノ安定ヲ失 ハシメトスル狀況ノ呈セ ルヲ以テ日常必需品供給ヲ 廉ナラシムベク大正9年 度ニ於テ府内三ヶ所ニ設置 セリ	同	
備 考			

公 設 市 場

名 稱		平壤府司倉公設市場	壽町公設市場
場	所	平安南道平壤府倉田里	咸鏡南道元山府壽町1丁目
創	立	大正9年8月1日	大正12年2月21日
代	表 者	平壤府尹	元山府尹
現	從 事 員		1名
	店 舖 數	23	19
	市 場 數	1ヶ所	1
	敷地總坪數	2,071,4坪	370坪
	建物總坪數	146坪	5棟
	總 建 築 費	14,524 ^円	2,707 ^円
	市場使用料	壽町市場ト同ジ	年總額 884 ^円
	使用者資格	同 上	商業
	營業時間	同 上	日出ヨリ日没迄
	休 業 日	ナシ	一月一日
	1箇年賣上總額	124,779,56 ^円 (昭和3年)	昭和3年度 67,621 ^円
經	基 金		
	土 地		民有地借上
	建 物	瓦葺平屋建6棟	府有
	其 他	ナシ	
濟	豫 算		934 ^円
	財 源	壽町市場ト同ジ	市場收入
沿	革	物價ノ暴騰ハ一般府住民ノ生活ヲ脅威シ其ノ安定ヲ失ハシメムトスル狀況ヲ呈セテ以テ日常必需品供給ヲ低廉ナラシムベク大正9年度ニ於テ府内ミケ所ニ設置セリ	
備	考		

公 設 市 場

		海埠邊公設市場	威興面公設市場
名 稱		海埠邊公設市場	威興面公設市場
場 所		威鏡南道元山府海岸通	威鏡南道威興郡威興面
創 立		昭和2年12月10日	昭和3年1月14日
代 表 者		元山府尹	面 長
現 況	從 事 員	2名	
	店 舖 數	店舖40. 攤店舖14. 共同店舖40區	58
	市 場 數	1	2
	敷地總坪數	1,081坪	3,605坪
	建物總坪數	3棟	322坪
	總 建 築 費	21,000円	24,980円
	市場使用料	年總額 6,818円	年總額 12,400円
	使用者資格	商業	食料品及雜貨商人
現 況	營 業 時 間	日出ヨリ日沒迄	1日10時間
	休 業 日	一月一日	
	1箇年賣上總額	昭和3年度 194,906円	2,113,097円
經 濟	基 金		
	土 地	府有地	
	建 物	府有	
	其 他		
	豫 算	915円	3,710円
財 源	市場收入	面一般收入ヲ以テ充ツ	
治 革			東市場ハ昭和3年1月14日新設. 西市場ハ民間ニ於テ經營セルモノヲ買收. 昭和3年1月ヨリ開市セリ
備 考			

公 設 市 場

名 稱		羅南區公設市場	清津府營公設市場
場 所		咸鏡北道鏡城郡羅南面	咸鏡北道清津府敷島町
創 立		大正11年3月3日	大正11年12月
代 表 者		羅南面長	清津府尹
現	從 業 員	1	監視員 1名
	店 舖 數	34	16戸
	市 場 敷	1	1ヶ所
	敷地總坪數	50坪	48坪
	建物總坪數	58坪	48坪
	總 築 費	2,150円	
	市場使用料	使用料1ヶ月總額900円、半年總額1,080円 地料同 800円	1戸 7圓
況	使用者資格	物品販賣業者	市内居住者ニシテ相當經營シ得ル資力ヲ有スル者
	營業時間	毎日午前9時ヨリ午後6時迄	午前8時ヨリ午後10時迄
	休業日		
	1ヶ年売上總數	56,450円	15,000円(自1月至5月五ヶ月分トス)
	基 金		
經 濟	土 地		
	建 物	木造 ¹ 鉛葺 ² 家建 ² (28坪1棟 30坪1棟)	2棟 16戸
	其 他		
	豫 算	1,390円	661円
	財 源	毎ノ年ノ收入ヲ以テ財源ト爲ス	
沿革	日常ノ需 ¹ 蔬菜、干鮮魚、果物、穀類、日用諸雜貨、磁器等ノ供給ヲ調整ニシテ價格ノ調節ヲ圖リ以テ市民ノ利用ニ供スル目的ヲ以テ大正10年3月3日設立シタルモノナリ		
備 考			

公 衆 食 堂

名 稱	釜山府共同食堂	
所 在 地	慶尙南道釜山府寶水町1丁目 132番地	
經 營 主 體	釜山府	
開 設	大正12年11月	
宗 教 別		
主 任	小林梅次郎	
現 況	從 事 員	2名
	料 金	壽司、ライスカレー、肉井、辨當、種うどん、刺身各15錢、牛乳10錢、しるこ、うどん、そば各7錢、漬物、パン、コーヒー追加飯各五錢、漬物2錢
	種 日	定食 朝食 13錢 晝食 15錢 夕食 15錢
	時 間	午前7時ヨリ午後9時迄
	1日平均入所者數	46名 自昭和3年6月1日入所者數 至同 4年5月31日ニ依ル
	1日平均賣上高	6 ^円 41 ^銭 同上賣上價ノ平均
經 濟	基 金	
	土 地	職業紹介所敷地ニ含ム
	建 物	建坪26坪ニシテ時價 2,600 ^円
	備 品	職業紹介所備品欄ニ含ム
	豫 算 財 源	別ニ豫算ヲ設ケズ職業紹介所豫算ニ包含ス 地方費補助金及府ノ一般歳入ニ依ル
造 革	釜山府ノ都市的發達ニ伴ヒ至ベキ食堂ヲ必要トスルニ至リ大正12年11月職業紹介所ト併立シテ府營共同食堂ヲ建設シ釜山府營事業トシテ開始セリ	
備 考		

公 設 浴 場 事 業

名 稱		群山公設浴場	東茶面公設浴場	
所 在 地		全羅北道群山府榮町138番地	慶尙南道東萊郡東茶面温泉里	
經 營 主 體		群山府	東茶面	
開 設		大正12年1月	大正10年	
主 任				
現 況	從 事 員	2人	4人	
	時 間	自午後1時至同11時	自午前6時至午後11時	
	料 金	12歳以上3錢 4歳以上12歳未滿2錢 4歳未滿 無料	大人一回3錢 小人1錢 家族湯3人迄15錢3人以上 20錢 患者湯無料	
	一日平均	入浴者數	178人	355人
		收 入	4.58円	10.85円
休 業 日		ナシ	ナシ	
經 済	基 金	ナシ	ナシ	
	土 地	ナシ	446坪	
	建 物	20坪 3,000円	2棟60坪時價3,000円	
	備 品	200円	500円	
	豫 算 財 源	100円	4,653円	
浴 場 改 革		府ニ於テ經營費 3,800圓ヲ投ジテ建設シ直營セシガ其ノ後設備ノ完成ト共ニ浴客增加シ自足シ得ルニ至レルヲ以テ大正13年度ヨリ府内湯屋組合ニ委託經營セシム	湯場ニ家ヲ建テ浴槽ヲ設ケタルハ肅宗王ノ17年ニシテ後肅25世哲宗王ノ二年ニ石南トシ更ニ大正10年改築シテ現今ノ公設浴場トナレリ	
備 考				

公 設 浴 場 事 業

名 稱		鎮海面公設浴場	平山温泉
所 在 地		境向南通昌原郡鎮海面慶和洞	黃海道平山郡積岩面温井里
經 營 主 體		鎮海面	平山郡積岩面
開 設		大正14年1月21日	昭和3年6月20日
主 任		面吏員ノ申衛生係	積岩面長
現	從 事 員	3名	1人
	時 間	午後3時ヨリ午後10時迄	自午前6時至午後11時
	料 金	大人4圓 小人3圓	大人 1日5圓 1回2圓 小人 1日2圓 1回1圓
況	一日平均入浴者數	69人2分	50人
	收 入	2,539.4圓	1圓
休 業 日		1月中ノ隔數日(但シ市日ヲ除ケ)	年中無休
經	基 金	935圓	250圓
	土 地	卒120坪見積價額1,100圓	ナシ
	建 物	木造瓦葺平家1棟36坪71 見積價額2,700圓	トタン葺平家19坪7合5勺
備 品		建具數外11點 見積價額1,357圓	脱衣棚二箇(代金60圓)
濟	豫 算	維持費128圓 積立金210圓	600圓
	財 源	浴場擔當者ヨリ納付金ヲ徵收ス見込額348圓	面經費
沿 革		大正13年3月設置計畫總工費4,500圓(内地方費補助3,000圓)ヲ以テ建坪26坪建築(13年8月起工同年11月竣工)	昭和2年度ニ地方費補助金2,000圓ヲ受ケ面經費1,000圓ト共ニ計3,000圓ニテ昭和3年3月末日竣工シ同年6月20日ヨリ開設シタリ
備 考			

公 設 浴 場 事 業

名 稱	貴 州 道 馬 山 温 泉	安 岳 公 設 浴 場
所在地	貴州道安岳郡馬山面温泉里 173 委地	貴州道安岳郡銀紅面温井里
經營主體	安岳郡馬山面	安岳郡銀紅面
開設	大正15年1月6日	大正14年6月20日
主任	安岳郡馬山面長	銀紅面長
現 時	従 事 員	2 人
	時 間	自午前6時至午後12時
況	料 金	特 (大人5錢 普 (大人3錢 別 (小兒2錢 通 (小兒1錢
	一日入浴者數	50人
	一日收入	2.50円
	休業日	毎年限1月1日
經	基 金	修繕費積立金2.0円
	土 地	50坪
	建 物	木骨ロックリート壁石綿ス レート葺二階建
濟	施 品	時計一ケ、鏡二ケ、椅子 六ケ
	採 算	571円
	財 源	温泉場使用料
沿革	古記口碑ナキヲ以テ沿革未 詳ナリ	大正14年新築セリ
備 考	休業日ハ毎年限1月1日モ 午後七時ヨリハ開業ス	

公 設 浴 場 事 業

	稱	溫泉面溫泉浴場	草里面溫泉浴場
所	在 地	黃海道信川郡溫泉面溫泉里	黃海道信川郡草里面達泉里
經	營 主 體	溫泉面	草里面
開	設	大正15年11月	昭和2年5月
主	任	面長 白明箕	面長 禹秉濟
現	從 事 員	2人	2人
	時 間	自午前6時至午後11時	自午前6時至午後10時
	料 金	普通湯 { 1回3錢但15歲未滿ハ1錢6歲未滿ハ免除 1回7錢但15歲未滿ハ3錢 同上 家族湯 { 1回10錢但15歲未滿ハ4錢6歲未滿ハ免除	普通湯 { 1回3錢但15歲未滿ハ1錢6歲未滿ハ免除 1日7錢但15歲未滿ハ3錢 同上 家族湯 { 1回10錢但15歲未滿ハ4錢 同上
況	一 日 平 均 入 浴 者 數	220人	162人
	收 入	8,23円	4,10円
	休 業 日	ナシ	ナシ
經	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	70坪	49坪
	建 物	一棟43坪5合	2棟46坪
濟	備 品	時計三個鏡四個杓子四個、水槽三十個ランプ六個	時計2個鏡4個杓子4個洗面器20個ランプ6個
	豫 算	1,365円	617円
	財 源	入浴料金收入ヲ以テ充ツ	入浴料金收入ヲ以テ充ツ
沿	革	元個人22名ノ共有ニシテ浴場經營ノ處大正14年3月溫泉里ニ寄附シ面ハ大正14年11月1,000圓ニテ買收シ經營ヲ始メタリ	元達泉里有ノ處大正15年4月面ニ寄附シ面ハ浴場ノ改築ヲ爲シ昭和2年5月ヨリ經營ヲ開始セリ
備	考		

公 設 浴 場 事 業

	名 稱	弓興面温泉浴場	平塚府公設浴場																				
	所在地	黄海道信川郡弓興面三泉里	平安南道平壤府爲里13番地																				
	經營主體	弓興面	平壤府																				
	開設	昭和2年5月	大正9年6月4日																				
	主任	面長 樞重燮	平壤府尹																				
	従事員	1人	3人																				
現	時 間	自午前6時至午後11時	正午ヨリ午後11時迄																				
	料 金	普通湯 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1回</td><td>3錢</td><td>但15歳未</td></tr> <tr><td>満ハ</td><td>1錢</td><td>6歳未滿</td></tr> <tr><td>ハ</td><td>免除</td><td></td></tr> <tr><td>1日</td><td>7錢</td><td>但15歳未</td></tr> <tr><td>満ハ</td><td>3錢</td><td>同上</td></tr> <tr><td>1回</td><td>10錢</td><td>但15歳未</td></tr> <tr><td>満ハ</td><td>4錢</td><td>同上</td></tr> </table> 家族湯	1回	3錢	但15歳未	満ハ	1錢	6歳未滿	ハ	免除		1日	7錢	但15歳未	満ハ	3錢	同上	1回	10錢	但15歳未	満ハ	4錢	同上
1回	3錢	但15歳未																					
満ハ	1錢	6歳未滿																					
ハ	免除																						
1日	7錢	但15歳未																					
満ハ	3錢	同上																					
1回	10錢	但15歳未																					
満ハ	4錢	同上																					
況	一日平均入浴者數	60人	193人																				
	收 入	1,64円	7,26円																				
經	休業日	ナシ	毎月15日																				
	基金	ナシ	ナシ																				
	土地建物	15坪	ナシ																				
濟	備 品	時計2個、鏡4個、椅子4個、洗面器15個、ランナー4個	桶、鏡、時計等																				
	豫 算	526円	300圓、修繕費トシテ																				
	財 源	入浴料全收入ヲ以テ充ツ	平壤府費																				
活	革	温泉土地建物ハ昔ヨリ面有ニシテ建物不完全無月浴場ノ改築ヲ爲シ約金ヲ徴收スルコトト爲レリ	一般市内ノ入浴料ハ當時内 地人經營浴場ニテハ大人 人8錢朝鮮人經營ノニシテ アリテハ大人9錢兒童ハ一 般下層生活者ニテハ入 浴ノナスモノ少カリシヲ 以テ一般衛生上ノ觀念 セシムル目的ニテ之 スレニ至レリ																				
備	考																						

公 設 浴 場 事 業

名 稱		義州面公設浴場	江陵面公設浴場
所 在 地		平安北道義州郡義州面西部洞	江原道江陵郡江陵面本町
經 營 主 體		義州面	江陵面
開 設		大正12年6月1日	大正13年2月1日
主 任		義州面長	面長 崔燦興
現	從 事 員	番人2名、火夫1名、計3名	2人
	時 間	毎日午後3時ヨリ同11時迄	正午ヨリ午後10時マデ
	料 金	大人5錢 小人3錢 但3歳以下無料 トス	大人5錢 小人3錢
一 日 平 均	入 浴 者 數	春秋期80人、夏期48人、冬期80人	大人60人、小人30人、計90人
	收 入	春秋期4圓、夏期2.40圓、冬期4圓	3.90圓
休 業 日		陰曆正月1日ノ1日ノミ	毎月17日
經	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	243坪1合(敷地)	浴場委託經營者ヨリ提供ス
	建 物	浴場1棟43坪	同上
濟	備 品		湯釜1個、脱衣箱2個、揚ホボンプ1個
	豫 算	歳入1,524圓 歳出1,452圓	160圓
財 源		浴場使用料	ナシ
沿 革		大正12年本浴場設置當時ハ邑内戸數 1,800餘戸 9,000餘ノ人口ヲ有スルニ浴場ハ僅カニ個人經營ノ一個所アルノミニシテ而モ所在一方ニ偏シ遠キハ10町餘ノ距離ニシテ一般ノ不便不尠故ニ於テ永久ニ公衆ノ便ヲ圖ル目的ヲ以テ設置シタルモノナリ	元來ハ上田郡大耶單理郡ニナリシモ大正8年物價騰貴ノ爲メ浴料値上ヲ申請セルモイ許可ノ爲ニ廢棄セラシ其後人口増加衛生上君過スベカラザスモ貧弱ナル國體尙ニテハ到底經營シ得ザルヲ以テ大正12年道廳方補助ヲ受ケ大正13年2月之ヲ開設シタルニシテリ 面直轄經營ヲ付テハ面ノ經費困難ナルヲ故ニ物價ノ委託者料充實ニ提供セシム其他浴場用具及修理ハ面ニ於テ設備ス
備 考			

公 設 浴 場 事 業

名 稱	蓮井面共同浴場		
所 在 地	黃海道松禾郡蓮井面温水里		
經 營 主 體	蓮井面		
開 設	大正13年4月		
主 任	蓮井面長 李秉烈		
現 況	從 事 員	2人	
	時 間	自午前6時至午後12時	
	料 金	1回3錢1日7錢 但シ15 歳未満無料	
	一 日 平 均	入浴者數	150人
	收 入	4円	
休 業 日	ナシ		
經 濟	基 金	ナシ	
	土 地	88坪 (敷地)	
	建 物	2棟 (44坪)	
	備 品	鏡2 下駄箱2 着物掛2 杓子6	
	豫 算	100円	
	財 源	浴場收入	
活 革	元里有財産ナリシが大正13 年面有トナリ當年寄附金3,0 00圓ヲ以テ改築シ今ニ至ル		
備 考			

公 設 理 髮 所 事 業

名 稱	群山公設理髮所		
所 在 地	全羅北道群山府榮町138		
經 營 主 體	群山府		
開 設	大正12年1月		
主 任			
現 況	從 事 員	5人	
	時 間	自午前7時至午後11時	
	料 金	ハイカラ 35圓 丸刈 {大人 20圓 類 剃 {小人 10圓 15圓	
一 日 平 均	理 髮 者	23人	
	收 入	5.96圓	
休 業 日	ナシ		
經 濟	基 金	ナシ	
	土 地	ナシ	
	建 物	15坪	1,500圓
	備 品	300圓	
	豫 算	ナシ	
財 源	府 費		
沿 革	大正12年群山理髮業者組合ヨリ建物及備品ヲ寄贈群山理髮業者組合ニ委託經營セシメ料金ハ府尹之ヲ定ム		
備 考			

公 設 洗 濯 場 事 業

名 稱		群山公設洗濯場	南漣洞公設洗濯場
所 在 場		全羅北道群山郡内(五箇所)	全羅南道木浦府産橋洞
經 營 主 體		群山府	木浦府
開 設		大正10年7月	大正11年10月8日
主 任		ナシ	木浦府尹
現 況	使 用 員	ナシ	
	時 間	制限ナシ	制限ナシ
經 費	料 金	ナシ	ナシ
	一 日 平 均 利 用 人 數	50人	20人
	休 業 日	ナシ	ナシ
	地 價	ナシ	ナシ
建 設	地 址	ナシ	10坪
	建 物	ナシ	ナシ
	備 品	2,500円	ナシ
経 済 計 画	費 算	ナシ	10円(修繕費)
	財 源	存 費	府 費
沿 革		主トシテ鮮人部落ニ之ヲ設ケタルニ鮮人女婦等ハ非常ニ歡喜シ又利用者多シ	大正11年度設立シ今日ニ及ベリ
備 考			

公 設 洗 濯 場 事 業

名 稱	溫鏡洞公設洗濯場	温泉園共同洗濯場	
所在地	全羅南道木浦府溫鏡洞	黃海道信川郡温泉面温泉里	
經營主體	木浦府	温泉面	
開設	大正11年11月25日	昭和3年4月1日	
主任	木浦府尹	面長 白明箕	
現 況	從 事 員	1人	
	時 間	制限ナシ	
	料 金	ナシ	
一 日 平 均	洗濯者數	10人	
	收 入	ナシ	
休 業 日	ナシ	ナシ	
經 費	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	10坪	20坪
	建 物	ナシ	1棟14坪
	備 品	ナシ	ナシ
濟 財	豫 算	10圓(修繕費)	273圓
	財 源	府 費	使用料收入ヲ以テ充テ
沿 革	大正11年度設立シ今日ニ及ベリ		
備 考			

公 設 洗 濯 場 事 業

名 稱		信川面共同洗濯場	載寧面共同洗濯場
所 在 地		黃海道信川郡信川面嶽署里	黃海道載寧郡載寧面碧山里一個所、同菊花里一個所、同林泉里二個所
經 營 主 體		信川面	載寧面
開 設		昭和4年4月1日	
主 任		信川面長 金聖淑	載寧面長
現 況	從 事 員	ナシ	ナシ
	時 間	制限ナシ	制限ナシ
	料 金	無料	ナシ
	一 日 平 均	使用 者 數 收 入	10人 ナシ
休 業 日		ナシ	ナシ
經 濟	基 金	ナシ	ナシ
	土 地	20坪	ナシ
	建 物	ナシ	ナシ
	備 品	ナシ	ナシ
豫 算		10円	100円(修繕費トシテ)
財 源		面 費	面 費
沿革		面ニ於テ始メテ設備シタルモノニシテ特記スベキ沿革ナシ	本共同洗濯場ハ昭和2年及昭和3年度ニ於テ地方費ヨリノ500圓宛ノ補助金ト面費トヲ以テ設備セルモノニシテ水不足ノ本地トシテハ有効ニ利用シツツアリ
備 考			

公 設 洗 濯 場 事 業

名 稱	兼二浦公設洗濯場	義州面公設洗濯場
所 在 地	黃海道黃州郡兼二浦面吉田町	平安北道義州郡義州面西部洞
經 營 主 體	兼二浦面	義州面
開 設	大正14年6月15日	大正12年10月10日
主 任		義州面長
現 況	從 事 員	ナシ
	時 間	午前4時ヨリ午後10時マデ
	料 金	無料
一 日 平 均	使 用 者 數	300人
	收 入	ナシ
	休 業 日	ナシ
經 濟	基 金	ナシ
	土 地	ナシ
	建 物	
備 考	備 品	洗板20個
	豫 算	ナシ
	財 源	ナシ
沿 革	兼二浦ハ井水少キ爲洗濯ニ困難スル状態ナルニ鑑ミ製鐵所ト協定シ同所用水ノ餘分ヲ以テ洗濯場ヲ設ケ市民一般ノ不便ヲ除去シツアリ	本面ハ河川遠クシテ亦溪流ナク面民ノ洗濯ハ附近ノ水洞ヲ利用スル状態ニシテ其ノ非衛的洗濯ハ看過シ難キヲ以テ大正12年ニ於テ設置シタルモノナリ
備 考		

公 設 洗 濯 場 事 業

名 稱	統籌面共同洗濯場	
所 在 地	慶尚南道 大和町 統籌郡統籌面 朝日町	
經 營 主 體	統籌面	
開 設	大正13年4月1日	
主 任	統籌面長	
現 況	從 事 員	
	時 間	
	料 金	
	一 日 平 均 使 用 者 數	
經 濟	收 入	
	休 業 日	
	基 金	
	土 地	
沿 革	建 物	
	備 品	
	豫 算	
	財 源	面 費
備 考	地形上常流ノ水流ナク洗濯ニ困難ヲ感ジタリシヲ以テ水道完成後引水栓ヲ利用シ設立スルコトナリ大正13年2月起工。同3月末竣工。4月1日ヨリ使用ヲ開始ス。總經費1,200圓中800圓ハ地方費補助。400圓ハ面費ヲ以テ充當セリ。	

公 益 質 屋

名 稱	群山公益委託質屋	全州公益委託質屋	
所 在 地	全羅北道群山府明治町通48番地	全羅北道全州郡全州面大正町3丁目	
經 營 主 體	茶野榮次郎	個人	
開 設	大正9年12月	大正9年10月15日	
主 任		李致仲	
現 況	從 事 員	3人	2名
	貸 付 資 金	12,000円	3,000円
	貸 付 金 額	1口20圓以内	1口制限金20圓ヲ最高限トシ1人1日貸付額無制限
	貸 付 期 間	4箇月間	4箇月
	貸 付 利 率	10圓迄月4歩20圓迄月3歩	10圓迄月4歩20圓迄月3歩
	貸 付 口 數	8,630口	536口
	貸 付 金 額	21,218円	2,000円
	受 戻 口 數	5,439口	179口
	受 戻 金 額	13,197円	600円餘
受 戻 利 息	1,773円	250円餘	
經 濟	資 金	12,000円	貸付資金3,000円以外ニ貸出ノ必要ヲ生ジタル場合ハ自己ノ出資ニ依ル
	土 地		17坪
	建 物		木造瓦葺キ屋建2棟、土藏1棟、總建坪32坪
	備 品	100円	金庫1箇、質物入証諸帳簿入戸棚各1個
	豫 算 財 源	個人負擔	上記資金欄記載通
治 革	道地方費臨時恩賜金4,000円ヲ無利子ニテ貸付經營セシム	前主李榮東地方費ヨリ金3,000圓ノ補助ヲ受ケテ之ヲ運轉資金トシテ本業ヲ經營シタリシガ種々支障ヲ生ジ遂ニ長期ノ成績ヲ齎サズシテ失敗ニ歸セリ大正14年5月30日前主ヨリ繼承シ今日ニ至ル	
備 考			

公 益 質 屋

名 稱	全羅南道指定質屋	
所 在 地	全羅南道光州郡光州面須奇屋町	
經 營 主 體	個人經營、但シ道地方費ニ於テ資金ヲ無利子ニテ融通	
開 設	大正12年3月	
主 任	洪承均	
現 況	從 事 員	1名
	貸 付 資 金	5,000円
	貸 付 金 額	1口10円迄
	貸 付 期 間	6箇月
	貸 付 利 率	5圓迄2分5厘、5圓以上20圓迄2分2厘5毛
	貸 付 口 數	504口
現 況	貸 付 金 額	5,394円57銭
	受 戻 口 數	4,126口
	受 戻 金 額	26,621円88銭
	受 入 利 息	2,967円17銭
經 濟	資 金	5,000円
	土 地	
	建 物	
	備 品	
經 濟	算 算	一定シタルモノナシ
	財 源	資金及利子
沿 革	大正12年3月ヨリ朱賀永之ヲ經營シ大正15年3月ヨリ洪承均之ヲ引受ケ今日ニ及ベリ	
備 考	受戻口數金額、利子ハ開設以來ノ累計ナリ	

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別		京 畿 道	忠 清 北 道
貸 付 機 關		面	面
代 表 者		面 長	面 長
貸 付 範 圍		勤農共済組合員	勤農共済組合員=限ル
貸 付 使 途		農耕副業其ノ他生業=必要ナル資金	農耕資金、副業資金、其ノ他ノ生業=必要ナル資金
貸 付 金 額		11,910 ^円	18,260 ^円
貸 付 保 證		連帯保證2人以上(内1人ハ組合外ノ者)	連帯保證2名以上(内1名ハ組合員外ノモノ)
貸 付 利 率		月1分	月1分
貸 付 期 間		1年以内	1年以内
辨 済 方 法		一時、月賦、特別ノ3種	一時、月賦、特別ノ3種類トス
勤 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法		部落單位=依リ1部落小農30戸内外ヲ以テ組織シ1組合1名宛ノ勤農輔導委員ヲ設ケ指導=任セシム	部落單位=依リ1部落小農30戸内外ヲ以テ組織シ組合員ノ共済互助ヲ旨トシ其ノ生業=必要ナル資金ヲ利用シ生活ノ安定ヲ圖リ勤農輔導員ヲシテ之ヲ指導ス
現 況	現 在 貸 付 數 面	23面	30面
	現 在 勤 農 共 済 組 合 數	25組合	30組合
	現 在 貸 付 口 數	65口	917口
	現 在 貸 付 金 額	10,274 ^円 70	18,260 ^円
	一 口 平 均 貸 付 金	15,81 ^円	20 ^円
沿 革		昭和3年5月政務總監通牒=基キ計畫實施ス	昭和3年5月政務總監通牒ノ方針=依リ昭和3年9月=先ツ30箇所ノ組合ヲ設置セシメ如上資金貸付ヲ實施セリ
備 考			本道内面數102箇所=對シ勤農共済組合設立豫定數408ニシテ昭和3年度ニ於テハ舉辦前段ノ初年度ナル故僅旨ノ徹底ニ適合員ノ指導亦視=主カラ注ビ北區組合ヲ設置セシメ止メリタルモ昭和4年度ヨリ同7年度迄毎年94箇所迄設立シテ豫定=達成スベク日下手續中ナリ

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別	忠 濟 南 道	全 羅 北 道	
貸 付 機 關	面	面	
代 表 者	面 長	面 長	
貸 付 範 圍	勤農共済組合員ニ限ル	面内ニ居住スル小農ニシテ勤農共済組合員タル者ニ貸付ス	
貸 付 使 途	農耕、副業其ノ他生業資金	農耕資金(農糧資金ヲ含ム)副業資金其他生業ニ必要ナル資金	
貸 付 金 額	51,750円	34,960円	
貸 付 保 證	連帯保證人2人以上	連帯保證人2人以上立テシム(1人ハ組合員外ヨリ選定セシム)	
貸 付 利 率	月1分	月1分トス	
貸 付 期 間	1年以内	1年以内トス	
辨 償 方 法	一時、月賦、特別ノ3種	一時辨済、月賦辨済、特別辨済ノ3種トス	
勤 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法	振興會ノ設立セラレアル部落ニシテ金融組合ニ加入スルコト能ハザル篤農家約30名ヲ以テ本組合ヲ組織ス	勤農共済組合ハ其ノ郡内ニ居住スル小農ニシテ金融組合ニ加入シテシムル者ニシテ特ニ面内ヨリ小農ヲ選定シテ貸付ヲ受ケル者ノミヲ以テ組織スルニシテ1組合員ハ大體30名ヲ標準トシテ組合員ノ數ハ指專事務員會ニ依リテ決定スルコトトシテ1組合員ハ勤農共済組合員ニシテ其ノ職務ヲ充ツルコトトシテ頭目ハ勤農共済員ニシテ之ヲ指導スル代ハ組合員中ヨリ定ムルモノトス	
現 況	現在貸付回数	47箇面	73面
	現在勤農組合數	136組合	75組合
	現在貸付口數	2,114口	1,776口
	現在貸付金額	36,916円	34,281円
	一口平均貸付金	17,466円	20円
沿 革	昭和3年總督府ノ通牒ニ基キ同年11月上記ノ通り設置セリ	現在朝鮮ノ小農生活改善ノ實情ニ鑑ミ之ヲ保護救済トシテ總督府ニ於テ新ターニ設ケラレタメノ制度ニシテ面内ニテ之ヲ實行セシメラルニシテ本道ニ於テモ本府ノ意ヲ體シテ小農生活資金ノ貸付ヲ爲シ以テ小農生活改善ノ目的達成ヲ期スルコトナレリ	
備 考			

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別		全 羅 南 道	慶 尙 北 道
貸 付 機 關		面	面
代 表 者		面 長	面 長
貸 付 範 圍		勤農共済組合員=限ル	小農ニシテ金融組合員ニラザル者
貸 付 使 途		副業資金(叭繩ノ原料及器具、養豚鶏、其他家庭工業等)農牛、種苗、肥料、農糧等ノ生業資金	農耕、農糧資金ニ貸付セルガ主トシテ糞、繩叭器、肥料、賭地、養蠶、養鶏、機業、繩叭原料購入費
貸 付 金 額		93,000円	93,600円
貸 付 保 證		2人以上連帯保證	2人以上連帯保證トス
貸 付 利 率		月1分	月1歩
貸 付 期 間		1箇年以内	1箇年間
辨 済 方 法		一時、月賦、特別ノ三種	一時辨済
勤 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法		部落ヲ單位トシ小農30戸内外ヲ以テ組織ス組合員ハ部落内居住者ニシテ小作農又ハ小作兼自作農ナルハ勿論勤勞ノ可能性アリ多額ノ蓄積ヲ有セザルモノナルヲ要ス	組合長1名、顧問1名、組合員30名ヲ以テ1組合ヲ組織ス尙輔導委員1名アリ専ラ組合員ノ指導ニ従事ス
現 況	現 在 貸 付 金 額	60箇面	42面
	現 在 勤 農 共 済 組 合 数	155組合	156組合
	現 在 貸 付 口 数	4,440口	4,357口
	現 在 貸 付 金 額	83,693,970	85,422円
	1-日平均貸付金	18,853	20円
沿 革		昭和3年8月小農ニ對スル小額生業資金貸付事業方針ニ基キ設立セリ	小農ノ生活安定ヲ圖ラシメムガ爲メ小額生業資金ヲ貸付クベク勤農共済組合設置ニ關シ昭和3年5月23日政務總監ノ通牒ニ基キ管内156箇部落ニ昭和3年8月7日より同9月22日迄ニ組合設置承認ヲ了ス
備 考			本表ハ昭和3年度ノ設立セル組合ヲ掲ケ昭和4年度ハ57面235組合ヲ設置承認セルモ未ダ貸付ヲナサズ

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別	慶 尚 南 道	黃 海 道	
貸 付 機 關	面	面	
代 表 者	面 長	面 長	
貸 付 範 圍	面内居住ノ小農ニシテ勤農共済組合員ニ限ル	勤勞共済組合員ニ限ル	
貸 付 使 途	農耕資金、副業資金、其ノ他生業ニ必要ナル資金	犢、細叭、豚、雞其他副業資金	
貸 付 金 額	39,840 ^円	116,476 ^円	
貸 付 保 證	2人以上ノ連帯保證ヲ要スルモノトス	無擔保トシ2人以上連帯保證	
貸 付 利 率	月1分	月1分	
貸 付 期 間	1箇年	1年以内	
辨 償 方 法	1. 一時辨済、2. 月賦辨済 3. 特別辨済	一時辨済、月賦辨済、特別辨済ノ3種	
勤 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法	部落ヲ單位トシ1部落小農30戸内外ヲ以テ之ヲ組織シ金融組合員外ノ着實勤勉ナル者ヲ選ビテ組合員トス	1面平均4組合1組合30人内外ニシテ金融組合員ニテラザル小作農又ハ自作兼小作農ヲ以テ組織ス	
現 況	現 在 貸 付 數 現 在 共 済 組 合	70面	43面
	現 在 貸 付 口 數	70組合	192組合
	現 在 貸 付 金 額	2,086口	3,899口
	一 口 平 均 貸 付 金	41,840 ^円	75,728 ^円 95
沿 革	昭和3年5月朝鮮總督府政務總監通牒ニ依リ朝鮮農村振興ノ基本タルベキ小農ノ生業輔導ヲ主眼トシテ其ノ生活向上ヲ期シムガ爲臨時農助金元本ヲ年5分5厘以下ニテ面ニ貸付シ其ニ面ヲシテ小額生業資金ノ貸付事業ヲ爲サシムルガ爲先ノ適應ノ部落ヲ選定シ組合ヲ設立シタルモノニシテ將來各面4箇所ノ組合設置ヲ期セムトス	本府ノ方針ニ則リ小農ノ生業輔導ヲ目的トシ昭和3年度ヨリ5箇年ヲ期シ全額ニ884組合ヲ組織シ28,520人ニ對シ510,400圓ヲ貸付スル計畫ヲ樹テ昭和3年度ヨリ面ヲシテ生業資金貸付事業ヲ實施セムルコトナレリ	
備 考			

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別		平 安 南 道	平 安 北 道
貸 付 機 關		面	面
代 表 者		面 長	面 長
貸 付 範 圍		面内ニ居住スル小農ニシテ (金融組合員ニ非ラザルコ ト) 勤農共済組合員タル者 ニ貸付ス	勤農共済組合員
貸 付 使 途		農耕資金(農糧資金ヲ含ム) 副業資金其ノ他生業ニ必要 ナル資金ニ限ル	牛、豚、肥料、農糧、農具、アン ペラ材料、製紙材料、機械機 械等ノ購入資金トス
貸 付 金 額		19,357円	135,740円
貸 付 保 證		連帯保證人2人以上ヲ立テ シム	連帯保證人、但し1人ハ組 合員、1人ハ組合員外トス
貸 付 利 率		月1分	月1分
貸 付 期 間		1年以内	1箇年以内
辨 償 方 法		一時償還	一時辨償
勤 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法		本組合ハ部落單位ニ依リ1 部落小農30戸内外ヲ以テ組 織シ知事ヨリ委嘱シタル勤 農輔導委員ヲ附置シ組合員 ノ指導ニ當ラシム	組合ハ部落ヲ單位トシ1部 落30人内外ヲ以テ1組合ヲ 組織ス。組合員ノ資格ハ年 收入200圓内外ノモノニシテ又 家族5人内外ノ専農者トス 尙組合ニハ組合長、輔導委 員各1名、總代若干人ヲ置ク
現 況	現 在 貸 付 数	27面	57面
	現 在 勤 農 組 合 数	33組合	227組合
	現 在 貸 付 口 数	845口	5,697口
	現 在 貸 付 金 額	18,584円	115,964円
	一 口 平 均 貸 付 金	21.99圓	20.36圓
沿 革	本道農業は約8割ヲ占ムル小 農127,000餘戸ノ中金融組合 員タル者ハ其ノ内ハ約1割 ノ115,000餘戸ニシテ其ノ 中クレジット借入シテ生活 ニ困ル者甚シク其ノ中ハ アルノ實況ニ依リ本年 ヨリ本事業ヲ行ハシムコ トトセリ	昭和3年5月23日附社第45 號政務總監ノ通牒ニ基キ同 年10月1日ヨリ第1年度 (昭和3年度)ニ實施スベキ 豫定面數57箇面ニ漸次實施 シタルモノナリ	
備 考		本表ハ實施第1年度(昭和 3年度)設立シタル分ナリ	

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別		江 原 道	威 鏡 兩 道
貸 付 機 關		面	面
代 表 者		面 長	面 長
貸 付 範 圍		勤農共済組合員ニ限ル	小農ニシテ金融組合員ニ非ザル者
貸 付 使 途		主トシテ贖購入、副業資金	肥料隊、穀用隊、農牛、養豚、養鶏、製炭、大麻加工機業
貸 付 金 額		98,520円	59,920円
貸 付 保 證		2人以上ノ保證人ヲ立テシム	連帯保證人2名
貸 付 利 率		月1分トス	月1分
貸 付 期 間		1年以内	1箇年以内
辨 償 方 法		一時弁償	一時、月賦、特別辨償ノ3方法
勤 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法		小農ノ生業輔導ヲ目的トシ勤勞精神アル小農30戸ヲ以テ1組合トシ、組合員ノ徳義心ヲ涵養スルト共ニ勤勞ノ美風ヲ作興セムトスモノナリ	部落從來ノ成績、指導上ノ便否、中心人物ノ有無等ヲ考慮シ1面4組合以内トシ1組合30名以内ヲ以テ組織シ組合長、總代ヲ設ケ郡ニ於テハ1組合1名ノ指導員ヲ設ケ
現 況	現 在 貸 付 面 數	47面	49面
	現 在 勤 農 共 済 組 合 數	165組合	100組合
	現 在 貸 付 口 數	4,325口	2,094口
	現 在 貸 付 金 額	88,814円	39,528円
	一 口 平 均 貸 付 金	21,023円	20円
沿 革	昭和3年5月23日社第45號政務總監ノ通牒ニ基キ組合設置部落及輔導委員ノ選定貸付金ノ使途及回收等ニ付考究ヲ重ネ10月ヲ以テ47面165組合ニ付認可送金等ノ手續ヲ完了セリ	從來小農ニ販リテ最モ必要ナル小口貸付金融通ノ途ナキタメ高利ノ貸付金ニ入一時期急ク貸付金ニシテ小農ニ對シテ低利貸付金ヲ貸付シ且ツ勤勞生業ヲ以テ指導シ生業ノ輔導ヲ行ハルニ至レリ	
備 考		本資金ハ元本公債償還金及公債買上ニ依リ得タルモノヲ以テ之ニ充ツ	

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別	感 饒 北 道	全 羅 南 道
貸 付 機 關	面	振興會
代 表 者	面 長	振興會長
貸 付 範 圍	小農ニシテ金融組合ニ加入セザル者ヲ以テ組織シタル勸農共済組合ニ限ル	會員中ノ小農者ニ限ル
貸 付 使 途	農耕、副業其他生業資金	副業資金、種苗資金、肥料資金、農機資金、畜産資金
貸 付 金 額	38,000 ^円	24,800 ^円
貸 付 保 證	連帯保證人2人以上	2人以上ノ連帯保證人ヲ設ケ無擔保
貸 付 利 率	月1分	月1分
貸 付 期 間	1箇年以内	1箇年以内
辨 償 方 法	一時、月賦、特別ノ3種	
勸 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法	面内ニ於ケル指導部落其ノ他適當ノ中心人物アル部落ヲ選定シ其ノ部落内ニ居住スル小作農又ハ自作兼小作農ニシテ金融組合員ニ非サル者ノ中30人内外ヲ選抜シテ組合員トス	一振興會ニ於テ貸付資金額200圓以上1,000圓迄ヲ準備スルコトトシ此ノ半額ヲ道地方費ガ無利子ニテ出資セシムル目的ニテ補助シテ而ニ於テ出資シ尙半額ハ地主ヨリ年1割ノ利子ニテ出資スルモノナリ
現 況	現在貸付面數	24面
	現在勸農共済組合數	64組合
	現在貸付口數	1,900口
	現在貸付金額	38,000 ^円
	一口平均貸付金	20 ^円
沿 革	昭和3年5月政務總監通牒ニ依リ勸農共済組合ノ設立ニ着手シ同年9月ヨリ12月迄ノ間ニ於テ之ガ設立ヲ了シ同年11月13日ヨリ各組合員ニ對スル貸付ヲ開始シタリ	昭和3年度ヨリ農村細農ノ救済ヲ目的トシテ設置シタルモノニシテ時ニ必要ヲ認ムル既設振興會ニ對シテ經營セシム
備 考	本道ニ於テハ本表以外之ニ類似ノ方法ニ依リ小額生業資金ノ貸出ヲ爲シタルモノナシ	生業資金ヲ貸付スルト共ニ一般地方改良、生活改善ヲ條件トシ積極的ニ指導ヲ爲スモノナリ

小 額 生 業 資 金 貸 付 事 業

道 別	慶尚北道	
貸 付 機 關	慶尚北道達城郡瑜伽面	
代 表 者	瑜伽面長	
貸 付 範 圍	小農者最高50 ^円 迄	
貸 付 使 途	肥料、犢、養豚、養蠶、養鶏、小作料前掛費=充ツ	
貸 付 金 額	2,400 ^円	
貸 付 保 證	2人以上ノ連帯保證	
貸 付 利 率	月1分	
貸 付 期 間	1箇年	
辨 償 方 法	一時辨済	
勤 農 共 済 組 合 ノ 組 織 方 法	1部落=組合員ハ30名ヲ定 目トシ組合長1人、勤農輔 導員1名ヲ置キ組合員生勤 上必要ナル資金ヲ貸付シ勤 儉力行ニ依リ漸次生活ノ安 定ヲ圖ラントスルナリ	
現 況	現 在 貸 付 面 数	1面
	現 在 勤 農 共 済 組 合 数	4箇所
	現 在 貸 付 口 数	80口
	現 在 貸 付 金 額	2,400 ^円
	一 口 平 均 貸 付 金	20 ^円
沿 革	昭和3年10月24日設立サレ 組合員ノ互助共済ニ努メツ ツアリ	
備 考		

公 設 住 宅

名 稱	財團法人保隣會	
場 所	京畿道京城府橋北洞4ノ1	
經 營 主 體	大正11年8月1日	
宗 教 別		
代 表 者	理事長 朴泳孝	
現 狀	戸 數	75戸
	様 式	朝鮮式
	敷 地 坪 數	1,116坪
	建 坪	540坪
	建 築 費	21,563円
	社 會 施 設	貧困者收容・職業紹介部、 人事相談救療 講習所、無 料宿泊所
	家 賃	甲種2,50錢 乙種2,00錢
	敷 金	ナシ
	貸 付 契 約 期 限	1箇年ニシテ期間到來スレ バ契約ヲ更新ス
	貸 付 開 始 日	大正11年8月1日
經 算	昭和4年度 2,880円	
財 源	財團法人ヨリ支辨	
沿 革	大正14年4月慈善事業家故 金周容氏ノ創意ニ依リ朴泳 孝・金宗漢・高允默・孫昌 源氏等 110餘人ノ發起トシ テ寄附金ヲ募集シテ官有地 ノ拂下ヲ得テ現在ノ建築ヲ ナシ事業ヲ繼續シ來レリ	
備 考	現在ノ施設以外ニ本會ノ事 業目的ヲ達スル爲メ住宅増 築及其他ノ計畫ヲセントス	

公 設 住 宅

名 稱	光熙住宅	公州面警住宅	
場 所	京畿道高陽郡漢芝面新堂里 236ノ2	公州郡公州面錦町	
經 營 主 體	京城府	公州面	
開 設		大正11年11月25日	
代 表 者・主 任	京城府尹	公州面長	
現 況	代 事 員	管理人10名	
	戸 数	80戸	20戸
	様 式	煉瓦建, 鉦丹葺, 温突付	平家建スレート葺
	敷 地 坪 数	1,000坪	1,531坪
	建 坪 数	572坪	275坪
	建 築 費	21,890円	30,600円
	社 會 施 設	ナシ	ナシ
	借 家 家 賃 人 負 担 敷 金	家賃50銭, 義務貯金50銭	13圓ヨリ20圓マデ
	貸 付 契 約 期 限	滿2箇年	ナシ
	貸 付 開 始 年 月 日	昭和2年12月27日	大正11年1月25日
經 費 算	約 400 (修理費トシテ)	776円	
濟 財 源	府 費	3,450円 (家賃收入)	
沿 革	京城府水卜町金禮錫氏, 網 民住宅ヲ供給シタキ目的ヲ 以テ煉瓦建80戸ヲ建築シ昭 和3年4月1日京城府ニ寄 附シタルニ付京城府ハ之ヲ 引受ケ同趣意ニ依リ經營管 理ヲ爲ス	大正11年ノ建設ニ係リ住宅 地トシテ適當ナルト電気水 道ノ設備完成セシ爲利用者 多シ	
備 考			

公 設 住 宅

名 稱	木浦府營住宅	大邱府公設住宅	
場 所	全羅南道木浦府仲町	慶尙北道大邱府 <small>東榮町 2箇所</small> <small>奉化町</small>	
開 設	大正13年3月25日	大邱府	
經 營 主 體	木浦府	大正11年3月31日	
代 表 者・主 任	木浦府尹	大邱府尹	
現 況	任 宅 地	大和町、仲町、柳町、霧町、北橋洞	
	戸 數	6戸	30戸
	様 式	木造瓦葺平家建	内地式平家建 1棟 24戸建 1棟 4戸建
	敷 住 坪 數	594坪	1,008坪
	建 坪 數	14坪 5合建 4戸 12坪 5合建 2戸	387坪
	建 築 費	7,600円	40,000円
	社 會 施 設		
經 濟 狀 況	借 家 人 負 擔	甲號 2月 17圓、乙號 2月 16圓、丙號 2月 13圓	甲號 1箇月 20圓 乙號 1箇月 17圓 16圓
	家 賃 敷 金	ナシ	
	貸 付 契 約 期 間	1箇年	
貸 付 開 始 年 月 日	大正13年3月25日		
經 濟 財 源	200円 修繕費其他維持費	府費1,868圓計上ノ4年度	
沿 革	府 費	家賃收入(建築起償債) 務=モ充當	
備 考	住宅拂底=作ヲ家賃ノ昂騰ヲ緩和スル爲大正13年府費ヲ以テ建設シタルモノニシテ下級生活者=貸付シツツアリ借受希望者常=多シ	大正10年來人口集注=作ヒ住宅拂底=鑑ミ中産階級ノ住宅緩和並家賃率制ヲ目的トシテ建設ス	
備 考			

公 設 住 宅

名 稱		釜山府營住宅	海州面營住宅	
場 所		慶尙南道 大新町、中島町、釜山府 草梁町	黃海道海州郡海州面上町 100番地	
經 營 主 體		釜山府	海州面	
開 設		大正14年4月	大正11年12月	
代 表 者・主 任		釜山府尹	海州面長	
現 況	住 宅 地	4,902坪	海州郡郷校財産ノ所有土地	
	戸 數	115戸	20戸	
	様 式	木造瓦葺平家建	日本式建物	
	敷 地 坪 數	3,453坪	1,296坪	
	建 坪 數	1,324坪	247坪	
	建 築 費	106,438円	23,250円	
	社 會 施 設	ナシ	ナシ	
現 況	借 家 人 負 擔	家 賃	1ヶ月 1,748円	甲 1箇月 18円 乙 1箇月 12円
		敷 金	ナシ	ナシ
	貸付契約期間	1箇年	一定セズ	
	貸付開始年月日		大正11年12月	
經 算	豫 算	4,697円	3,026円	
濟 財	源	住宅收入ヲ以テシ不足スル場合ハ一般歳入ヨリ補充ス	住宅使用料	
沿 革		人口増加ノ結果ニ加フルニ土地資本集積ノ結果中産階級以下ハ實質ニ賚ズルコトヲ得ズ而モ亦貸貸條件ニ於テ分度ニ添ハサルモノアルヲ以テ社會政策上又社會防貧救濟ノ目的ヲ以テ大正14年3月建設セラレタルモノナリ	住宅拂底ノ緩和策トシテ大正11年12月開設シタルモノナリ	
備 考				

公 設 住 宅

名 稱		新義州府營住宅	清津府營公設住宅	
所 在 地		平安北道新義州府雲井町15番地	咸鏡北道 巴町, 壽町, 常盤町 清津府 北基町, 新岩洞	
經 營 主 體		新義州府	清津府	
開 設		昭和3年7月30日	大正12年4月	
代 表 者・主 任		新義州府尹	清津府尹	
現 況	住 宅 地		府有地	
	戸 數		70戸	
	樣 式		木造平屋建トタン葺	
	敷 地 坪 數			
	建 坪 數			
	建 築 費		70,000円	
	社 會 施 設			
	借 家 人 負 擔	家 賃	第一種5戸25圓宛, 第二種12戸17圓宛, 第三種4戸15圓宛, 第四種20戸17圓宛, 第五種36戸, 10圓宛	25圓, 20圓, 16圓 / 6種 10圓, 8圓, 4圓
		敷 金	1箇月前納	
	貸付契約期間		三箇年以内	1箇年
貸付開始年月		昭和3年7月30日	大正12年4月	
經 濟	豫 算	2,747円	1,780円	
	財 源	使用料	1箇年借家料 8,921円	
沿 革		大正12年近距離移轉ノ當時ニ住宅ノ不足ヲ來シタルヲ以テ之ガ緩和ノ爲當地藤原雅一外2名共同出資ノ下ニ建築シ同氏ノ經營ニアリシモノヲ昭和3年7月30日當府ニ於テ府營住宅トシテ買收セルモノナリ		
備 考		社會施設トシテ本昭和年度ノ豫算ヲ以テ本住宅敷地内ニ湯屋ヲ建築スル豫定ナリ		

窮民救助事業

稱		行旅病人收容所	清州博仁會	
所 在		京畿道京城府元町1丁目12番地	忠清北道清州郡清州面	
經 營 主 體		京城佛教慈濟院	清州博仁會	
開 設		大正6年4月	大正8年7月	
宗 教 別		佛教		
代 表 者・主 任		津田 賢	立野新五郎	
現 狀	從 事 員	8名	1人	
	現 在 收 容 定 員	30名	12人	
	現 在 收 容 人 員	院 内	25名	3人
		院 外	ナシ	
	種 別 人 員	計	25名	3人
		困窮者	24名	3人
		棄 兒	1名	
		遺 兒	ナシ	
		迷 兒	ナシ	
		計	25名	3人
經 濟	基 金	ナシ	2,400円	
	土 地	3,035坪	1,005坪	
	建 物	181坪 平家瓦葺	17坪	
	備 品	2,000円		
豫 算	16,737円	1,050円		
財 源	官廳補助金、經營者募出金	基本金收入、國庫地方費補助		
沿 革	往年京城南山本願寺ガソノ境内ニ行旅病人收容所ヲ設ケタルヲ大正6年3月京城佛教聯合會ガ慈濟會ヲ組織シ收容所ヲ今ノ位置ニ移シテ今日ニ至レリ			
備 考	收容人日開設以來延約13萬人ニ達ス			

窮民救助事業

名 稱	光州佛教慈光會		大邱府行旅病人救護所		
所 在 地	全羅南道光州郡光州面瑞南里		慶尙北道達城郡達西面内塘制		
經 營 主 體	光州佛教各宗教協會		大邱府		
開 設	昭和2年12月20日		大正6年3月1日		
宗 教 別	曹洞教、眞言宗、日蓮宗、眞宗				
代 表 者・主 任	有田盛興		大邱府尹		
現 況	從 事 員	1人	府醫1人 事務員1人 看護人1人		
	收 容 定 員		45人		
	現 在	院 内	7名	30人	
		院 外			
	收 容 人 員	計	7名	30人	
		種 別 人 員	困窮者	4名	30人
			棄 兒	2名	
			遺 兒	1名	
			迷 兒		
			計	7名	30人
經 濟	基 金	320円			
	土 地	ナシ	1,333坪 所有地		
	建 物	2棟 (24坪5合)	3,000円		
	備 品	什器其他26點	600円		
	豫 算	2,529円	6,620円		
	財 源	辨償金、寄附金、國庫、地方費、面費補助	國庫補助、一般府費		
造 革	昭和2年12月行旅病者及之ニ準ズベキモノヲ救助スル目的ノ下ニ有志ノ協議ニ依リ本會ヲ設立ス	大正6年3月1日創立シテ今日ニ至レリ			
備 考	行旅病人及浮浪者ヲ收容專ラ救護事業ヲ使命トス				

窮民救助事業

名	稱	釜山府行旅病人救護所	平壤佛教廣濟會	
所在地		廣南道釜山府大新町1015番地	平安南道平壤府南町5番地	
經營主體		釜山府	平壤佛教廣濟會	
開設		大正15年4月1日	大正6年11月1日	
宗教別		ナシ	佛教	
代表者・主任		所長 中村茂	竹林實登	
現況	従事員	所長1名・役員2名・書記兼作員看護婦若干名(書記1名・他ノ兼務員トス)	2人	
	收容定員	17名	15人	
	現在	院内	7名	9人
		院外	2名	4人
	收容人員	計	9名	13人
		困窮者	8名	ナシ
		行旅病人		9名
		棄兒	1名	2人
		遺兒	ナシ	2人
		迷兒	ナシ	ナシ
	計	9人	13人	
經費	基金	ナシ	4,399円53銭	
	土地	382坪6合	ナシ	
	建物	事務所12坪、炊事場廊下便所3坪5合、病室31坪7合5勺、物置6坪	木造瓦葺平屋建1棟 煉瓦造平屋建1棟	
	備品	藥品戸棚外74點 購入價格622円15銭	寢具其他	
濟	豫算	昭和4年度救護所費2,883円 患者費 3,300円	3,836円	
	財源	國費補助、辦償金等	各官廳ノ補助金、會員ノ募出金等	
沿革		當府内ニハ救護所ノ設ケナカリシ爲從來府立病院ニ依託入院セシメ來リタルモ大正14年度ニ於テ本府ヨリ1500圓ノ補助ヲ受ケ總額3500圓ヲ以テ新設シ今日ニ至ル	本事業ハ從來府ニ於テ經營シ來リシモ大正6年11月本會ニ移シタルモノナリ	
備考				

窮民救助事業

	名 稱	鎮南浦府行旅病人救護所	平壤救活院		
	所在地	鎮南浦府明峽町33	平壤府上需里210番地		
	經營主體	鎮南浦府	平壤在住米國宣教師會 長老監理派教徒ノ合同經營		
	開設	大正6年11月1日	大正元年11月20日		
	宗教別	ナシ	キリスト教		
	代表者・主任	鎮南浦府尹	孫昌煥		
現況	從事員	1人	1人		
		收容定員	12人	30人	
	現在	院 內	1人	30人	
		院 外	ナシ	ナシ	
		計	1人	30人	
	收容人員	種別人員	困窮者	ナシ	30人
			行旅病人	1人	ナシ
			棄兒	ナシ	ナシ
			遺兒	ナシ	ナシ
			迷兒	1人	ナシ
	計	1人	30人		
經濟	基金	420 ^円 59	ナシ		
	土地	尙 544坪	ナシ		
	建物	平屋1棟	石葺平屋建1棟		
	備品	蒲團毛布其ノ他	寢具其他		
	豫算	426 ^円	600 ^円		
	財源	國費及府費ノ補助金	平壤在住米國宣教師會管内 各教會ノ出資及一般ノ寄附		
沿革		大正6年11月行旅病人ノ救護取扱ノ目的ヲ以テ設立シタルモノナリ	米國宣教師クローフ文約翰及 ファイリツボフ經テ大正9年 ヨリアンダーソン其ノ經營ノ任ニ當リ今日ニ至レリ		
備考		ナシ	代表者ハアンダーソンナルモ 實際ノ管理者ハ孫昌煥ナリ		

窮民救助事業

名 稱		春川行旅病人救護所	鐵原行旅病人救護所	
所 在 地		江原道春川郡春川面住淵里	江原道鐵原郡鐵原面官田里	
經 營 主 體		春川郡春川面	鐵原郡鐵原面	
開 設		大正11年9月30日	昭和2年8月23日	
宗 教 別		ナシ	同	
代 表 者・主 任		面 長	同	
現 況	從 事 員	1人	同	
	收 容 定 員	6人		
	現 在	院 內		
		院 外		
		計		
	收 容 人 員	種 別 人 員	困窮者	3人
			棄 兒	
			遺 兒	
			迷 兒	
		計	3人	
經 濟	基 金	100円	100円	
	土 地	ナシ		
	建 物	木造瓦葺12坪4合4勺	木造草葺10坪5合	
	備 品	机1, 風爐1, 食器30	食器20	
	豫 算 財 源	346円00	100円	
沿 革				
備 考		設置以來取扱件數88人		

窮民救助事業

名 稱	行旅病人救護所	朝鮮水難救濟會			
所在地	元山府立病院構内	元山府北村洞			
經營主體	元山府	會員組織			
開設		大正10年4月			
宗教別					
代表者・主任	元山府尹	會長 尹相弼			
現況	從事員	看護人1人	朝鮮沿海ニ於ケル人命財産ノ遭難ヲ救助スルヲ以テ目的トシ一朝有事ノ際救護ニ任ズ		
	收容定員	5人			
	現在	院 内			
		院 外			
	收容人員	計			
		種別人員		困窮者	
				棄 兒	
				遺 兒	
				迷 兒	
	計				
經濟	基 金		ナシ		
	土 地	府有地	ナシ		
	建 物	1棟	ナシ		
	備 品	寢具類	事務用机其他		
	豫 算	541円	2,240円		
	財 源	一般府費及國庫補助	會員募出及寄附		
沿革		大正10年船人共濟組合設立 同14年11月朝鮮水難救濟會ト改メ今日ニ至ル			
備考		會長尹相弼氏設立以來私財ヲ投ジ之ガ財成ニ努メ今日ニ至ルモ財政困難ノ狀況ナリ			

窮民救助事業

名 稱		清津行旅病人救護所	羅南行旅病人救護所	
所在地		清津府橋立町15番地	咸北鏡城郡羅南面初瀨町	
經營主體		個人經營	羅南佛教會	
開設		大正7年9月15日	大正13年12月12日	
宗教別			(眞言・淨土・曹洞・日蓮・眞宗)	
代表者・主任		一番ヶ瀬健太郎	佛教會員5名1箇年交代ニテ之ヲ管理ス	
現況	從事員	醫師1名 事務員1名 看護人1名	管理主人1 常任看護人1	
	收容定員	6名	10名	
	現在	院 内	2名	1名
		院 外		1名
		計	2名	2名
	收容人員	種別人員	困窮者	2名
			棄 兒	
			遺 兒	
			迷 兒	
			計	2名
經濟	基 金		250円	
	土 地		100坪	
	建 物	木造平家建 トタン葺	2棟 24坪	
	備 品	食器・夜具	寝具10 食器10 消毒器1	
	豫 算	600円	788円50	
	財 源	補助及經營者出資	總督府・道・面ノ補助金並ニ本所維持會員・特志家ノ寄附ニ因ル	
沿革	經營者ハ行旅病人救護所ノ設置ナキヲ憂ヒ設備費トシテ總督府ヨリ500圓ノ補助ヲ受ケ大正7年9月建設シ大正15年9月現在地ニ移轉シタリ	大正13年12月12日開設同15年敷地 100坪購入シ經營中昭和2年ニ於テ更ニ6坪増築今日ニ至ル		
備考				

窮民救助事業

名 稱	財團法人善隣會		新 生 院	
所 在 地	京畿道利川郡栢沙面玄方里		清津府橋立町15番地	
經 營 主 體	財團法人善隣會		個人經營	
開 設	昭和2年6月16日		大正15年9月13日	
宗 教 別	ナシ			
代 表 者・主 任	會長 沈圭澤		一番ヶ淑健太郎	
現 況	從 事 員	22人	醫師1名 事務員看護人1名	
	收 容 定 員	380人	6名	
現 在 收 容 人 員	院 內		6名	
		院 外		
		計	6名	
	種 別 人 員	困窮者	昭和3年度被救者 372人	
		棄 兒		
		遺 兒		
		迷 兒		
計	372人			
經 濟	基 金	20,593 ^円		
	土 地	15,504 ^円		
	建 物	ナシ		
	備 品	ナシ		
	豫 算 財 源	4,534 ^円 寄附行爲	400 ^円 經營者出資	
沿 革				
備 考				

窮民救助事業

	名 稱	仁川佛教慈田院	大田佛教慈濟會	
	經 營 主 體	仁川佛教各宗派聯合	大田佛教慈濟會	
	開 設	大正7年4月1日	大正7年1月29日	
	宗 教 別	各宗派聯合	佛教(各派) ⁵ 宗 ⁶ 派	
	代 表 者・主 任	理事 黒田恵海	平山義人	
現 況	所 在 地	仁川府外里161番地	忠清南道大田郡外南面新登甲	
	從 事 員	1名	1人	
	收 容 定 員	20名	5人	
	現 在 收 容 人 員	院 内	3名	2人
		院 外	無	ナシ
	種 別 人 員	計	3名	2人
		困窮者	3名	2人
		棄 兒	無	ナシ
		遺 兒	無	ナシ
		迷 兒	無	ナシ
	計	3名	2人	
經 濟	基 金	7,650円	704円	
	土 地	他人所有土地ヲ借用ス	275坪	
	建 物	1,140円	木造1家32坪 木造温突5坪半	
	備 品	250円	事務用並施設療用備品一式	
	豫 算	3,254円	1,458円	
	財 源	經營者支出金篤志者寄附金 縣地方費府補助金雜收入	補助金及托鉢收入	
沿 革		開設當時ハ行旅病人ノ講習ノ收容場 所ナカリシヲ以テ各宗派聯合ヲ以テ 之ヲ開設シ又國地方は廢ヨリ モ相當ノ補助金ヲ支出シ且本事業 ヲ開始シタルモノニシテ開設以來實 ニ延11,200餘人ヲ收容セリ	大田ニ於ケル佛教各宗派合 同ノ事業ニシテ各派主任一 年交代ニテ理事ニ就任シ事 業ヲ管理ス	
備 考			將來ハ精神病人ヲモ收容ス ル豫定ナリ	

窮民救助事業

名 稱		群山府行旅病人救護所	全州面行旅病人收容所	
經 營 主 體		群山府	全州面	
開 設		明治40年	昭和2年9月28日	
宗 教 別				
代 表 者・主 任			全州面長 守山五百尾	
現 況	所 在 地	全羅北道沃溝郡米面屯栗里	全羅北道全州郡伊東面老松里	
	從 事 員	1人	3名	
	收 容 定 員	6人	20名	
	現 在 收 容 人 員	院 內	1人	5名
		院 外		
	種 別 人 員	計	1人	5名
		困窮者	1人	5名
		棄 兒		
		遺 兒		
		迷 兒		
計	1人	5名		
經 濟	基 金		200円	
	土 地		44坪	
	建 物	4坪 300円	105坪木造トタン葺平家1棟 外附屬家2棟	
	備 品	20円	机・椅子・諸箱類	
	豫 算	485円	525円	
財 源	府 費	面 費		
沿 革	居留民團ヨリ引繼ギ經營ス	本事業ハ元々全州監獄官一於テ經營中 ノトコロ昭和2年1月1日 本面ニ遷承 セリ從來ノ收容所ハ市街内ニ在リテ 公衆衛生致難視上運ニシテ且總數 狹小ナリシ爲昭和3年5月20日 總數23 85坪ヲ校ニ市外現地ニ新築スルニ至 リ昭和4年2月11日 紀元節ノ存貯ニ當 リ本事業變動ノ思召ヲ以テ地下喝企 メ爲リタリ		
備 考				

救 療 事 業

名 稱	セブランス病院施療部	京畿道立水原醫院	
場 所	京城南大門通5丁目25	京畿道水原	
經 營 主 體	オー、アル、エビソン	道地方費	
開 設	明治17年10月	明治43年9月5日	
宗 教 別	南北長老教、南北監理教加 奈陀長老教、濠洲長老教	ナシ	
代 表 者・主 任	デー、ビー、エビソン	嶺 峻	
現 況	従 事 員	醫師26、藥劑師5、看護婦 及救護員30	醫官3、醫員3、書記1、 藥劑手1、看護婦14
	收 容 定 員	65名	59名
	現 在 收 容 人 員	65名	
	治 療 科 目	内、外、耳鼻咽喉、婦人、皮 膚、泌尿、小兒、齒科等9科	内科、小兒科、外科、皮膚科 泌尿科、眼科、耳鼻科、産婦 人科、齒科
	外 來 受 付 時 間	午後2時ヨリ同3時30分迄	
	料 金	ナシ	
入 院 手 續	特別ナ手續ナク醫師ノ診断 ニ依リ入院ス		
豫 算	60,000円	35,378円	
財 源	本病院有料部諸收入及各教 派及設立者セブランス氏ノ 寄附ヲ持ツテ維持ス	醫院收入、資金收入、國庫 補助、地方費	
沿 革	當院ハソノ部立古クシテ一般醫權ニ 關シテ波細民中醫院ノ術ヲ爲メニ 生活上ノ貧乏ヲ救フ爲メニ設立セ ルガ爲メニ專科施設ノ事業ヲ附設シ 一般民衆ノ醫權ニ從事スル共ニ窮民 ノ施療成行ヲ行フ	始メ道慈惠醫院(官立)トシ テ開設シ大正14年度道地方 費ニ移管セラレ道立醫院ト ナル	
備 考			

救 療 事 業

名 稱		京畿道立開城醫院	府立仁川病院
所 在 地		京畿道開城	仁川府山手町2丁目12番地
經 營 主 體		道地方費	仁川府
開 設		大正14年4月1日	大正5年9月1日
宗 教 別			
院 長		野川 弘	醫學博士 岩井勝三郎
現 況	從 事 員	醫官3, 醫士12, 書記1, 藥劑手1, 看護婦14	主任醫5名, 看護婦7名
	收 容 定 員	34名	
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	内科, 小兒科, 産婦人科, 外科, 皮膚科, 耳鼻咽喉科 齒科	各科
	外 來 受 付 時 間		自午前8時至午後4時 (急病者ハ此ノ限ニ非ズ)
	料 金		無料
	入 院 手 續		府ヨリ交渉ス
費 算		43,080円	別ニ豫算ヲ樹テズ
財 源		醫院收入, 資金收入, 國庫 補助, 地方費	仁川府施療費交付金及一般 病院收入
治 革		開設當時ヨリ道立醫院トス	大正11年以降救助施療患者 實數1,882名ニ達ス
備 考			施療ハ殆ント外來患者ノミ ナリ 昭和3年中ノ外來延患者數 7,838名(實數282名)

救 療 事 業

名 稱	道立清州醫院	蕨民衆院	
所在地	忠清北道清州郡清州面西町	忠清北道清州郡清州面錦町	
經營主體	忠清北道地方費	長老教宣教會	
開設	大正14年	大正11年11月7日	
宗 教 別		長老教	
院 長	吉田準一郎	芮德塔	
現	從 事 員	9人	4人
	收 容 定 員	病室35	10人
	現在收容人員	20名	
診 療 科 目	全科目	全科	
況	外來受付時間	官廳執務時間=準ズ	自午前9時至午後3時
	料 金		無料
	入 院 手 續	保證金及保證人ヲ要ス	ナシ
數 算	歳出 58,786円	歳入 3,386円 歳出 4,939円	
財 源		長老教宣教會ノ補助、特志家ノ寄附金	
沿 革	明治44年朝鮮總督府設立ニ係リ大正14年道ニ移管セルモノナリ	慈善事業機關トシテ大正11年11月7日設立	
備 考	此ノ外ニ道地方費2,368圓ヲ以テ醫療機關ニシテ地方巡回診療ヲナセリ從事員ハ衛生技師1、同技手1、地方衛生技手1、計3ナリ		

救 療 事 業

名 稱	愛人病院	忠清南道立公州醫院施療部	
所 在 地	忠清北道鎮川郡鎮川面邑内里	忠清南道公州郡公州面本町	
經 營 主 體	聖公會	道地方費	
開 設	明治42年	明治43年9月	
宗 教 別	聖公會	ナシ	
院 長	盧仁山	石津義忠	
現 況	從 事 員	6人	4名
	收 容 定 員	100人	15名
	現 在 收 容 人 員		1名
	診 療 科 目	全科	内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、産婦人科、齒科
	外 來 受 付 時 間	自午前8時30分至午後4時	自午前9時至正午
料 金	無料	診察券5錢瓶代其他無料	
	入 院 手 續	ナシ	貧困證明書持参、入院中身上保證人ヲ要ス
豫 算	歳入 3,659円 歳出 3,432円	2,134円	
財 源	聖公會ヨリ配當金	道地方費	
沿 革	慈善事業機關トシテ 明治42年9月設立	明治43年9月道慈惠醫院トシテ開院シ大正14年道地方費ノ經營ニ移レリ	
備 考			

救 療 事 業

名 稱	全羅北道立群山醫院	全羅北道立全州醫院	
所 在 地	全羅北道群山市	全羅北道全州郡	
經 營 主 體	道地方費	道地方費	
開 設	大正11年2月15日	明治42年12月10日	
宗 教 別			
院 長	有馬長次郎	岩野正男	
現 況	從 事 員	醫官4. 醫員3. 書記2. 藥劑手1. 看護婦23	醫官4. 醫員3. 書記2. 藥劑手1. 看護婦32
	收 容 定 員	63名	76名
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	内科. 外科. 小兒科. 皮膚科. 眼科. 産婦人科. 耳鼻喉科. 齒科	内科. 外科. 眼科. 耳鼻喉科. 産婦人科. 小兒科. 齒科
	外 來 受 付 時 間		
料 金			
入 院 手 續			
課 算	95,451円	80,905円	
財 源			
沿 革	始メ道慈惠醫院(官立)トシテ開設シ大正14年度ヨリ道地方費ニ移管セラレ道立醫院トナル	明治44年朝鮮總督府ノ設立ニ係リ大正14年道ニ移管セルモノナリ	
備 考			

救 療 事 業

名 稱	全羅北道立南原醫院	全羅南道順天醫院	
所在地	全羅北道南原郡	全羅南道順天郡	
經營主體	道地方費	道地方費	
開設	大正11年2月15日	大正11年2月15日	
宗教別			
院長	守部廉次郎	淺野 正	
現 況	從 事 員	醫官2. 醫員1. 書記1. 藥劑手1. 看護人7	醫官3. 醫員2. 書記1. 藥劑手1. 看護人12
	收容定員	28名	29名
	現在收容人員		
	診 療 科 目	内科. 外科. 小兒科. 産婦人科. 眼科. 耳鼻咽喉科.	内科. 外科. 眼科. 産婦人科. 小兒科. 皮膚. 耳鼻咽喉科
	外來受付時間		
	料 金		
	入 院 手 續		
豫 算	28,272 ^円	51,569 ^円	
財 源			
沿 革	始メ全州醫院出張所トシテ開設シ大正14年4月1日道地方費ニ移管シ道立醫院トナル	始メ道慈惠醫院(官立)トシテ開設シ大正14年度ヨリ道地方費ニ移管セラレ道立醫院トナル	
備 考			

救 療 事 業

名 稱		全羅南道立濟州病院	全羅南道小處島慈惠醫院
所 在 地		全羅南道濟州	全羅南道高興郡錦山面小鹿島
經 營 主 體		道地方費	官立
開 設		大正元年10月	大正5年2月
宗 教 別			
院 長		千葉元枝	花井善吉
現 況	從 事 員	醫官2. 醫員4. 書記1. 藥劑手1. 看護人7	醫官1. 醫員4. 書記2. 藥劑手2. 看護人33
	收 容 定 員	16名	450名
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	内科. 外科	癩病患者收容
	外 來 受 付 時 間		
料 金			
	入 院 手 續		
豫 算		46,470円	176,252円
財 源			國 費
沿 革		始メ道慈惠醫院(官立)トシテ開設シ大正14年度ヨリ道地方費ニ移管セラレ道立醫院トナル	大正5年2月慈惠醫院トシテ設置シ今日ニ至ル
備 考			

救 療 事 業

名 稱	全羅南道立光州醫院	光州廣衆院	
所 在 地	全羅南道光州郡光州面瑞南里	全羅南道光州郡光州面楊林里	
經 營 主 體	全羅南道	米國南長老派宣教會	
開 設	明治43年9月26日	明治39年6月	
宗 教 別		耶蘇教	
院 長	醫學博士 平瀬亨三	崔泳旭	
現 況	従 事 員	7名	19人
	收 容 定 員	8名	20人(昭和4年6月1日現在)
	現 在 收 容 人 員	2名	10人
	診 療 科 目	内科、外科、眼科、産婦人科、小兒科、耳鼻咽喉科	内、外科、眼科、小兒科、婦人科、耳鼻咽喉科
	外 來 受 付 時 間	一般開門ヨリ正午時迄 但シ急患ハ此ノ限ニ非ラズ	午前9時ヨリ午後4時迄
	料 金	外來患者ハ藥容器代回費費ヲ徴收ス入院患者ハ全部無料	普通診察料金50錢以上、特別診察料2圓以上
	入 院 手 續	面診、警察署長ノ證明アルモノニシテ院長ニ於テ適當ト認メタル者、又ハ院長ニ於テ適當ト認メタル朝鮮人ヲ會見引合ハシテ入院セシム	朝鮮人ニシテ貧困自給ノ途立タザル者ニシテ入院セザレバ治療不能ト認メタル者ニ限リ入院セシム
	費 算	4,500円	25,000円
財 源	道地地方費	宣教會ヨリ年々4,000圓ノ補助ヲ受ケ其ノ他ハ病院ノ收入ヲ以テ補充ス	
沿革	明治41年9月26日元觀察遺才院址(現在本道郡上ノ嶽)跡ニ應念經理ヲナシ平瀬亨三ノ外ニ中道ヲ離ルニ由リ兼テ以テ慈惠醫院ノ名稱ニシテ貧民ノ救護ノ目的ヲ以テ創設セラレタルニシテ其後慈善ノ取遣ヲ開始スルニ由リ漸次其ノ擴張アルヲ觀テ大正2年11月現在ノ地ニ15,000餘坪ヲ買入醫院ヲ建築スルト共ニ道路ヲ修繕ス本道第一等ニ施設部ヲ置キ且病者ノ1部ニ病室ヲ指定シ患者ノ治療ニ從事シタルガ大正14年4月1日築ノ經費ヲ道ニ移付セラレタルモ道立醫院ト改稱セラレタルモ數種ハ從來ト異ルコトナク之ガ取遣ヲ爲セリ	米國南長老派宣教會ニ於テ設立シ今日ニ至リ	
備 考			

救 療 事 業

名 稱	安力山病院	ビツウイルブ癩病院	
所在地	全羅南道順天郡順天面梅谷里	全羅南道麗水郡栗村面新豊里	
經營主體	米國耶蘇教南長老教派ミッション會	大英癩病患者救濟會	
開設	西曆1914年3月	大正15年11月18日	
宗教別	耶蘇教南長老教	基督教長老派	
院長	ウイルソン	R.M. Wilson(ウイルソン)	
現 況	從 事 員	38人	4人
	收 容 定 員	45人	800人
	現在收容人員	43人	795人
	診 療 科 目	内科、外科、小兒科、産婦人科、眼科、皮膚花柳科、耳鼻咽喉科	癩病
外來受付時間	午前9時ヨリ午後4時迄	ナシ	
料 金	1等4圓50錢、2等3圓、3等1圓50錢、4等1圓	ナシ	
入 院 手 續	入院ノ際ハ現金1週間分ヲ先納スルヲ要ス	患者アルトキハ本人居住地ノ警察署ヘ患者ノ身元調査ヲ依頼シ之ニ依リ無料患者有料患者、補助者、一時金入院患者ノ4種ニ區分シ入院可決ヲ定ム	
費 算	20,000円	103,000円	
財 源	ミッション會補助及治療費收入	癩病救濟金補助、總督府補助、入院料、同情金	
沿革	本部ニ醫癩癩癩ナキヲ一般民困窮ヲ救スル爲メ國人安力山ガ本病院ヲ設立シ大正11年12月3日通知書ノ認可ヲ得テ本館200坪ヲ建築シ尙其外癩癩癩癩及看護婦宿舎ヲ増築ス總經費約10,000圓ニシテ3,700圓ハミッション會ガ負擔シ其餘ハ安力山ガ投資セリ	明治42年11月1日光州ニ於テ郡監長ウイルソンヨリ自宅附近ノ一室居ニ費癩癩癩者數名ニ收容シ施療シタル費明治44年俄ニ患者激增シ治療所癩癩癩癩ノ止者救濟會ニ交渉シタル結果同會ニ於テ癩癩癩癩ニ來シタル光州癩癩癩癩ニ治療所ヲ建築シ4百名ノ患者ヲ收容シ來タルモ此形其ノ他ノ關係ニ依リ大正14年11月前記癩癩癩癩ニ移轉シ今ニ至レリ	
備 考	院長及看護員長ノ給料ハミッション會ヨリ支給ス		

救 療 事 業

名 稱		慶尙北道立大邱醫院	慶尙北道立安東醫院
所 在 地		慶尙北道大邱	慶尙南道安東
經 營 主 體			
開 設		明治43年9月7日	大正元年10月
宗 教 別			
院 長		上村直親	永井茂
現 況	從 事 員	醫官9. 教官1. 事務官1 藥劑官7. 醫員7. 書記3 藥劑手2. 看護婦長1. 看護婦35	醫官3. 醫員2. 書記1. 藥劑手1. 看護婦11
	收 容 定 員	217名	24名
	現在收容人員		
	診 療 科 目	內科. 外科. 眼科. 產婦人科. 小兒科. 耳鼻咽喉科. 皮膚科. 泌尿科. 齒科	內科. 外科. 小兒科. 皮膚科. 泌尿科. 產婦人科. 齒科
	外來受付時間		
	料 金		
	入 院 手 續		
豫 算		227,882 ^円	40,813 ^円
財 源			
活 革		水原 = 同シ 但シ昭和元年度 = 於テ移轉 改築ス	水原 = 同シ
備 考			

救 療 事 業

名 稱	慶尙北道立金泉醫院	東山病院救療部	
所 在 地	慶尙北道金泉	慶尙北道大邱府南山町1番地	
經 營 主 體		米國長老教會	
開 設	大正12年1月1日	大正2年3月1日	
宗 教 別		北長老派	
院 長	輕部久喜	鷲高淑 A.G. Fletcher エ.チ.フレツチャー	
現 況	從 事 員	醫官2、醫員2、書記1、 藥劑手1、看護婦8	5人
	收 容 定 員	16人	15人
	現在收容人員		11人
	診 療 科 目	内科、外科	内外科
	外來受付時間		午前8時30分ヨリ午後4時 30分マデ
	料 金		無料
	入 院 手 續		施料部傳道師ヨリ極貧者ト 認メル時ニ入院ヲ許ス
豫 算	37,855円	昭和4年度豫算額 8,939圓 也	
財 源		本院ノ補助金及有志ノ寄附 金ヲ以テ經營ス	
沿 革	最初ヨリ道立醫院トシテ設 置セラル	明治37年米國長老教會ヨリチヨ ンソン氏ヲ派遣シ現在ノ場所ニ於テ 五室四間ヲ以テ病院ヲ始メル時ニ救 療部ヲ設置シ其後3年ニ現在ノ有ル 敷瓦二階ヲ建築スル際ニ救療部ヲ兼 設セリ	
備 考		現況ハ昭和4年6月21日ノ 現在ナリ	

救 療 事 業

	名 稱	大崎瀨病院	釜山府立病院
	所 在 地	慶尙北道達城郡達西面内府洞	慶尙南道釜山府辨天町1丁目
	經 營 主 體	英國倫敦癩病者救濟會	釜山府
	開 設	大正2年3月1日	明治9年
	宗 教 別	耶穌教北長老派	
	院 長	鰲鳴湊 <small>エ.チ.フレッツチャー</small> A. G. Fletcher	岸本道夫
現 況	從 事 員	5人	醫師14人 其ノ他ノ雇傭人17人藥劑師3人 書記3人看護婦33人
	收 容 定 員	400人	87人
	現在收容人員	406人	49人
	診 療 科 目	注射治療・手術治療	内科・外科・眼科・産婦人科・小兒科・耳鼻咽喉科
	外 來 受 付 時 間	外來者ハ取扱セス	午前9時ヨリ午後3時迄
	料 金	ナシ	入院料 $\begin{cases} 1等1日5圓 \\ 2等1日3圓50錢 \\ 3等1日2圓 \end{cases}$ 藥 價 $\begin{cases} 内服1日22錢 \\ 外用1劑20錢 \\ 煎服坐藥1劑15錢 \end{cases}$
	入 院 手 續	缺員ノ當時志願者中本院長ノ許可ヲ得テ入院サセル	保證人又ハ保證金制度
	豫 算	歳入 50,084.63 歳出 50,084.63	歳入 135,372.00 歳出 (經常) 134,347.00 (臨時) 6,490.00
	財 源	英國倫敦癩病者救濟會補助金 30,000.00 内外國有志紳士寄附金 19,784.63 患者勞働收入 300.00	病院收入ヲ主トシテ不足額ハ一般收入ヨリ補充ス
	沿 革	大正2年大邱等南山町ニ狹小ナス寮屋ヲ建テ癩病者ヲ收容施療セシガ次第ニ患者増加セシタメ英國倫敦癩病者救濟會ノ後援ヲ得テ大正5年現在ノ病院ヲ建築シ經營ヲ擴張セリ	明治9年開港當時密筆者ニ於テ官立演生院ヲ設ケ一般貧民ノ診療ヲ爲シ且ノ後建築者ノ所管ニ移リ明治18年開港地役所ノ經營ニ移リ大正3年原帶民團復止ト共ニ釜山府ノ經營ニ移リ今日ニ至ル
	備 考		貧困者ニハ無料施療ヲナスモノトス

救 療 事 業

	名 稱	釜山共生園診療所	慶尚南道立馬山醫院
	所在地	慶尚南道釜山府水晶町1ノ21番地	慶尚南道馬山府都町2丁目
	經營主體	個人經營	道地方費
	開設	昭和3年6月	大正11年9月15日
	宗教別	佛教淨土宗	
	院長	山崎傳六	醫學博士 森久彌一郎
現	従事員	3人	醫官3名、醫員1名、書記1名、薬剤師1名、嘱託1名、雇員4名、看護婦10名、事務員1名、傭人5名、合計27名
	收容定員		35名
	現在收容人員		22名
	診療科目		内科、外科、眼科、産婦人科、小兒科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿科、レントゲン、齒科
	外來受付時間		朝鮮總督府所屬官署執務時間(但シ退廳時刻30分前迄)
況	料 金		入院料日ニ付特等5圓、甲等3圓、乙等2圓、但シ食事ハ患者負擔
	入院手續		入院料10日間分相當ノ入院保證金ヲ納付セシム
	豫 算	4,280円	歳出豫算43,096圓43錢
	財 源	共生園後援會會費及補助金等	地方費及國庫ノ補助
	沿革	昭和3年下賜金拜受記念事業トシテ創立シ一覽13種ノ委託ヲ受シ其ノ他ノ費用一切ナシ、貧困者ニハ施療爲業ス	大正11年9月15日慶尚南道曹州慈惠院、馬山市海新ト稱シ開院、大正14年3月31日慶尚南道馬山慈惠院ト改稱、同14年4月1日假使改正ノ結果更ニ慶尚南道立馬山醫院ト改稱
	備 考	診療部内ニ無料健康相談部モ併置シ衛生保健ニ努力ス	當院ハ大正15年11月ヨリ昭和12年5月ニ及リ新築シタム人造平家建ニシテ救ハテ設備大ナク、ラジオモ且ノ位置文藝ノ役ノ感也、由緒深キ舞鶴山ノ背景ニ馬山灣ニ臨メルヲ以テ、高貴ハベツトニ居ナガラ、モシヨ山業未明ノ風光ニ接シ得、貧困者ニ對シテハ無料施療ヲナスモノトス

救 療 事 業

	稱	慶尙北道立晉州醫院	晉州培教病院
所	在 地	慶尙北道晉州	慶尙南道晉州郡晉州面玉峯里
經	營 主 體	道地方費	オストラリヤ長老教宣教會
開	設	明治43年9月12日	大正8年6月1日
宗	教 別		基督教長老派
院	長	品川文武	ウィリアムテーラ William Taylor
現	從 事 員	醫官3名、醫師2名、書記1名、藥劑士1名、嚙託1名、其他29名	29名
	收 容 定 員	普通病室42名、傳染病室21名	44人
	現 在 收 容 人 員	普通病室28名、傳染病室8名	25人
	診 療 科 目	内科小兒科、外科、産婦人科、眼耳鼻咽喉科、施療科	外科内科産婦人科眼耳鼻咽喉科皮膚花柳病科小兒科
	外 來 受 付 時 間	外來受付時間ハ大正13年6月總令第37號所屬官署執務時間ニコル	午前9時ヨリ午後4時迄
	料 金	入院患者特等5圓、1等3圓2等2圓、3等150錢、藥價1日分13錢	診療券20錢繃帶交換費20錢 入院費50錢ヨリ3圓マデ
況	入 院 手 続	科長ニ於テ入院治療ノ必要ヲ認メタルトキハ庶務課ニ通知シ庶務課ニ於テハ患者ノ希望ニヨリ病室ノ等級ヲ定ム、入院料10日分ニ相當スル金額以上ノ保證金ヲ納付セシム	醫師ノ命令ニ依リ何時デモ入院スルコトヲ得
	豫 算	昭和4年度65,691圓	22,000圓
財	源	醫院收入、基金利子及國庫補助	13,000圓(オストラリヤ宣教會支給、94圓本院收入)
活	革	隆興3年8月24日(明治43年)舊韓國總令75號ヲ以テ慈惠醫院官立發布等年9月舊晉州慈惠醫院ト稱スル醫院ノ結果總令第375號ヲ以テ地方官立即成布セラレ慶尙南道慈惠醫院ト改稱ス	大正元年瓦烈休氏ノ創立ニ依リ8年6月慶尙南道ノ許可ヲ受ク
備	考	45年5月16日總令第105號ヲ以テ慶尙南道晉州慈惠醫院ト改稱、大正14年4月總令第26號ヲ以テ朝鮮道立醫院官立即成布セラレ慶尙南道立晉州醫院ト改稱シ地方費ニ終ラセラル、費用者ニ對シテハ無料施療ヲナスモノトス	貧困者ニ對シテハ無料施療ヲナスモノトス

救 療 事 業

名 稱	財團法人大英國癩病者救療會朝鮮支部	黃海道立海州醫院	
所 在 地	慶尙南道東萊郡西面積靈里	黃海道海州	
經 營 主 體	英國倫敦大英癩病者救療會		
開 設	明治43年3月30日	明治43年9月9日	
宗 教 別	基督教		
院 長	ゼーノブル、マツケンザ	森 定吉	
現 況	從 事 員	幹事1人、醫師助手1人、看護婦7人、女3人	醫官3名、醫員3名、書記2名、藥劑手1名、看護婦18名
	收 容 定 員	500人	45名
	現 在 收 容 人 員	520人	
	診 療 科 目	癩病內外科	內科、外科、眼科、産婦人科、齒科
	外 來 受 付 時 間	毎念曜日	
料 金	ナシ		
入 院 手 續	院長直接患者ヲ診察シ重患者ニ限リ許可ス		
豫 算	41,000円	62,088円	
財 源	倫敦本部ヨリ毎年28,000圓、宮内省御下賜金及朝鮮總督府補助金朝鮮基督教會寄附金ヲ以テ維持ス		
沿 革	明治43年開離病院ヲ設立シ毎年30,000圓ノ經費ヲ以テ患者ヲ收容シ今日ニ及ベリ	水原ニ同ジ	
備 考			

救 療 事 業

名 稱	海州救世病院	肺結核療養病院	
所 在 地	黃海道海州郡海州面東萊町 213	黃海道海州郡泳東面玉神里	
經 營 主 體	基督教(美監理教)宣教部	同上	
開 設	明治43年11月	昭和3年11月	
宗 教 別	基督教(美監理教)	同上	
院 長	Sherwoodhall シニアウツトホール	同上	
現 況	從 事 員	6 人	3 人
	收 容 定 員	17人	6 人
	現 在 收 容 人 員	9 人	6 人
	診 療 科 目	内科、外科、婦人科、小兒科	肺病ノミ
	外 來 受 付 時 間	自午前9時至午後4時	同上
	料 金	赤貧者ハ無料其ノ他ハ入院 患者、特等1日3.50錢1等 2.50錢 2等1.50錢	同上
	入 院 手 續	別ニ規程ナシ	同上
豫 算	15,000円	2,560円	
財 源	基督教宣教部送金及病院ニ 於ケル收入	同上	
沿 革	布教ノ方便トシテ經營シ最 初ハ實質的診療ヲ爲シタル モ爾後豫算ノ都合ニ依リ多 少變更ス	布教ノ方便トシテ經營シ實 費的診療ヲ爲ス	
備 考			

救 療 事 業

	名 稱	載寧濟來病院	平安南道立平壤慈惠醫院
	所在地	黃海道載寧郡載寧面菊花里	平安南道平壤
	經營主體	米國北長老教朝鮮米巡會	
	開設	明治44年5月6日	明治43年9月6日
	宗教別	北長老教	
	院長	沈宜道(米國人)R.K.Smith	及川邦治
現	從事員	醫師3名、助手2名、產婆1名、看護婦2名、藥劑員1名、書記1名、傭人2名、其ノ他2名	醫官9、醫員7、教官1、事務官1、藥劑官1、書記3、藥劑手2、看護婦長1、看護婦36
	收容定員	20人	185名
	現在收容人員	6人	
	診療科目	外科ヲ専門トスルモ其ノ他一般ニ應ズ	内科、外科、眼科、產婦人科、小兒科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿科、齒科
況	外來受付時間	午前9時ヨリ午後4時迄トス但シ日曜日ハ休業	
	料 金	1、2、3、等ニ區分シ2圓、150錢及60錢トス	
	入院手續	本院ノ規程ニ依リ入院ノ際ハ10日分料金ヲ前納セシム	
	豫 算	本年度豫算 13,536円	220,493円
	財 源	米巡會ヨリノ補助及患者ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ	
	沿革	本院ハ宗教ノ宣傳ヲ主トシテ設置セルモノニシテ其ノ當時ハ無料診療ヲ施シタルモノナルモ大正8年前院長黃女子理(米國人)歸國シ同11年ニ至リ現院長之ヲ引受け經費約5,000圓ヲ投ジテ病室ヲ増設シ救々トシテ救療事業ニ勉勵シツツアリ	水原=同ジ
	備 考		

救 療 業 事

名 稱	平安南道立平壤慈惠醫院鎮南浦分院	平安北道立新義州醫院	
所 在 地	平安南道鎮南浦	平安北道新義州	
經 營 主 體			
開 設	大正15年8月2日	昭和2年4月1日	
宗 教 別			
院 長	中村富一	村田美喜雄	
現 況	從 事 員	醫官3, 醫員3, 書記1, 藥劑手1, 看護婦12	醫官4, 醫員3, 書記1, 藥劑手1, 看護婦17
	收 容 定 員	34名	53名
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	内科, 外科, 産婦人科, 耳鼻咽喉科, 眼科	内科, 外科, 皮膚科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 産婦人科, 小兒科
	外 來 受 付 時 間		
	料 金		
	入 院 手 續		
豫 算	46,210 ^円	71,639 ^円	
財 源			
沿 革	平壤醫院ノ道地方費ニ移管後設備セラレタルモノナリ	初メヨリ道立醫院トシテ開設セラレタルモノナリ	
備 考			

救 療 専 業		
名 稱	平壤廢乞救濟會	
所 在 地	平安南道平壤府上需里34番地	
經 營 主 體	平壤廢乞救濟會	
開 設	昭和3年11月	
宗 教 別	ナシ	
代 表 者	朴 泳	
現 況	從 事 員	1人
	被 救 護 者	8人
	救 護 方 法	溫突家屋=收容シ衣食ヲ與ヘ救護ス
經 濟	基 金	ナシ
	土 地	ナシ
	建 物	朝鮮家屋1棟
	備 品	寢具其他
	豫 算	2,187円
財 源	會日ノ義捐金、官廳ノ補助金及一般寄附金	
沿 革	本會ハ盧光潤外數名ノ主唱ノ下ニ酒、煙草ノ費用ヲ節約シ之ヲ以テ道路ニ匍匐シ居ル不具者タル乞人ヲ救護スル目的ヲ以テ設立シタルモノナリ	
備 考		

救 療 事 業

名 稱	平安北道立義州醫院	平安北道立羣山醫院	
所 在 地	平安北道義州	平安北道羣山	
經 營 主 體			
開 設	明治43年9月14日	大正元年10月	
宗 教 別			
院 長	志田信男	大橋宏一	
現 況	從 事 員	醫官2. 醫員4. 書記1. 藥劑手1. 看護婦11.	醫官2. 醫員3. 書記1. 藥劑手1. 看護婦8.
	收 容 定 員	31名	37名
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	內科. 小兒科. 產婦人科. 外 科. 皮膚科. 眼科. 耳鼻咽喉科	內科. 外科
	外 來 受 付 時 間		
	料 金		
	入 院 手 續		
豫 算	39,783 ^円	44,543 ^円	
財 源			
沿 革	水原 = 同ジ	水原 = 同ジ	
備 考			

救 療 事 業

名 稱	東洋合同鑛業會社附屬病院	道立春川醫院	
所 在 地	平安北道雲山郡北鎮面橋洞	江原道春川郡春川面佳淵里	
經 營 主 體	東洋合同鑛業會社		
開 設	明治32年5月	明治43年9月	
宗 教 別	ナシ	ナシ	
院 長	イ・ニム・ユアース	松井虎雄	
現 況	従 事 員	7名	醫員1名、看護婦2名
	收 容 定 員	20名	一日平均4名
	現在收容人員	16名	5人
	診 療 科 目	外科、内科	全 科
	外 來 受 付 時 間	午前10時ヨリ午後3時迄	自午前8時至正午、
	料 金	會社従事員ハ無料其ノ他ハ一回投薬20錢トス	ナシ
人 院 手 續	特別ナル手續ナシ	警察官ヨリ貧困證明ヲ持參シタルモノニシテ保證人ヲ要ス	
豫 算	歳入1,277円 歳出26,612円 (昭和3年度決算)	3,300円	
財 源	會社ヨリ支出ス	御下賜金及維持資金利子其ノ他	
沿革	本病院ハ舊ラ同會社従業員ノ爲ニ設立シタルモノニシテ明治32年5月雲山郡東新面泥路村ニ創立、其ノ後4年ヲ経過シテ明治38年前記ノ場所ニ移傳今ハニ至ス	明治43年7月ヨリ慈惠醫院ヨリ新設サレタルモノニシテ同年9月ヨリ今ニ至ル	
備 考	本病院ハ別ニ檢定シタル豫算ナク必要ニ應ジ會社ヨリ支出スルモノナリ	外來患者ハ一日50人定トス	

救 療 事 業

	名 稱	平安北道立江界醫院	宣川私立美東病院
	所 在 地	平安北道江界	宣川郡宣川面川北洞
	經 營 主 體		宣川私立美東病院
	開 設	大正11年12月1日	明治34年11月25日
	宗 教 別		耶蘇教
	院 長	菊池茂七	崔義遜, W. H. Chisholm <small>ワブリス・ウィチーネ・ホーム</small>
現	從 事 員	醫官3, 醫員3, 書記1, 藥劑手1, 看護婦10	醫師2人, 檢劑師1人, 助手 1人, 會計員1人, 看護婦5 人, 細帶係員1人, 齎人5人
	收 容 定 員	40名	60人
	現 在 收 容 人 員		15人
況	診 療 科 目	内科, 小兒科, 眼科, 外科, 耳鼻皮膚科, 産婦人科	全 科
	外 來 受 付 時 間		自午前8時30分至同12時 自午後1時30分至同4時30分 (但日曜日ハ午前迄トス)
	料 金		入院費 1等1日 2円50銭 2等1日 1円50銭 3等1日 90銭 藥 代 1人1日 60銭 ホ入1日 60銭
	入 院 手 續		1等室30圓, 2等室20圓, 3等室15圓ヲ入院保證金ト シテ前拂ヲ要ス
	豫 算	47,116 ^圓	歳 入 25,950 ^圓
	財 源		注國使道本部補助金1,400圓, 奉國人 家獨金200圓, 入札費收入15,500圓, 藥代收入3,000圓, 其ノ他收入若干
	沿 革	水原ニ同ジ	明治34年宣教師謝學秀氏ハ在留米人 宣教師以應諾トシテ來宣シ最初家屋 數間ニ於テ宿障ヲ設ケ主トシテ疾 病及外來患者ヲ收容シ來タリシ所患 者増加ニ伴ヒ棟架ト諸病ノ設備ヲ益 シタリ, 尙大正3年ニテ更ニ普濟 病舎及傳染病舎ヲ増築シ, 又大正 13年2月5日私立病院トシテ設立ノ 認可ヲ受ケ今ノニ至レリ
	備 考		本院ハ無產者ノ治療ハ實費 或ハ無料トス

救 療 事 業

名 稱	道立江陵醫院	威鏡南道立威興醫院	
所 在 地	江原道江陵郡江陵面大正町	威鏡南道威興	
經 營 主 體			
開 設	明治45年5月	明治43年1月25日	
宗 教 別	ナシ		
院 長	吉野麟至	原藤孝一	
現 況	從 事 員	醫員1名、看護婦1名	醫官5、教官1、醫員5、書記2、藥劑手1、看護婦長1、看護婦33
	收 容 定 員	一日平均4名	88名
	現 在 收 容 人 員	5名	
	診 療 科 目	全 科	内科、外科、眼科、耳鼻喉科、産婦人科、小兒科
	外 來 受 付 時 間	自午前8時至正午	
	料 金	ナシ	
入 院 手 續	警察官ヨリ貧困證明ヲ持參シタルモノニシテ保證人ヲ要ス		
豫 算	2,117円	122,312円	
財 源	御下賜金及維持資金利子其ノ他		
沿 革	明治45年5月慈惠醫院設立ト同時ニ開設シ今日ニ至ル	清州ニ同ジ	
備 考	外來患者ハ1日50人定トス		

救 療 事 業

名 稱		咸鏡南道立惠山醫院	元山救世病院
所 在 地		咸鏡南道甲山郡惠山鎮	咸鏡南道元山府山祭洞
經 營 主 體			南監理派宣教部
開 設		大正12年11月26日	
宗 教 別			南監理派
院 長		笹原竹三	アンダーソン
現 況	從 事 員	醫官2. 醫員3. 書記1. 藥劑手1. 看護婦8.	
	收 容 定 員	32名	
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	内科. 外科. 小兒科. 眼科 耳鼻咽喉科. 産婦人科	
	外 來 受 付 時 間		
	料 金		
	入 院 手 續		
豫 算		41,597 ^円	
財 源			
沿 革		水原 = 同ジ	
備 考			本院ハ一般醫療ヲ主トシ施 療部ヲ附設シ救療ニ從事ス

救 療 事 業

名 稱		威鏡北道立羅南醫院	威鏡北道立城津醫院
所 在 地		威鏡北道鏡城郡羅南	威鏡北道城津
經 營 主 體			
開 設		明治43年9月13日	大正12年8月5日
宗 教 別			
院 長		鹽見順介	木村織之助
現 況	從 事 員	醫官5, 醫員5, 書記2, 薬剤手1, 看護婦34.	醫官3, 醫員2, 書記1, 薬剤 手1, 看護婦15.
	收 容 定 員	82名	29名
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	内科, 外科, 眼科, 産婦人 科, 小兒科, 耳鼻咽喉科, 齒科	内科, 小兒科, 外科, 眼科 耳鼻咽喉科, 皮膚科, 産婦 人科, 齒科
	外 來 受 付 時 間		
	料 金		
人 院 手 續			
豫 算		108,011 ^円	44,033 ^円
財 源			
沿 革		本院ハ明治43年9月道慈惠 醫院トシテ鏡城ニ開設セラ レ大正9年12月羅南ニ新築 移轉セリ而シテ大正14年度 ヨリ道地方費ニ移管道立醫 院トナル	水原ニ同ジ
備 考			

救 療 事 業

名 稱		威鏡北道立會寧醫院	威鏡北道立會寧醫院間島出張員診療所
所 在 地		會 寧	間島龍井村
經 營 主 體			
開 設		大正元年8月	大正5年4月
宗 教 別			
院 長		大河内 雪	岸田 微
現 況	從 事 員	醫官3, 醫員4, 書記1, 藥劑手1, 看護婦23.	醫官3, 醫員2, 書記1, 藥劑手1, 看護婦12.
	收 容 定 員	65名	42名
	現 在 收 容 人 員		
	診 療 科 目	内科, 小兒科, 外科, 皮膚 泌尿科, 産婦人科, 齒科	内科, 小兒科, 外科, 眼科 耳鼻科, 産婦人科
	外 來 受 付 時 間		
	料 金		
入 院 手 續			
豫 算		65,435 ^円	54,121 ^円
財 源			
沿 革		水原 = 同シ	會寧醫院出張員診療所 = 付 沿革會寧 = 同シ
備 考			

救 療 事 業

	名 稱	京城醫學專門學校附屬醫院	京城帝國大學醫學部附屬醫院
	所 在 地	京城府昭格洞165番地	京城府蓮建洞28番地
	經 營 主 體	官 營	京城帝國大學
	開 設	昭和3年11月30日	昭和3年6月1日
	宗 教 別	ナシ	
	院 長	成田 夬介	早野龍三
現 況	從 事 員	116名	職員334人、傭人118人
	收 容 定 員	病室55床、外來ナシ	430人
	現 在 收 容 人 員	入院55名、外來400名内外	260人
	診 療 科 目	内科、外科、小兒科、皮膚科、耳鼻科、眼科、婦人科	内科、外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、小兒科、皮膚泌尿科、内科、神經精神科
	外 來 受 付 時 間	午前8時ヨリ(官廳出勤時) 正午迄	官廳出勤時間1時間前ヨリ 午前11時迄
	料 金	入院料特等8圓、1等4圓、2等3圓及2圓50錢、3等1圓50錢 診察料20錢(30分間有効)普通 療費11分15錢 其他手術料、注射料、處方料、検査料等アリ	入院料特等8圓、甲等6圓、乙等3圓、丙等1圓50錢(食料薬價ヲ含ム) 外來患者薬價1劑1日分20錢
	入 院 手 續		診察ノ上入院治療ヲ要スルモノハ入院證書ニ保證人連署ノ上書類ヲ以テ手續ヲナス
	豫 算	125,000円	病院費 504,927円 (但シ俸給ヲ除ク)
	財 源	國 費	國 費
	沿 革	京城醫學專門學校臨床科醫科書ハ從來朝鮮總督府醫院ニ於テ實施シ來リシガ昭和3年8月ヨリ該醫院ハ京城帝國大學ニ移管シタル後府内昭格洞ニ本院附屬醫院ヲ新設シ11月30日ヨリ一般患者ノ診療ニ従事ス	元帝國大醫院ヨリ明治43年10月1日朝鮮總督府醫院ニ移管昭和3年8月1日京城帝國大學醫學部附屬醫院官開張布ト共ニ朝鮮總督府醫院官開張停止セラレ現在ニ至ス
	備 考	病床ハ現在病室新築中ニ付10月末日ニハ約75床ヲ増ス豫定ナリ	

養 老 事 業

名 稱	財團法人京城養老院	佛教慈濟會養老部	
所在地	京城府高雲洞山四ノ三	京城府元町1丁目12	
經營主體	財團法人	京城佛教慈濟會	
開設	昭和2年8月1日	大正14年12月1日	
宗教別	佛教	佛教	
代表者主任	李元植	津田賢	
現 狀	從 事 員	理事4, 監事2, 幹事1, 小使2	2名
	收 容 定 員	15名	6名
	現在收容數	10名	4名
	年齡及教育程度	70歳以上, 文盲者8割	73歳 文盲者
	健康狀態	普通	良好 0.03
	一箇月死亡者數	ナシ	0.03
	作業及行事	衣類調進 行事ナシ	掃除 ナシ
	入院資格	無依無托ノ老人者ニ限ル	富貴收容行藏病人ニシテ65歳以上富貴ニ於テ必要アリト認メタルモノ
入院手續	當局ノ經山又ハ相當ナ人ノ紹介者ノ紹介ニ依ル	ナシ	
經 濟	基 金	41,135円	ナシ
	土 地	9,135円	3,035坪
	建 物	19,000円	22坪 (瓦葺平家)
	備 品	1,500円	
豫 算	3,000円	4,320.70円	
財 源	基本金ヨリ生ズル利子及寄附金等	官廳補助, 經營者雜出金	
沿 革	高雲洞山4番地四有地ヲ借り昭和2年7月20日開設(京城養老院ト稱シ)昭和4年2月5日組織ヲ變更シ財團法人京城養老院ト稱セリ	御下賜金及慶福會ノ財成金ヲ基本トシ大正14年12月1日ヨリ開設ス	
備 考			

養 老 事 業

名 稱		平壤養老院	宣川昌信養老院
所 在 地		平壤府慶上里69番地	平安北道宣川郡宣川面川北洞
經 營 主 體		平壤府内長老派12教會	宣川昌信養老院
開 設		明治40年10月1日	大正7年8月1日
宗 教 別		キリスト教	耶蘇教
代 表 者 主 任		康駿彬	李昌錫
現 況	從 事 員	2人	院長1人、會計1人
	收 容 定 員	15人	15人
	現 在 收 容 數	8人	10人
	年 齡	65歳以上	60歳以上ノ老者ヲ收容ス 現在 { 最高88歳 最低74歳
	教 育 程 度	ナシ	諺文稍解者3人、其ノ他無學文
	健 康 狀 態	良	1般ニ老衰シテ氣力微鈍ナリ
	1箇月死亡者數	ナシ	年平均1人
	作 業	健康者ニハ簡易ナル手工(綿線手繰糸ヲナサシム)	能力アルモノニ限り絲繰ヲナス
	行 事	ナシ	ナシ
	入 院 資 格	貧困無依ノ老人タルコト	年齢60歳以上ノ扶養義務者ナキ者
入 院 手 続	府尹、署長及教會ニテ推薦シタルモノ	有力者ノ推薦書持參ヲ要ス	
經 濟	基 金	ナシ	989円
	土 地	ナシ	山林11町6反歩
	建 物	朝鮮家屋1棟	瓦葺1棟(9間)
	備 品	寝具其他	生活上必須道具、廢具、食器
	豫 算	810円	歳入出豫算 1,003円
沿 革	財 源	平壤府内長老派教會ノ出資金及一般寄附金	山林ヨリ生ズルモノ及財團法人朝鮮學校ノ寄附金ヲ本府補助金
	革	貧困無依ノ老人ヲ保養スルヲ目的トシ明治40年10月本院ノ設立ヲ見タリ	設立者李昌錫ハ大正7年夫婦相謀リ時價約3萬餘圓ノ土地及現金ヲ宣川郡魯内南北教會ニ寄附シテ本事業ヲ實施セシメタルガ同15年ニ至リ右土地ノ一部ヲ財團法人私立明信學校ニ轉讓セシメ同校ヨリ毎年粟80石及米10石ヲ補助ヲ受ケ現在迄經營シツツアルモノヲナリ
備 考		本院ハ數年來宮内者ヨリ地下賜金及本府ヨリ助成金ヲ毎年受ケツツアリ	

養 老 事 業

名 稱	義州天主教養老院	
所 在 地	平安北道義州郡義州面東外洞	
經 營 主 體	義州天主教	
開 設	大正15年10月5日	
宗 教 別	天主教	
代 表 者 主 任	宣教師 白良	
現 況	從 事 員	1人
	收 容 定 員	20人
	現 在 收 容 數	8人(外孤兒5人)
	年 齡	60歳以上
	教 育 程 度	普通常識ナキモノ多シ
	健 康 狀 態	衰弱状態ニアルモノ多シ
	1箇月死亡者數	1人
	作 業	庭園掃除ノ他ニ作業ナシ
	行 事	毎朝公禱禮式ニ參席
	入 院 資 格	60歳以上ノ扶養義務者ナキ者
入 院 手 續	身元調査ヲ要ス	
經 濟	基 金	ナシ
	土 地	ナシ
	建 物	瓦家1棟(7間) 草葺1棟(7間)
	備 品	生活上ノ必須ナル諸道具、寝具、食器
豫 算	750円	
財 源	米國ノ信徒中特志ノ寄附金ニ依ル	
沿 革	大正15年10月5日米國宣教師姜始社ノ創設	
備 考		

業 事 保 隣

名 稱	慶北救濟會セツルメント		
所 在 地	大邱府南山町130		
經 營 主 體	慶北救濟會		
開 設	大正11年12月31日		
宗 教 別	キリスト教		
代 表 者 主 任	代表者 鄭在學・主任 藤井忠次郎		
現 況	事 業	從 事 員 (兼務者ヲ含ム)	利 用 者
	乳幼児健康訪問	人	人
	託 兒 所	人	人
	夜 學	人	人
	圖 書 室	人	人
	土 曜 講 座	人	人
	職 業 紹 介	2 人	1 箇月 15人
	人 事 法 律 相 談	1 人	1 箇月 10人
	貧 兒 教 育	4 人	60人
一 般 教 化	3 人	日曜學校 30人 講習講演會 40人 娛樂會 60人	
經 濟	基 金		
	土 地		
	建 物		
	備 品		
	豫 算		
財 源			
沿 革			
備 考	救濟會附屬事業トシテ經營スルモノニシテ經費ハ別ニ掲上セズ		

隣 保 事 業

名 稱	釜山共生園		
所 在 地	釜山府水晶町1ノ21番地		
經 營 主 體	個人經營		
開 設	大正13年4月		
宗 教 別	佛教淨土宗		
代 表 者 主 任	大田秀山		
現 況	事 業	従 事 員 (兼務者ヲ含ム)	利 用 者
	教 化 部	5 人	1 箇月 590人
	託 兒 部	4 人	現在在籍者99人
	授 産 部	2 人	現在作業者35人
	學 園 部	5 人	現在在籍者 ₁₆₀ 人
	診 療 部	3 人	1日ノ利用者 ₁₂ 人 不均
	母 乳 紹 介	1 人	昨年度利用者 ₁₆₀ 人
	遊 園 部	1 人	1 日約 200人
經 濟	基 金	外ニ調査部ヲ設ケ附近ノ實狀調査ヲ行フ	
	土 地	434坪(後援會員ヨリ無償貸地)	
	建 物	120坪、1棟、13,000円	
	備 品	點數763點、見積價格 4,099円50銭	
	豫 算	16,250円04銭	
財 源	共生園後援會費、事業收入、補助金等		
沿 革	佛教ノ根本精神タルとていきの世界ヲ作り特ニ鮮人ノ生活向上品性向上等ヲ念願シ隣保事業役ヲ大正13年4月創設シ内鮮一如ノ世界ヲ作ラントシ以上ノ部門ノ事業ヲ實施シ今日ニイタル		
備 考	御下賜金拜受記念事業トシテ現在地ニ昭和3年6月新園會建築シ創立4年ニシテコノ難事ヲナシ今日ハ各部ノ充實ヲ圖リツツ今日ニイタル		

業 事 保 険

名 稱	釜山慈善教社		
所 在 地	釜山府西町1丁目7番地		
經 營 主 體	東本願寺釜山別院		
開 設	明治10年12月		
宗 教 別	淨土真宗		
代 表 者 主 任	社長・輪番・事務ハ坂田文吉		
現 況	事 業	従 事 員 (兼務者ヲ含ム)	利 用 者
	乳 幼 兒 健 康 訪 問	ナシ	救助人員1箇年 80名乃至100名
	託 兒 所	ナシ	同
	夜 學	ナシ	同
	圖 書 室	ナシ	同
	二 曜 講 座	ナシ	同
	職 業 紹 介	ナシ	同
	人 事 法 律 相 談	ナシ	同
經 済	基 金	8,000円	
	土 地	ナシ	
	建 物	ナシ	
	備 品	ナシ	
	豫 算	基金以外ハ全部救助支出5.6百圓範圍	
	財 源	基金ヨリ生ズル利息及寄附金	
沿 革	東本願寺釜山別院ノ門信徒ヲ以テ組織シ當初ハ月額10錢ノ 據金ヲシタルモ次第ニ基本金造成セラレタルヲ以テ中途據 金廢セリ		
備 考	専業ハ困難者ノ救済ニシテ水陸兩警察署及ビ府管人事相談 所ニ於テ救助スベキモノト認メラレ要求セララル金額ヲ施 與ス		

方面委員					方面事業事業狀況								
名稱	京 城 府 方面委員	經營主體	京 城 府	設 立	昭和2 年12 月5日	生活狀態ノ 調 査	窮 民 救 助	貧 病 者 ノ 救 療	戶 籍 整 理 及 諸 届	兒 童 保 護	指 導 相 談 及 周 旋 紹 介	其 他	計
設置方面	囑氏 託名	委員數	事務所所在地										
東部方面	李康燻	15名	蓮池洞 朝陽幼稚園内		東	519件	18件	1件	1件	20件	2件	2286件	
北部方面	李東燻	5名	通義洞 梅洞公普校内		北	273	33	3	—	15	—	1400	
備					算セズ								
考					東部方面新委員八名ノ區域ハ未ダ生活狀態完了セザリシヲ以テ打								

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人京城救護會									
所 在 地	京畿道高陽郡龍江面阿靛里85									
經 營 主 體	財團法人京城救護會									
開 設	大正2年7月									
宗 教 別										
代 表 者・主 任	會長 理事 長尾戒三									
從 事 員	専務2人 兼務4人									
現 保 護 人 員	直接保護21人 間接保護101人 一時的保護7人									
家 族 關 係	配偶アル者 13人	配偶ナキ者 109人	親アル者 9人	親ナキ者 113人						
教 育 程 度	不 就 学 88人	普 通 教 育 34人		中 等 教 育 —	專 門 教 育 —					
前 刑 罪 質	窃 盜 45人	強 盜 39人	詐 欺 18人	横 領 7人	殺 人 5人	傷 害 5人	其 他 3人			
現 業 別	日 働 58人	農 業 24人	大 工 11人	土 工 5人	馬 車 籠 3人	左 官 1人	洋 服 職 1人	下 女 2人	其 他 17人	
教 化 方 法	説法 訓諭 指導									
經 濟	基 金	11,789円								
	土 地	403坪 122円								
	建 物	76坪 3,980円								
	備 品	944円								
	家 算	15,456円 (昭和四年度)								
	財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業収入								
沿 革	大正2年7月在京城官民有志相諮リ會日組織トシテ京城救護會ヲ設立シ元京城救護院ノ事業ヲ引受ケ釋放者保護ヲ開始ス大正5年7年現在ノ地ニ事務所及收容所ヲ建築シ大正10年4月組織ヲ財團法人ニ改メ今日ニ至ル									
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス 基金中ニハ耕耘地2,471坪 及住家4棟13戸ヲ含ム									

釋 放 者 保 護 事 業

	名 稱	財團法人開城大成會			
	所 在 地	京畿道開城郡松都面高麗町1033			
	經 營 主 體	財團法人開城大成會			
	開 設	大正12年7月			
	宗 教 別				
	代 表 者・主 任	會長 理事 德江宣隆			
現	從 事 員	専務1人 兼務3人			
	保 護 人 員	直接保護6人 間接保護1人 一時的保護5人			
況	家 族 關 係	配偶アル者 —	配偶ナキ者 7人	親アル者 —	親ナキ者 7人
	教 育 程 度	不 就 學 7人	普 通 教 育	中 等 教 育	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	窃 盜 7人			
	職 業 別	無 職 7人			
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
	基 金	2,174円			
概	土 地	171坪 371坪			
	建 物	32坪 1,698坪			
	備 品	298坪			
濟	豫 算	17,459円 (昭和四年度)			
	財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
沿	革	開城少年刑務所ノ釋放者保護ヲ目的トシテ大正12年1月創立ス同年5月現在ノ地ニ事務所及收容所ヲ建築シ昭和2年6月財團法人設立ヲ許可セラレ今日ニ至ル			
備	考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金中ニハ貸家1棟2戸、敷地及耕耘地1,507坪ヲ含ム			

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人公州慣業院				
所 在 地	忠清南道公州郡公州面山城町193				
經 營 主 體	財團法人公州慣業院				
開 設	明治44年 8 月				
宗 教 別					
代 表 者 主 任	會長 理事 申錫麟				
現 況	從 事 員	專務 1 人 兼務 3 人			
	保 護 人 員	直接保護 8 人 間接保護 10 人 一時的保護 3 人			
	家 族 關 係	配偶アル者 8 人	配偶ナキ者 10 人	親アル者 3 人	親ナキ者 15 人
	教 育 程 度	不 就 學 13 人	普 通 教 育 5 人	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	窃 盜 10 人	強 盜 6 人	住 居 侵 入 1 人	放 火 1 人
	職 業 別	木 工 3 人	店 員 1 人	雜 業 1 人	人 夫 13 人
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
經 濟	基 金	13,270 ^円			
	土 地	386坪 1,930 ^円			
	建 物	38坪 2,321 ^円			
濟	備 品	311 ^円			
	採 算	9,148 ^円 (昭和四年度)			
財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業収入				
沿 革	明治44年 8 月創設大正元年10月現在地ニ事務所及收容所ヲ建設シ大正11年12月財團法人組織ニ變更シ以テ今日ニ至ル				
備 考	現況欄ハ直接保護間接保護ニツイテノモノトス基本金中ニハ耕耘地1,799坪及貸家 8 棟 9 戸ヲ含ム				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人忠北有隣會			
所 在 地	忠清北道清州郡清州面東町110			
經 營 主 體	財團法人忠北有隣會			
開 設	明治44年12月			
宗 教 別				
代 表 者・主 任	會長 理事 韓圭復			
從 事 員	專務1人 兼務3人			
現 保 護 人 員	直接保護2人 間接保護1人 一時的保護 人			
	家 族 關 係	配偶アル者 —	配偶ナキ者 3人	親アル者 2人
教 育 程 度	不 就 學 3人	普 通 教 育 —	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —
現 前 刑 罪 質	強 盜			
	3人			
現 職 業 別	農 業	日 傭		
	1人	2人		
教 化 方 法	說法 訓諭 指導			
經 濟	基 金	13,148円		
	土 地	156坪 936円		
	建 物	41坪 1,831円		
	備 品	515円		
源 算	3,361円 (昭和四年度)			
財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
沿 革	明治44年12月設立大正4年3月事務所及收容所ノ設備ヲ爲シ昭和2年1月組織ヲ財團法人ニ改メ今日ニ至ル			
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金ニハ耕耘地2,772坪及貸家2棟ヲ含ム			

釋 放 者 保 護 事 業

名	稱	財團法人大田自護會			
所	在	地	忠清南道大田郡大田面春日町3丁目315ノ4		
經	營	主	體 財團法人大田自護會		
開	設 大正9年11月				
宗	教 別				
代	表 者・主 任 會長 理事 高橋 正				
現	從	事 員 兼務3人			
	保	護 人 員 直接保護2人 間接保護2人 一時的保護人			
	家	族 關 係			
	教	育 程 度			
	前	刑 罪 質			
	職	業 別			
	教	化 方 法			
標	基	金 3,678円			
	上	地 1,546坪 1,082円			
	建	物 49坪 3,476円			
	備	品 285円			
	預	算 11,705円 (昭和4年度)			
濟	財	源 基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
	沿	革 大正9年11月設置シ大正13年2月敷地ヲ購入事務所及收容所ヲ新築シ大正14年9月財團法人設立ノ許可ヲ受ケタリ			
備	考 現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金中ニハ耕耘地貸地2,220坪ヲ含ム				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人全州有終會				
所 在 地	全羅北道全州郡全州面花園町36				
經 營 主 體	財團法人全州有終會				
開 設	大正元年12月				
宗 教 別					
代 表 者・主 任	會長 理事 林 茂樹				
現	從 事 員	專務人 兼務 4人			
	保 護 人 員	直接保護 3人 間接保護 6人 一時的保護 人			
現 況	家 族 關 係	配偶アル者 6人	配偶ナキ者 3人	親アル者 1人	親ナキ者 8人
	教 育 程 度	不 就 學 9人	普 通 教 育 —	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	強 盜 8人	窃 盜 1人		
	職 業 別	大 工 1人	指 物 工 5人	左 官 1人	土 工 2人
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
	經 濟	基 金	7,408円		
		土 地	263坪 1,050円		
建 物		54坪 2,982円			
備 品		470円			
豫 算		3,020円 (昭和4年度)			
財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入				
沿 革	大正元年12月ノ創立ニ係リ大正7年9月其ノ組織ヲ財團法人ニ改メ次テ大正9年4月現在ノ土地ヲ購入シテ之ニ事務所及收容所ヲ建築昭和3年ニハ耕耘地20,900坪ヲ購入シテ收容者ノ授産ニ便セリ				
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトシ基金中ニハ耕耘地20,900坪及貸家1棟1戸ヲ含ム				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人群山誠之會				
所 在 地	全羅北道沃溝郡米面屯栗里831ノ1				
經 營 主 體	財團法人群山誠之會				
開 設	大正2年12月				
宗 教 別					
代 表 者・主 任	會長 理事 前田善次				
現 況	從 事 員	専務 人 兼務 7人			
	保 護 人 員	直接保護 1人 間接保護 4人 一時的保護 人			
	家 族 關 係	配偶アル者 1人	配偶ナキ者 4人	親アル者 2人	親ナキ者 3人
	教 育 程 度	不 就 學 5人	普 通 教 育 —	中 等 教 育	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	強 盜 4人	窃 盜 1人		
	職 業 別	農 業 2人	大 工 2人	日 傭 1人	
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
	經 済	基 金	6,341円		
土 地		223坪 481円			
建 物		34坪 2,300円			
備 品		352円			
豫 算		3,003円 (昭和4年度)			
財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入				
沿 革	大正2年12月設立翌年敷地ヲ購入シ之ニ收容所ヲ新築セリ 大正11年ニ至リ其ノ組織ヲ財團法人ニ改メ大正13年現在ノ 敷地ヲ買収シテ事務所ヲ新築移轉セリ				
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金中ハ 貸家2棟4戸ヲ含ム				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱		財團法人光州有隣會			
所 在 地		全羅南道光州郡光州面院村里715番地			
經 營 主 體		財團法人光州有隣會			
開 設		大正3年2月			
宗 教 別					
代 表 者・主 任		會長 理事 金瑞圭			
現	從 事 員	専務1人 兼務3人			
	保 護 人 員	直接保護2人 間接保護2人			
現 況	家 族 關 係	配偶アル者 2人	配偶ナキ者 2人	親アル者 —	親ナキ者 4人
	教 育 程 度	不 就 學 2人	普 通 教 育 2人	中 等 教 育	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	窃 盜 2人	強 盜 2人		
	職 業 別	農 業 2人	行 商 1人	洋 服 職 1人	
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
	基 金	10,290円			
經 濟	土 地	200坪 615円			
	建 物	38坪 2,349円			
	備 品	436円			
	資 質	5,982円 (昭和4年度)			
	財 源	基金利子・補助金・寄附金・事業收入			
沿革	大正3年2月光州監獄職員主唱ノ下ニ設立シ大正5年3月現在ノ所ニ敷地ヲ購入シ事務所及收容所ヲ建築セテ大正7年5月組織及名稱ヲ改メテ今日ニ至ル				
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金中ニハ貸家5棟10戸、耕転地421坪ヲ含ム				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱		濟州成美會			
所 在 地		全羅南道濟州島濟州面健入里			
經 營 主 體		濟州成美會			
開 設		大正10年7月			
宗 教 別					
代 表 者・主 任		會長 鈴木兵作			
現 況	從 事 員				
	保 護 人 員	直接保護1人 間接保護1人 一時的保護1人			
	家 族 關 係	配偶アル者	配偶ナキ者	親アル者	親ナキ者
	教 育 程 度	不 就 學	普通教育	中等教育	専門教育
	前 刑 罪 質				
	職 業 別				
	教 化 方 法				
經 濟	基 金	2,111円			
	土 地				
	建 物				
	備 品	102円			
	預 算	300円(昭和4年度)			
財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業収入				
沿 革	大正10年7月設置セラレタルモ大正13年12月濟州刑務支所廢止ノ爲保護ヲ要スル釋放者ナク現在殆ンド其ノ事業中止ノ狀態ニ在リ				
備 考					

釋 放 者 保 護 事 業

名	稱	財團法人木浦成美會				
所	在 地	全羅南道木浦府竹洞96番地				
經	營 主 體	財團法人木浦成美會				
開	設	大正3年3月				
宗	教 別					
代	表 者・主 任	會長 理事 飛鋪秀一				
現	從 事 員	専務2人 兼務3人				
	保 護 人 員	直接保護7人 間接保護9人 一時的保護人				
況	家 族 關 係	配偶アル者 8人	配偶ナキ者 7人	親アル者 5人	親ナキ者 11人	
	教 育 程 度	不 就 學 8人	普 通 教 育 7人	中 等 教 育 1人	專 門 教 育 —	
	前 刑 罪 質	強 盜 6人	窃 盜 6人	殺 人 1人	放 火 1人	其ノ他 2人
	職 業 別	日 傭 4人	大 工 3人	土 工 2人	洋 服 職 1人	其ノ他 6人
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導				
	經	基 金	2,000円			
		土 地	259坪 2,075円			
建 物		42坪 720円				
備 品		284円				
濟		豫 算	14,179円(昭和4年度)			
	財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業収入				
沿	革	設立當時ハ小規模ノ保護機關ナリシガ釋放者ノ増加ハ事業改善ヲ促シ大正8年組織ヲ財團法人ニ改メ大正10年5月本府ヨリ敷地及建物ノ譲渡ヲ受ケ事業ヲ擴張シテ今日ニ至ル				
備	考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス				

釋 放 者 保 護 事 業

名	稱	財團法人大邱常成會			
所	在 地	慶尙北道大邱府東雲町248番地			
經	營 主 體	財團法人大邱常成會			
開	設	明治44年4月			
宗	教 別				
代	表 者 主 任	會長 理事 今村正美			
現	從 事 員	専務1人 兼務4人			
	保 護 人 員	直接保護3人 間接保護3人 一時的保護10人			
	家 族 關 係	配偶アル者 3人	配偶ナキ者 3人	親アル者 —	親ナキ者 —
	教 育 程 度	不 就 學 4人	普 通 教 育 2人	中 等 教 育 —	専 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	恣 喝 1人	殺 人 3人	窃 盜 1人	詐 欺 1人
	職 業 別	農 業 1人	日 傭 5人		
况	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
經	基 金	9,100円			
	土 地	446坪 3,098円			
	建 物	84坪 3,171円			
	備 品	1,165円			
濟	養 算	17,756円(昭和4年度)			
	具 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
沿	革	明治44年4月大邱出獄人保護會ト稱シ設立漸次基礎ノ充實ヲ圖リ大正5年3月財團法人組織トシ大邱常成會ト改稱セリ			
備	考	凡 況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金中ニハ耕地地792坪ヲ含ム			

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人金泉尚善會				
所 在 地	慶尚北道金泉郡金泉面大和町340番地				
經 營 主 體	財團法人金泉尚善會				
開 設	大正10年11月				
宗 教 別					
代 表 者・主 任	會長 理事 松原新一				
現 況	從 事 員	專務 兼務 4人			
	保 護 人 員	直接保護 3人 間接保護 3人 一時的保護 人			
	家 族 關 係	配偶アル者 —	配偶ナキ者 6人	親アル者 1人	親ナキ者 5人
	教 育 程 度	不 就 學 —	普 通 教 育 6人	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	窃 盜 6人			
職 業 別	大 工	店 員	寺院小使	日 傭	
	1人	1人	1人	3人	
教 化 方 法	說法 訓諭 指導				
經 濟	基 金	2,216 ^円			
	土 地	78坪 218 ^円			
	建 物	25坪 1,246 ^円			
	備 品	140 ^円			
	産 業 財 源	5,580 ^円 (昭和4年度)			
沿 革	基金利子 補助金 寄附金 事業収入				
備 考	<p>金泉分監開設ト共ニ釋放者保護ノ目的ヲ以テ設立シ大正13^年收容所ヲ新築大正15年ニハ事務所及作業場ヲ増設シ主トシテ金泉少年刑務所釋放者ヲ保護シツアリ</p> <p>現況欄ハ直接保護及間接保護ニツキテ、キヤンパニツキ基金中ニハ貸家敷地68坪及住家2棟4戸ヲ含ム</p>				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	安東辛酉博愛會				
所 在 地	慶尙北道安東郡安東面新世洞69番地				
經 營 主 體	安東辛酉博愛會				
開 設	大正10年11月				
宗 教 別					
代 表 者・主 任	會長 播本金五郎				
現 況	從 事 員	専務 兼務 5人			
	保 護 人 員	直接保護 1人 間接保護 人 1時的保護 人			
	家 族 關 係	配偶アル者	配偶ナキ者	親アル者	親ナキ者
			1人	1人	
	教 育 程 度	不 就 學	普 通 教 育	中 等 教 育	專 門 教 育
		—	1人	—	
	前 刑 罪 質	殺 人			
		1人			
職 業 別	大 工				
	1人				
教 化 方 法	説法 訓諭 指導				
經 濟	基 金	2,763円			
	土 地	41L坪	300円		
	建 物	15坪 810円			
	備 品	299円			
	豫 算	1,392円 (昭和4年度)			
	財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
沿 革	大正10年11月安東分監設置ト共ニ設立翌年敷地ヲ購入シ同年5月事務所及收容所ヲ新築シテ今日ニ至ル				
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人 釜山輔成會						
所 在 地	慶尙南道釜山府富民町3丁目5番地						
經 營 主 體	財團法人 釜山輔成會						
開 設	明治44年12月						
宗 教 別							
代 表 者・主 任	會長 理事 河村靜水						
現 況	從 事 員	専務2人 兼務3人					
	保 護 人 員	直接保護6人 間接保護5人 1時的保護 人					
	家 族 關 係	配偶アル者 4人	配偶ナキ者 7人	親アル者 3人	親ナキ者 8人		
	教 育 程 度	不 就 學 4人	普 通 教 育 7人	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —		
現 況	前 刑 罪 質	恐 喝 1人	放 火 2人	強 盜 4人	窃 盜 1人	強 姦 1人	横領詐欺 2人
	職 業 別	靴 工 2人	竹細工 1人	煉瓦工 1人	麻裏工 1人	野菜商 1人	奉 公 勞 働 4人
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導					
經 済	基 金	3,471円					
	土 地	259坪 2,559円					
	建 物	145坪 8,005円					
	備 品	642円					
	豫 算	6,132円 (昭和4年度)					
財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業収入						
沿 革	大正3年1月ヨリ收容保護ヲ開始シ大正12年10月敷地ヲ購入シ事務所及收容所ヲ新築同15年5月組織ヲ財團法人ニ改メ次デ昭和3年6月不良少年收容所ヲ附設セリ						
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス						

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	馬山保護會				
所 在 地	慶尙南道馬山府午東洞92番地				
經 營 主 體	馬山保護會				
開 設	大正2年6月				
宗 教 別					
代 表 者・主 任	評議員長 板垣只二				
現 況	從 事 員	専務 兼務 2人			
	保 護 人 員	直接保護 1人 間接保護 人 1時的保護 人			
	家 族 關 係	配偶アル者 —	配偶ナキ者 1人	親アル者 —	親ナキ者 1人
	教 育 程 度	不 就 學 1人	普 通 教 育	中 等 教 育	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	強 盜 傷 人 1人			
	職 業 別	日 傭 1人			
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
經 済	基 金	6,931円			
	土 地				
	建 物				
	備 品	148円			
	豫 算	11,375円 (昭和4年度)			
財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入				
沿 革	大正2年6月同地官民有志相諮リ設立セラレ大正3年會則ノ一部ヲ改正シ今日ニ至ル				
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス				

釋 放 者 保 護 事 業

名	種	晋州扶掖館							
所	在	地	慶尙南道晋州晋州面内城洞324番地						
經	營	主	晋州扶掖館						
開	設	大正2年8月							
宗	教	別							
代	表	者・主	館長 柳原 茂						
現	從	事	專務 兼務 3人						
	保	護	直接保護 3人 間接保護 5人 一時的保護 人						
現	家	族	關	係	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">配偶アル者 6人</td> <td style="width: 25%;">配偶ナキ者 2人</td> <td style="width: 25%;">親アル者 5人</td> <td style="width: 25%;">親ナキ者 3人</td> </tr> </table>	配偶アル者 6人	配偶ナキ者 2人	親アル者 5人	親ナキ者 3人
	配偶アル者 6人	配偶ナキ者 2人	親アル者 5人	親ナキ者 3人					
	教	育	程	度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">不 就 學 5人</td> <td style="width: 25%;">普 通 教 育 3人</td> <td style="width: 25%;">中 等 教 育 —</td> <td style="width: 25%;">專 門 教 育 —</td> </tr> </table>	不 就 學 5人	普 通 教 育 3人	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —
	不 就 學 5人	普 通 教 育 3人	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —					
	前	刑	罪	質	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">強 盜 4人</td> <td style="width: 25%;">其 ノ 他 4人</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	強 盜 4人	其 ノ 他 4人		
	強 盜 4人	其 ノ 他 4人							
職	業	別	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">理 髮 職 1人</td> <td style="width: 25%;">大 工 1人</td> <td style="width: 25%;">日 傭 5人</td> <td style="width: 25%;">和 裁 縫 1人</td> </tr> </table>		理 髮 職 1人	大 工 1人	日 傭 5人	和 裁 縫 1人	
理 髮 職 1人	大 工 1人	日 傭 5人	和 裁 縫 1人						
教	化	方	説法 訓諭 指導						
基	金	2,271円							
經	土	地							
	建	物	6坪 152円						
	備	品	398円						
	架	算	3,245円 (昭和4年度)						
對	派	基金利子 補助金 寄附金 事業收入							
沿	革	大正2年8月官民有志ノ贊助ヲ得テ設立シ慶尙南道保管ニ係ル土地建物ヲ無償借り受ケ經營シ今日ニ至ル							
備	考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス							

釋 放 者 保 護 事 業

名	稱	金山浦善隣會										
所	在	地	黃海道殷栗郡北部面金山里131番地									
經	營	主	金山浦善隣會									
開	設					大正14年4月						
宗	教					別						
代		表				者・主	任	會長 理事 水町忠三				
現	從	事					員	專務 兼務 2人				
	保	護					人	具	直接保護 人 間接保護 人 一時的保護 1人			
	家	族					關	係	配偶アル者	配偶ナキ者	知了ル者	親ナキ者
	教	育					程	度	不 就 學	普 通 教 育	中 等 教 育	專 門 教 育
	前	刑					罪	質				
	況	職					業	別				
教					化	方	法					
經	基		金		889円							
	土		地									
	建		物									
濟	備		品		63円							
	豫		算		1,324円(昭和4年度)							
	財		源		基金利子, 補助金, 寄附金, 事業收入							
沿	革					平壤刑務所金山浦支所職員主唱ノ下ニ地方官民有志ノ贊助ヲ得テ設立シ事務所ヲ當地本派本願寺布教所内ニ置キ收容所ハ朝鮮式木造平家建シ棟ヲ無料借受ケ經營今日ニ至ル						
備	考											

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人海州濟美會					
所 在 地	黃海道海州郡海州面北旭町					
經 營 主 體	財團法人海州濟美會					
開 設	大正元年10月					
宗 教 別						
代 表 者・主 任	會長 理事 朴相駿					
現	從 事 員	專務1人 兼務3人				
	保 護 人 員	直接保護4人 間接保護9人 一時的保護 人				
況	家 族 關 係	配偶アル者 10人	配偶ナキ者 3人	親アル者 2人	親ナキ者 11人	
	教 育 程 度	不 就 學 11人	普 通 教 育 2人	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —	
	前 刑 罪 質	殺 人 1人	強 盜 4人	強盜傷人 6人	竊 盜 1人	傷 害 1人
	職 業 別	大 工 6人	洋服職工 2人	日 稼 3人	魚 商 1人	草紙作リ 1人
	教 化 方 法	說法 訓練 指導				
	經 濟	基 金	3,100円			
		土 地	353坪 800円			
建 物		61坪 3,110円				
備 品		615円				
豫 算		8,080円(昭和4年度)				
財 源	基金利子, 補助金, 寄附金, 事業收入					
沿革	大正元年10月地方官民ノ賛同ヲ得テ海州保護會ヲ設立セリ 大正12年5月財團法人トナシ名稱ヲ海州濟美會ト改メ道知 事ヲ會長ニ推戴セリ					
備 考	現況欄ノ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金中ニ ハ貸家1棟2戸ヲ含ム					

釋 放 者 保 護 事 業

名	稱	瑞興保全會				
所	在	地	黃海道瑞興郡瑞興面映波里2114番地			
經	營	主	體			
		瑞興保全會				
開	設	大正11年5月				
宗	教	別				
		代表者・主任				
		會長 梁元鐸				
現	從	事	日			
			專務 兼務4人			
	保	護	人			
			直接保護 人 間接保護 人 一時的保護5人			
	家	族	關	係		
			配偶アル者	配偶ナキ者	親アル者	親ナキ者
			—	—	—	—
教	育	程				
		不 就 學	普 通 教 育	中 等 教 育	專 門 教 育	
		—	—	—	—	
況	前	刑 罪 質				
	職	業 別				
教	化 方 法					
		說法 訓諭 指導				
經	基	金				
			926円			
	土	地				
			407坪 230円			
	建	物				
		31坪 1,122円				
備	品					
		81円				
濟	豫	算				
			1,604円(昭和4年度)			
財	源					
		基金利子・補助金・寄附金・事業收入				
沿	革					
		大正11年5月瑞興分監ノ開設ト共ニ會員組織トシテ本會ヲ 設立シ今日ニ至ル				
備	考					

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	平壤保護會					
所 在 地	平安南道平壤府巖町14番地					
經 營 主 體	平壤保護會					
開 設	大正元年9月					
宗 教 別						
代 表 者・主 任	會長 理事 岡 友道					
現	從 事 員	專務 兼務 4人				
	保 護 人 員	直接保護 7人 間接保護 15人 一時的保護 5人				
現 況	家 族 關 係	配偶アル者 14人	配偶ナキ者 8人	親アル者 6人	親ナキ者 16人	
	教 育 程 度	不 就 學 5人	普 通 教 育 14人	中 等 教 育 1人	專 門 教 育 2人	
	前 刑 罪 質	窃 盜 4人	強 盜 8人	詐 欺 3人	殺 入 2人	放 火 其ノ他 2人 3人
	職 業 別	日 傭 職 工 4人	農 業 4人	商 業 5人	店 員 2人	其ノ他 3人
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導				
經 濟	基 金	11,415 ^円				
	土 地	379坪 3,406 ^円				
	建 物	48坪 1,296 ^円				
	備 品	483 ^円				
財 源	7,436 ^円 (昭和4年度)					
財 源	基金利息, 補助金, 寄附金, 事業収入					
沿革	大正元年9月平壤官民有志發起ニ依リ設立シ一時的保護ヲ與ヘツアリタルモ大正3年9月米國ハリケラハム敷地ヲ寄贈シ大正5年4月之ニ事務所及收容場ヲ新築シタリ					
備 考	現況欄ハ直接保護 及間接保護ニツイテノモノトス基金中ニハ貸家2棟3戸耕地1,925坪ヲ含ム					

釋 放 者 保 護 事 業

名	稱	鎮南浦養善院			
所	在	地	平安南道鎮南浦府新興里107番地		
經	營	主	體		
		鎮南浦養善院			
開	設	大正3年1月			
宗	教	別			
代		表			
者・		主			
任		院長 理事 富田儀作			
現	從	事			
	員	專務 兼務1人			
保	護	人			
	員	直接保護3人 間接保護4人 一時的保護 人			
家	族	關	係	配	偶
		者	者	者	者
		3人	4人	4人	3人
教	育	程		中	等
		度		教	育
		不	就	普	通
		6人	1人	—	—
前	刑	罪		強	盜
		質		物	—
		4人	2人	1人	—
職	業	別		大	工
		別		勞	働
		1人	1人	5人	—
教		化			
方		法			
法		說			
法		法			
法		法			
法		法			
經	基	金			
	金	358円			
土	地	564坪 1,182円			
	地	564坪 1,182円			
建	物	345坪 489円			
	物	345坪 489円			
備	品	80円			
	品	80円			
豫	算	1,232円(昭和4年度)			
	算	1,232円(昭和4年度)			
財	源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
	源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
沿	革	當地在住富田儀作外有志發起ノ下ニ本院ヲ創立シ大正6年保護場ヲ新設シ收容保護ヲ開始シテ今日ニ至ル			
備	考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス			

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	財團法人新義州自制會				
所 在 地	平安北道新義州府眞砂町3丁目1番地				
經 營 主 體	財團法人新義州自制會				
開 設	大正元年11月				
宗 教 別					
代 表 者・主 任	會長 理事 新藤寛三郎				
現 況	從 事 員	専務1人 兼務5人			
	保 護 人 員	直接保護2人 間接保護9人 一時的保護人			
	家 族 關 係	配偶アル者 4人	配偶ナキ者 7人	親アル者 5人	親ナキ者 6人
	教 育 程 度	不 就 學 5人	普 通 教 育 6人	中 等 教 育 —	專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	殺 人 放 火 2人	強 盜 6人	窃 盜 3人	
	職 業 別	鍛 冶 工 1人	指 物 工 2人	理 髮 工 2人	店 員 勞 働 1人 5人
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
經 済	基 金	11,070円			
	土 地				
	建 物	52坪 4,391円			
	備 品	353円			
	豫 算	14,560円(昭和4年度)			
	財 源	基本利子 補助金 寄附金 事業収入			
沿 革	元平北保護會ト稱シ大正元年11月創立ニ係リ大正6年9月現在ノ敷地ニ事務所及收容場ヲ新築シテ收容保護ヲ開始シ昭和3年12月其ノ組織ヲ財團法人ニ名稱ヲ新義州自制會ニ改メタリ				
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス基金中ニハ貸家1棟1戸ヲ含ム				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	江陵保護會			
所 在 地	江原道江陵郡江陵面			
經 營 主 體				
開 設	大正11年7月			
宗 教 別				
代 表 者・主 任	會長 吉田繼衛			
現 況	從 事 員			
	保 護 人 員	直接保護人 間接保護人 一時的保護人		
	家 族 關 係	配偶アル者 —	配偶ナキ者 —	親アル者 —
	教 育 程 度	不 就 學 —	普 通 教 育	中 等 教 育 —
	前 刑 罪 質	—		
職 業 別				
教 化 方 法				
經 濟	基 金	1,372 ^円		
	土 地			
	建 物			
	備 品			
	豫 算			
財 源				
治 革	大正11年7月設置セラレタルモ大正13年12月江陵支所廢止 ノタメ保護ヲ要スル者ナク現在事業中止ノ狀態ノモノ			
備 考				

釋 放 者 保 護 事 業

	名 稱	財團法人春川同胞會			
	所 在 地	江原道春川郡春川面佳淵里14番地			
	經 營 主 體	財團法人春川同胞會			
	開 設	明治45年 4 月			
	宗 教 別				
	代 表 者・主 任	會長 理事 古橋卓四郎			
現	從 事 員	兼務 4 人			
	保 護 人 員	直接保護 1 人 間接保護 1 人 一時的保護 1 人			
況	家 族 關 係	配偶アル者	配偶ナキ者	親アル者	親ナキ者
		—	1 人	—	1 人
	教 育 程 度	不 就 學	普 通 教 育	中 等 教 育	專 門 教 育
		1 人	—	—	—
	前 刑 罪 質	強 盜			
		1 人			
	職 業 別	雜 業			
	1 人				
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導			
經	基 金	3,392 ^円			
	土 地	151坪 300 ^坪			
	建 物	20坪 1,082 ^坪			
	備 品	104 ^坪			
濟	豫 算	5,262 ^円 (昭和 4 年度)			
	財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入			
沿	革	明治45年 4 月春川分監及同地裁判所職員相諮リ若干宛ノ豫金ヲ爲シ釋放者保護事業ヲ開始ス大正 5 年11月廣ク官民有志ニ會員ヲ募リ會則ヲ改正シ大正10年現在ノ地ニ事務所及收容所ヲ新築昭和 3 年 11 月組織ヲ財團法人ニ名稱ヲ春川同胞會ニ改ム			
備	考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス			

釋 放 者 保 護 事 業

名	稱	財團法人威興博仁會					
所	在	地	威鏡南道威興郡威興面雲興里554番地				
經	營	主	體				
		財團法人威興博仁會					
開	設	大正元年9月					
宗	教	別					
代	表 者・主 任		會長 理事 馬野精一				
現 況	從	事	員				
			專務 兼務2人				
	保	護 人 員		直接保護3人 間接保護3人 1時的保護1人			
	家	族 關 係		配偶アル者 2人	配偶ナキ者 4人	親アル者 2人	親ナキ者 4人
	教	育 程 度		不 就 學 5人	普通教育 1人	中等教育 —	專門教育 —
	前	刑 罪 質		窃 盜 5人	詐 欺 1人		
	職	業 別		左 官 1人	石 工 1人	勞 働 3人	無 職 1人
		教化方法					
		說法 訓諭 指導					
經	基	金 金		5,348円			
	土	地					
	建	物		28坪 2,163円			
	備	品		111円			
濟	豫	算		9,185円(昭和4年度)			
	財	源		基金利子 補助金 寄附金 事業収入			
沿	革		大正元年9月威興監獄内ニ事務所ヲ設ケ威興保護會ヲ設立シ大正2年10月威興監獄ヨリ事務所及收容場ニ充ツベキ建物ノ無料貸與ヲ受ケ大正12年現在ノ所ニ事務所及收容場ヲ新築翌年其ノ組織及名稱ヲ改メ今日ニ至ル				
備	考		現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	元山陽報會			
所 在 地	咸鏡南道元山刑務支所内			
經 營 主 體	元山陽報會			
開 設	大正2年4月			
宗 教 別				
代 表 者・主 任	會長 理事 山崎駿二			
現 況	從 事 員	専務 兼務3人		
	保 護 人 員	直接保護 人 間接保護 人 1時的保護 人		
	家 族 關 係	配偶アル者	配偶ナキ者	親アル者 親ナキ者
	教 育 程 度	不 就 學	普通教育	中等教育 専門教育
	前 刑 罪 質			
	職 業 別			
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導		
經 濟	基 金	1,985円		
	土 地			
	建 物	6坪 78円		
	備 品	77円		
	豫 算	2,233円(昭和4年度)		
	財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業收入		
沿 革	大正2年4月事務所ヲ元山分監内ニ置キ事業ヲ開始ス大正3年規約ヲ制定シ廣ク官民有志ニ會員ヲ募リ昭和2年7月名稱ヲ改メ會則ヲ改正シテ現在ニ至ル			
備 考				

釋 放 者 保 護 事 業

名 稱	清津保護會			
所 在 地	成鏡北道清津府巴町5番地			
經 營 主 體	清津保護會			
開 設	大正2年2月			
宗 教 別				
代 表 者・主 任	會長 大沼惟隆			
從 事 員	専務 兼務4人			
現 況	保 護 人 員	直接保護3人 間接保護3人 1時的保護 人		
	家 族 關 係	配偶アル者 2人	配偶ナキ者 4人	親アル者 3人 親ナキ者 3人
	教 育 程 度	不 就 學 2人	普 通 教 育 4人	中 等 教 育 — 專 門 教 育 —
	前 刑 罪 質	窃 盜 5人	強 盜 1人	
	職 業 別	被 捕 人 2人	勞 働 2人	木 種 1人 ブ リ キ 職 1人
	教 化 方 法	説法 訓諭 指導		
經 濟	基 金	3,350円		
	土 地			
	建 物	28坪 862円		
	備 品			
	豫 算	1,175円(昭和4年度)		
	財 源	基金利子 補助金 寄附金 事業収入		
沿 革	大正2年2月設立シ大正4年6月現在ノ土地ヲ借り受ケ事務所及收容場ヲ新築シテ今日ニ至ル			
備 考	現況欄ハ直接保護及間接保護ニツイテノモノトス 基金中ニハ貸家1棟1戸ヲ含ム 建物敷地ハ全部清津府有地ヲ無償ニテ借り受ケタルモノナリ			

聯 絡 機 關

名 稱	財團法人朝鮮社會事業協會	
場 所	朝鮮總督府內務局社會課內	
經 營 主 體	財團法人朝鮮社會事業協會	
開 設	大正10年4月11日	
宗 教 別		
代 表 者・主 任	會長 理事 兒玉秀雄	
現 狀	<p>毎月雜誌ヲ發行シ外ニ人事救護、兒童慰安會、社會教化映畫推進、乳幼兒愛護、例會、講演會ヲ開催ス</p>	
經 濟	基 金	34,175円
	土 地	
	建 物	
	備 品	
	豫 算	昭和4年度 13,649円
	財 源	基金收入、會員繳金、官廳補助金等
沿 革	<p>大正10年4月11日設立シタル朝鮮社會事業研究會ガ昭和3年12月31日名稱ヲ變ヘ朝鮮社會事業協會トシ一切ノ管理ヲ承繼シタルモノナリ昭和4年4月財團法人ニ組織ヲ改メ各道ニ支部アリ</p>	
備 考		

助 成 機 関		
名 稱	サルタレル財團	
場 所	朝鮮總督府内務局社會課内	
經 營 主 體	サルタレル財團	
開 設	大正5年6月19日	
宗 教 別		
代 表 者・主 任	理事 生田清三郎	
現 狀	年々内地、朝鮮内ニアル慈善教育事業ニ對シ助成金ヲ附シツツアリ	
經 濟	基 金	94,200 ^円
	土 地	
	建 物	
	備 品	
	豫 算	12,977 ^円
財 源	基金ヨリ生ズル收入	
沿 革	佛人「サルタレル」嬢ノ寄附金ヲ以テ慈善教育事業ノ助成ヲ目的トシテ寄附行爲ヲ定メ財團法人ノ設立ヲナシタルモノナリ	
備 考		

附 錄

朝鮮に於ける救濟制度の沿革

第一 總 說

朝鮮に於ける窮民救濟は遠く新羅の上代に於て源を王家仁政の餘澤に發したり。新羅の儒理王（新羅第三王五年、日本垂仁天王五十七年、西曆紀元二十八年）國內巡行の途、飢寒瀕死の一老嫗を見て惻隱怛恤して衣食を賜ふて之を救ひ、仍ほ全國の鰥寡孤獨老病にして自活の途なき者を調べて賑恤を施したるを嚆矢とし、爾後三國の仁君賢主が恩惠的に之を救恤したりしが、後三國爭覇の世となるや、各國は軍馬を練り兵糧を蓄ふる一面には民の饑饉を救ふて流亡を防ぐの必要生じ、茲に國庫を傾けて之を賑恤することとなり、以來救濟は専ら國家事業として行はれたり。

新羅は三國を統一し、次に高麗之に代ふるや、佛教の影響を受けて慈悲を以て君徳と爲し、歷代其の善政を誇るの事蹟として之を挙げざるはなく、或は常平倉を設けて備荒の策を講じ、或は義倉を設けて施餓救貧を爲し或は大悲院を設けて醫療を施したる等各種救濟の制度は多く麗朝に於て發達し當時救濟の政は實に經國濟民の全部たるの觀を爲したり。

李朝之を繼承するや、儒學の精神に基き王者民の産を制するに當り、一民たりとも飢寒溝壑に轉ずるは王者の責任なりと爲し、茲に國家は救濟を以て重要な政務とし、羅麗の遺制を擴張し、國力を盡して之れに従ひたり、李朝を通じ救濟行政上原則とせる事項は

一 自活の途なき窮民は、原因の凶歉によると其の他によるとを問はず國家が其の救助を保證す、苟も民を溝壑に轉ぜしむるは治者の責任にして仁政の汚點なり。

二 救助は先づ食糧を貸付し、全く窮乏せる者は其の生命を繋ぐに足る食料を施給するものとす。救助を與ふるは死を免かれしむるが爲なればなり。

三 救濟は迅速にして實情を得るを以て貴しとなす、機を失せば救濟の效薄く、實情に適せざれば反つて惡弊伴ふべし。

四 救濟の資源は先づ國費を節約して得たるものを以てし、尙救濟貸付により生じたる利息を以て補充ものとす、救濟費の爲に濫りに民の負擔を重ねるは又濟民の道に非らず。

李朝の救濟は大體此の原則に基き施行され、邦家五百年の仁政は大方是れに由りて表徴されたるが、其の中葉昇平の代に於ては國家の餘力は多く之れに費され、救濟餘りに遍洽して爲に民をして懦弱の風を馴致するの結果となり、季世に至りては諸般の弊政と共に是亦形式に流れて幾多の弊害を経験したり。

救濟事業の種類は備荒を最も重要となすものにして、常平倉、義倉及還穀、交濟倉及濟民倉、社倉等の制あり。次は救荒の臨機處置にして、蠲減、賑貸、賑恤、施食、輕糶及防穀、救荒方、願納等の方法あり。次は四窮丐乞の保養取扱にして、親族扶養、官府留養、寺院及民家收養、養老等の制あり。次は醫藥救療にして、大悲院、濟危舖、惠民局、活人署、濟生院、惠民署、廣濟院、月令醫等の施設あり。次は婚喪の顧助にして、特殊階級の婚姻督勵及喪葬費扶助の制あり、次は隣堡相救なりとす。以下順次詳述すべし。

第二 備 荒

備荒の政は農業立國の朝鮮に於ては經國の大政として歷代之に力を盡さざるはなく、其の施設は一に倉積の方法に依りたり、以下其の主なる施設に付叙述すべし。

一 常 平 倉

常平倉は高麗成宗王十二年（日本天元十七年、西曆九九三年）漢の太守耿壽昌の古制に則り、兩京及十二牧に設置したるに始まる。

太守耿壽昌、作穀倉、歲豐則增價以糶、歲歉則減價以糶、使穀賤不傷農、貴不傷民。名曰常平倉（漢書）穀倉の制は既に三國時代の昔にあり、高麗又其の設けありしも、此等は主として國家軍需に備ふる爲

にして、偶々饑饉あらば之を發きて賑恤を爲すを例とせしが、高麗三國統一の後を受け諸政漸く備ふるや、發倉賑恤の姑息策なるを憾み、國民の食糧を調節し、荒歉を防備するの策として先づ常平倉の制を採り、松京（開城）東京（慶州）及十二牧の郡邑に之を設けれ、豐年の時は高價を以て穀物を買集蓄積し置き、凶年の時は廉價を以て發賣し、以て穀物を貯へ糜費を防ぎ併せて穀價の平衡を保たしむること、せり。

此の制度は歴代之を襲用して當時農業の發達上多大の効果を奏し、引續き李朝に入るや、世宗此を擴張して京畿には常平廳、京外に常平倉を設け、各基本米を設置し、又穀物の外布木を加へて穀價騰貴の時は穀物を賣つて布を買ひ、下落の時は布木を賣つて穀を買ひ、穀、布併せ調節して國民をして衣食の常經あらしめたり。

然れ共施設既に久しく管理散漫にして、往々之を他に流用し或は兵火に濫失して更に收拾すべからざるに至りたるを以て、仁祖（日本元和二十二年、西歷一六三六年）遂に之を廢し、殘財は之を賑恤の資として整理したり。

十三年春二月罷常平廳、從戶曹副書崔鳴吉之言也、上以飢民賑救之資、不宜他用、以本廳物貨、賈米儲置、爲他日賑資、書啓其數、俾不得擅用（國朝寶鑑）

二 義倉及還穀

義倉は高麗の成宗五年（日本天元九年、西曆八九七年）専ら凶年賑貸の目的を以て各州郡に設置したるに始まる、義倉の制は往古陪の長孫晟が其の居村に設け村民と共に穀物を醸出して荒歉に備へたるに緣起す。高麗の成宗は政府の施設として之を經營せしめ、年々官穀の剩餘を義倉に納め、貧民に貸付して糶糶を行ひ、彼の常平倉と共に済民の效驗多かりしが、其の末葉に於ては兵亂と凶歉年を連ね朝廷は數々元朝に賑穀を請ふて繕かに急を救ふの状態にして、義倉は全く空虚せり。

次いで李朝となるや、國庫各種の穀物を擧げて備荒の資に充て、其の半數は之を据置き半數は年々民間に貸付し、翌秋之を還納せしむるを定例と爲し、之を還穀と名付けたり、世宗王の教書に曰く。

民惟邦本、食爲民天、此因水旱風雹之災、連年凶歉、至於有恒產者、亦未免飢餓故、爰命戶曹、定爲還穀之例、亦直發倉賑濟、守令之不恤民隱者、間亦有焉、已令有司治罪、嗟呼生民之衆、餓殍之狀、非予寡躬所能周知、監司守令、近民之官、當體予至懷、夙夜匪懈、賑窮賙乏、勿使飢餓、予將遣朝官、審其能否、如有一民餓死者、當抵罪不宥（世宗元年實錄）

爾來州牧の吏は、國租收入の米穀を或は義倉に、或は常平倉に、又は軍餉倉に、所在各種の倉倉に藏納し、地方必要の經費を支辨して後は、其の半額は据置き半額は歲の豐凶を問はず民間に貸付して秋之を還納せしむること、し、後に損縮を補ふ爲め耗穀を稱して一二割の利息を付し、之を以て一般農民の救済に資すると共に、一面倉穀の更新を圖り、朝廷は時々御使を派遣して之を督勵監査す、當

時倉舎の管守と還殺の出納は實に地方行政の重要事項たり。

還殺の充實せる英祖王時代(日本享保十年、西歷一七二五年)に於ける還殺總數は三百萬石を算へ、當時全生産の大部分を占めたり。

八道還殺數

道名	米 (石)	雜穀 (石)	計 (石)
京畿	二〇、三二八	三七七、三七六	三九七、六〇四
忠清	五一、四一七	四八八、五三三	五三九、九四五
江原	四五、三四六	二五八、四〇六	三〇三、七五二
黃海	三、八四二	一一七、九一八	一二一、七六〇
全羅	八〇、八七四	一三七、四〇四	二一八、二七八
慶尙	八五、二〇〇	八四七、四五七	九三二、六五七
平安	七一、七二五	六五、六六三	一三七、三八五
咸鏡	一六、〇六五	二三〇、四八六	二四六、五五五
計	三七四、六九四	二、五二三、二四二	二、八九七、九三六

還殺は斯の如き勢を以て毎年民間に循環され、近代に至るまで京郷大小の官吏は擧げて此の事の從

ひたれば、李朝歴世の政府が如何に救済に力を盡したるかを想ふべく、文恬武嬉五百年の治平を保ち得たる又之が力に頼るもの多しと云ふべし。

特に茲に注意すべきは、此の還殺賑貸の救済が餘りに普遍的に且つ數百年の長きに繼續したる爲め、其の結果は意外の影響を貽したるなり。即ち

第一 民生救済の恵に慣れ相率ひて懶弱に陥りたること。

第二 政府は多くの農産物と耕地とを領有し、地方の富を獨占して爲に民間産業の自由發展を妨げたること。

第三 地方官吏の横暴を助け、私に利殖を圖るの便を與へ、誅求の弊を伴はしめたること。

是れ正に還殺の制が生みたる弊害にして、之を繰返すこと幾年月、遂に民をして蘇生し難き困憊に陥しゝれたり。翼宗壬十三年（日本天保元年、西歷一八二九年）嶺南の文臣朴孝參が民情を具陳したる上疏はよく此の實狀を盡せり。

疏曰臣、罷官踰嶺、十有五年、目睹耳聞、不過生民疾苦、汚吏殘酷也、故不拘常格、敢效叫聞之悃。惟聖明垂察焉、外邑還殺之爲民弊者、無邑不然、其中最甚者、居昌、咸陽、山淸、安義、三嘉、等邑是已、每邑穀總、殆至十萬、而三營之穀、居其半、空穀之數、三之二也、有國之設置還殺者、一以儲軍餉、一以濟貧民、爲官長者、豈欲以空穀徵捧、而只緣穀總大多、耗剩漸溢、莫可以精實穀半

捧、捧之未半、歲且垂窮、民多逃走、於是乎勒徵隣族、而只欲畢免罪、有納無退、故純然空殼也、初頭所捧實穀、皆入色庫之餘弄、其外分給、全是空殼、民或投棄、空手歸家、其可曰濟貧民、而助農糧乎、此若斥賣則、一石之直、不過六七分錢、故官與吏、爭相貿取、仍留庫中、及至秋糴、以其貿置之空殼、屬之已捧、至於新捧之實穀、以錢代徵、專歸私橐、邑邑如是、年年爲例、可勝嘆哉、況於還糴之際、便成一番騷亂、民人多繫縣獄、斗粟難辨、將差遍搜閭里、寧儲已盡、飢男寒女、號哭相續曰、還穀戕我、甚至於父子兄弟、恩情或傷、而倫彝敦悖、鄉里族屬、讎冤輒生、而風俗乖戾、此莫非糴糶之致、且其空殼、倍於實穀、不可爲軍餉、不可爲農糧、此不足有無於國家、只爲貪污輩肥己之資、則何不爲變通、以思懷保之道哉、近年以來、使本邑作錢、移送沿邑穀少處、而惟其空殼、無以發賣於市場故、抄出境內之稍饒者、或給百石、或給五六十石、每石定以一兩二分錢、嚴督勒徵、當此錢荒之時、未由備納、或捐牛馬、或賣田庄、漸致蕩敗、以此觀之、勿論貧富、並受其殃、若欲永祛此弊、必減多爲少、以虛爲實也、今宜另擇廉明之人、別遣摘奸於穀多邑、反閱各倉、區別虛實、如無實粒、則雖投水火固無可惜、而若曰國穀、不宜全失、則以其虛殼三石、擴作實穀一石、及其秋糴、一直精捧、則此雖四五萬石、而軍餉可恃、農糧可助、貪猾之餘弄可杜也、生民之族苦可去也、如是釐正然後、又正其穀摠、大邑八萬石、中邑五萬石、小邑三萬石、至若元會穀、則折半分留、比營穀加倍、而監營穀則、自是盡分者也、每邑限以一萬石、則七十一州之當年耗條、爲七

萬一千石、此甚豐厚也、兵統營之穀量、宜定限、每邑置以四五千石足矣、如是定制然後、元會耗則、待春作錢、納于地部、以補經費、三營穀則、歸于該營、以爲需用、且耗條、勿論山沿、通同發賣、不爲偏留、以貽民害、則當此昇平之世、豈有流離之氓乎云々（文獻備考）
以て當時の還穀繁害の一端を知るに足らん。

三 交濟倉、濟民倉

李朝肅宗王より英宗王に至る間（日本延寶元年至享保年間、西曆一六七二年以降六七十年間）に施設されたるものにして、各道還穀の相互補足の用に備ふる爲め、南北沿海竝江岸運輸便利の地に建設し、北は交濟、三南は濟民と名付けたり、是れ還穀の制が地方を區劃とせるの結果、南北豐凶を異にする時は、互助融通の爲め此の施設を必要とせり、共に中央政府の直營に屬し、穀を移し以て民を移すの勞を省くに資したり。

諸道瀕海、設倉儲穀、遇隣道凶荒則、轉輸救濟、遇極凶則、別遣御史監賑（大典會通）

四 社 倉

社倉は宋朱子が隨長孫晟の創案に係る義倉の古制に稽へ、南宋崇安縣に於て里民共同の備荒貯穀を爲さしめ、百戸を以て一社となし、一社に一倉を設け、社首、檢校を置きて管理せしめ、社倉と名付けたるに濫觴し、其の法朱書に依り朝鮮に傳はり、李朝の初期より、或け地方官に於て此法を模倣し

て、官費を以て之を施設せるものあり、又は地方有志自ら相謀りて類似のものを設くるものありしが、肅宗三十年（日本延寶十三年、西暦一六八五年）左承旨李端夏の建議により、之を調査大成して、社倉條例を制定して各道に頒布せり、其の要領左の如し。

イ 里民凡そ百戸を一社とし、社に社倉を設く。

ロ 社倉は社民共同貯穀の所とす。

ハ 社倉は土築とし、社民共同出力して里内人口最も多き場所に之を築造す。

ニ 社民は毎年應分の穀物を醸出し社倉に貯納するものとす。

ホ 社穀は毎年其の半分は社倉に据置き、半分は春季に社民に還付するものとす、据置き穀物は毎年新穀を以て更新するものとす。

ヘ 据置き穀は都合により社内貧民に貸付す。利息は年二分とす。

ト 貸付を受けたる者罹災流亡し回収の途なきときは、社民之を分擔して元本を補充し置くものとす。

チ 社に社首及檢校を置き民選とす。社首は社務を管理し檢校は倉舍の守護及書記に任す。

リ 社倉は地方官の監督に屬し、戶曹の所管とす。

是れ社倉制度の梗概なり。從來備荒の施設は、主として義倉還穀の制により、官穀を民間に貸付し利

息を付して回收するの法あるも、専ら地方官の直接管理に属し、出納繁雜爲めに吏胥誅求の弊伴ひ易く、又一旦凶歉に遭へば回收の爲め苛政を重ねざるべからざるの結果となり、從て土豪鄉曲に武斷する者其の間に乘じて高利貸を爲し、弊害不尠に鑑み、李端夏社會の制は人民共同貯蓄により之を救済し、連帶責任を以て自治的に管理せしめむとしたるものにして、寔に進歩せる良法たらずんばあらざるなり、李端夏の社會論疏は、當時備荒行政の真相を設き盡したるを以て參考の爲め全文を掲ぐ。

隋文帝開皇五年、度支尙書長孫平奏言、周官貯蓄之法、試令諸州百姓及軍人、當社共立義倉、收穫之日、出粟麥貯之、即委社司檢校、每年收積、當社有饑饉者、即以此穀賑給、自是州縣、儲峙委積、至十六年詔曰、北境諸州、異於餘處、社會並於當縣、安置者、必以邊地軍糧、不可不儲於州縣故也、隋文之致富、庶蓋由於用此道、此事詳載于文獻備考、而朱子又著於綱目、並載胡氏史斷、曰賑飢莫要乎、近其人、隋置倉于當社、飢民之得賑、其庶幾乎、後世義倉之名、固在、而置倉于州郡、一有凶饑、文移往復、給散艱阻、監臨胥吏、相與浸沒、而受惠者、大抵城郭之近、力能自達之人耳、必欲有備無患、當以隋氏爲法云、唐制凶荒則、有社倉、賑給不足、則徙民就倉、諸州又置常平倉、常平與社會、爲公私交濟之法、社會一名義倉、高宗以後、稍假義倉、以給他備、宋太祖乾德元年、詔曰有事之後、義倉寢廢、歲或少歉、失於豫備、宜令諸州屬縣、各置義倉、民有願借倉粟、州縣即給以聞、義倉不足、當發公廩者、奏待報、厥後義倉、或復或罷、而皆在縣、仁宗慶曆初、賈

黠又請立民社義倉、而不果行、至明設後、朱子始建社倉之系、程宗所營崇安縣五夫里、請留官府移粟而爲之、七大夫鄉書、多徼行者、或聚私錢、或貸官穀、或義倉損私蠲放之、朱子以爲之作記、又以爲是支周委積之法、而暗唐義廩之遺制也、又請於朝、以兵法治之、以兵法治之、皆令賞之、設倉取息、到十分然後還納、此義倉之源委也、我國州縣、皆有倉、設諸糶、先徵以兵北境安南兩縣倉之制、而社倉則、未嘗設置、遠村之民、感仰官遺則、胡氏所謂給散稂、行吏侵沒者、在夕將然、惟幸昔時富戶積穀者、里々有之、民樂受富戶什五之私積、而鈔受官糶矣、自數十年來、州縣歸於私債、富戶與民、如欲還澤則、罔於刑禍、由是、富戶不復積穀、舉一國村闕問、私儲蕩然、飢民不得已、專受公穀、受納之祭、殘沒之費、反如於私債、刑杖催督、又從而刻急、民困之甚於昔時者、職由於此而、官穀當春夏、雖有折半留庫之令、不得遵守、終至傾竭乃已者、亦以民間無私儲可以交濟故也、朱子以爲、山谷小民、無蓋藏之積、雖樂歲、新陳未接、出倍稱之息、貸倉豪右、社倉、又可以抑僥倖、廣儲蓄、所謂僥倖卽倍稱之息也、今也、既使民間、私儲掃地而、又不設社倉、小民無遠慮、秋收之後、亦惟不節於朝夕、其他濫費之事、窮民不計有無、以竭力乃已、至春夏間則、遑々汲々、舉陷既死、此雖習俗之弊、亦上之人、制度有失焉耳、富戶專利、雖爲僥倖、然其當初、皆惜費而致之、故既富之後、又不自矜用、一里有富戶、則其里秋收大半、入積於富戶之廩中、不歸於濫費、春夏復受、得以連命、惟是社會、此爲私中之公、又無侵貧之慮、貨殖之謂、但使官吏、着實勸諄則、興行

不難矣、臣於丙午秋、鄉居、適披朱子記社會、心所有感發、遂與同里士民、聚私穀而設倉、各人所納、皆標其名、翌年夏各以其穀分給、則人人皆喜曰、此穀若在吾家、到今豈有餘存之理乎、其節用救急之效、便可見矣、取息至倍後、還給本穀於各人、以其所息、并濟里中、今則所息雖優故、里中鈔受官糶、民大便之、庚申、臣忝按畿輔、到界三日、卽出令、勸設社會而、未及秋收、臣徑遞去故、各邑不復遵行、此事利益、臣請悉數之、社會十二之息、視官糶則加一分矣、視私債則減三分矣、收息滴中、有滋益、無僥倖、此一利也。設倉里中、收納便近、又無吏胥縱橫侵沒之弊、此二利也。里人視社會、如其家藏、不甚催督、自能一齊還債、而最窮之民、趁未備納則、有司雖奪其種子、而藏之、亦不怨者、以來歲、可以無弊還受故也、以此欠逋之慮、不如官糶、此三利也、民間既有積貯、則鈔受官糶、始可留庫年久、慮其糜傷、則以民結、散給改色而已、官庫儲蓄常存、不至枵然、此四利也。凶年饑歲、公私俱有蓋藏、民無死亡之患、豈有變亂則、軍糧亦足、此其爲利、又何可以盡言也。臣自辛亥年間、疏陳此事、廟堂自其時、果能視爲大政、出力勸設、十數年之間、民間儲蓄、必大食其功、而甲寅年姑續事目、厥後更無人主管、仍歸不成、豈非可惜也。此事在我國、先正臣李頊、近故儒臣尹宣舉、各設於所處鄉社、致仕官宋時烈、亦記於懷德、清州兩處、其爲便益、不獨巨驗之於鄉邑諸處而已、今者議貸公穀、使之遍設於國內者、亦不於朱子已行之法、而既貸公穀而設倉則、因其設施規模、兼可以私聚、此乃善誘之方法也、惟是各邑、倉吏庫子等、常以糶糴、爲出納

侵沒之利、而分與各里則、頗失其利、故此輩最厭之、守令之怠於奉行者、又聽吏輩之言、既不以誠心曉諭民間、以爲不可行、士民識其便者、聞有新令、雖欲設行、官亦先示誡々之色、沮遏其願、何必頂虛其或有不善行者、而初不爲之勸行也、其能勸獎成就、使之久行不罷者、亦在朝廷、力主官吏善導而已（文獻）

然れ共此制度の如き人民の自覺に俟つべきものは、栗谷、尤菴の如き學德兼備の中心人物のなき限り官治行政全盛の當時に於ては其の實現を期すること容易ならざるものあり、廟堂數々之を督勵するも地方遍く實施さるゝに至らず、爾來百餘年猶還穀出納の弊は依然として存したりしが、李太王三十二年諸政更新の時、從來國有の還穀を各面に下附し、而を共同團體と認め、之を基本として社倉を経營せしめ、社還條例を發布して之を處理せしめたり。

社還條例

開國五百四年（明治三十七年）
度支部令第三號（西曆一八九五年）

第一條 社倉は從來の還穀を各面に分付して該面の公穀と爲し、窮節（主として春夏の交）に於て貧民に賑貸を爲すものとす。

第二條 社倉は面内に於て交通運搬の便利なる地點を選び、其の面里協議費を以て倉舎を築造すべし。

第三條 社還管理に關する事項にして本條例に規定なきものは、其の面里の公議に従ひ處理すべし。

面内の徳望家五人を選舉し、其の中より議員を定むべし。

第四條 社倉には社首一人、守倉一人を置き、面民の公議により選任し、郡守に報告すべし。

社首の印章は郡守に於て製造し下附するものとす。

社首、守倉は社倉の帳簿と鎖鑰を各別に保管し、社穀の増減を許さざるものとす。

第五條 社首及守倉には面公議に依り相當の報酬を支給することを得。

第六條 社穀は左の方法に依り出納するものとす。

一 歉荒又は不虞（水、旱、風、蟲の災害、疾病の類を云ふ）の歲には貧困者に貸付し、年賦又は一年を以て償還せしむ、但面民の公議によるべし。

二 平年は一般面民の志願により春之を貸出し秋之を回收す。

第七條 賑貸穀には米一石に付五升の利剩を付す。

利剩の收入は給料雜費及鼠損補足に充つるものとす。

第八條 郡守は社倉を監督す。

郡守は時々吏員を派遣して之を監査し、又社首より必要の報告を徴すべし。

第九條 社首は毎年三月社穀の計算書を作り、公議を経て各里民に回覽すべし。

第十條 面民は社穀の處理に付き郡守、觀察使に意見を開申することを得。

第十一條 市穀の出納は必ず豫め、期日を定め收納の時は近方の者を先にし、交付の時は遠方の者を先にして人民の便宜を圖るべし。

第十二條 各里に保正一人を置き、社穀に關し其の里民の保證に任するものとす。貸付を受けたる者逃亡したる時は、保正に於て其の里民に排分して之を補充すべし。

第十三條 面營經の社倉の外退職の官吏又は士民、其の居村の爲め穀倉を私設して賑貸を爲す者ある時は、本條例は之を妨げず。

第十四條 社穀は毎年三月上旬新穀未出の時に貸出し、十月下旬之を收納するものとす。斗量は面民をして之を爲さしめ、計量の不正なからしむべし。

貸出の期日は社首之を定め、各里の保正に通告し、保正より里民に告示するものとす。

第十五條 倉舍及所屬什器は守倉之を保管し、擅に毀損し又は他に使用することを許さず。若し損失したる時は直ちに辨償すべし。

倉舍の修繕は其の面内各里輪番を以て之を負擔すべし。

第十六條 地方官は毎年倉穀出納の状況を調査し度支部に報告すべし。

第十七條 里民の保證及負擔排分の方式左の如し。

排保式

本里の人戸左の通り報告す

年月日

某里 保正姓名 印

社首姓名 座下

計開

甲 戸 姓 名 職業 居住年月

姓 名 同 同

乙 戸 姓 名 同 同

姓 名 同 同

第十八條 社還米の貸付を受けむとする時は請米狀を提出すべし。

請米狀式

某里居甲（或乙）戸姓名儀社倉の米を借り受け秋成を待ちて乾燥せる良米を以て返納可致萬一保内に逃戸ある時は保内の者均分補償し敢て違誤可無保證候也

年月日

某里 保正姓名 印

甲（又は乙）戸姓名 印

社首姓名 座下

第十九條 本條例は開國五百四年十月一日より施行す。

於是社會の制は貯蓄の性質を失ひ、國庫より下附せられたる還穀を基礎として、面を單位とせる一種の團體により面民に農糧、種子等の融通を圖るの機關となり、從來官營還穀の積弊を革罷し、農家經濟の救済に資して有效の制たり。然れ共當時國家多艱にして内政の修治に遑あらず。是等亦未整理の儘隆熙政變に及び、殘存の米穀は其の後面里有の財産となりて社會の制は茲に終を告げ、此に代りて新に地方金融組合制度の發生を見たり。

第二 救 荒

救荒は凶歉災害に困る貧民の救済にして、國家當然の措置なるを以て夙に三國の時代より其の事例を見、歴代の明君仁政を誇るの事蹟として史上之を擧げざるはなく、高麗朝までは宮廷の重政として國王親しく之に當りしが、李朝に入りては特に國初に（日本元中九年、西曆一三九二年）救荒廳を設けて専ら其の事務を掌らしめ、仁宗四年（日本天文十八年、西曆一五四九年）之を賑恤廳と改稱し、財産を附屬せしめて其の普及徹底を期し、宣祖四十二年（日本慶長十三年、西曆一六〇八年）宣惠廳と改めて併せて備荒の政を管掌せしめ、各道に所屬郎廳を置き、一般地方官吏と共に内外備荒救荒の事に従ひしが、光武五年（明治三十四年）惠民院に改め、隆熙改革と共に廢止されたり。

救荒の方法は食糧の賑恤を最も普通と爲し、或は租税、徭役を減免し、或は種子、糧穀を貸付し、或は米穀を廉賣し及買占を禁じ、或は代用食物を獎勵し、或は飯粥の炊し施給を爲し、寄附を募集するを例とせり、以下之を詳説すべし。

一 蠲 減

凶歉の歳は田租を減免し、又は戶税、徭役を減免し、還穀の貸付しあるものは之を免除し、以て民の困窮を救済す、之を蠲減と稱して夙に三國時代より其の事例を見、李朝中世以降殆ど常例として行はれたり。

二 賑 貸

賑貸は高句麗に於て古國川王により既に法を設け、凶歉の歳は種子又は新穀を得る迄の糧食を限度として官府より倉穀を貸付し、豐作を俟て之を還收するの例を開きしが、高麗朝以後、備荒施設の漸く完備するに従ひ賑貸愈々頻繁に行はれ、或は凶年に貸付して豐年に回收し、或は冬春に貸付して秋に回收することあり、又全く無利息あり、若干の利息を付することあり、李朝還穀設置以後は例年賑貸を以て一般細民の救済策と爲すに至れり。後世之に利息を付することとなりて以來、賑貸は却つて國庫の爲め利殖を圖るの方便となり、救済必要の有無に不拘例年之を地方民に排分するの結果を致し、弊害愈々頻繁なりしが、近代社倉廢制と共に全く廢止されたり。

救済の初歩として最も古くより行はれたるものにして、食糧を主とし鹽、菴、衣、布等の現品を施給するを例とす、三國時代に於ては各國の君王は競ふて倉穀を發きて賑恤を施し、延いては隣國の流民をも救施し以て仁政の表徴と爲したり、爾後高麗朝を経て李朝に入りては、備荒賑貸の制備はりたるも、君主は惻隱の情を以て王政の本と爲し、歴代愛隣怡悶の詞絶ゆるなく、常に賑恤を施し、李朝賑恤廳施設以後は益々其の惠澤遍く、貧民の調査施恤遺憾なきを期したり、從て人民は凶年丐乞を爲すことは敢て之を恥とせず、流離官府に到り賑恤を請ふことを當然事の如く思ひ、地方官は之を救恤せざるべからざるの責任を有せり、仁宗王（日本天文十四年、西曆一五四五年）は大典に於て地方官にして賑恤に心を用ゐず、爲めに餓死者を出したる者及其の事實を隱蔽したる者を處罰するの規定を設け、各道還穀の利息として收入する耗穀は賑廳に附屬せしめて専ら撫恤の資に充つるに至り、賑恤頗る勵行されたり、茲に於て人民は熙皞の惠澤に溺れ、流離丐乞年を遂て増加せり、李朝の治世と稱する正祖王十年（日本安永十六年、西曆一七八七年）の記録には、全國の飢民二百七十二萬六千口、賑恤米三十七萬九千石を算し、之を同年の戶籍録に見るに、全國總人口七百三十五萬六千七百八十を録せるに比し實に其の三分之一の飢民を出せり。蓋し民をして乞食道に陥らしめ、倉穀を發きて賑恤を施すこと、寧ろ勤儉貯蓄の難事を教ふるより近易なる牧民術と爲したらむには、又以て恠むに足らざるべし。

正祖王十年に於ける飢民賑恤數及同年に於ける戸口調査を比較するに左の如し。

道別	飢民口數	賑恤米(石) (依實錄)	人口總數 (依文獻)
京城	九、六九七	四、八〇八	一九九、一二七
京畿	一七九、九三九	一三、四四四	六三七、四八二
忠清	—	—	八六四、八八七
全羅	一、一五六、四三九	八六、一七一	一、二二一、二七七
慶尙	一、〇八八、二八七	八三、五三一	一、五八八、六二四
江原	一、六〇三	九九四	三二五、八〇四
黃海	—	—	五六四、七三四
平安	—	—	一、二八八、三九九
咸鏡	二九一、五八八	二六、〇一四	六六六、四四九
計	二、七二六、五五三	三七九、二三〇 <small>(七十分)</small>	七、三五六、七八三

四 施 食

主として行旅貧民の爲めに沿道の驛亭又は寺院に食卓を設け、飯、羹、蔬菜、又は粥等を施給するものにして、是又政府の施設に係る、高麗朝に於ては寺院に官穀を下附して僧侶をして之に當らしめ

たり。當時國郡開城に於ける開國寺の如き、臨津縣に於ける普道院の如きは、文宗朝以來の常設施食所として、毎年春夏の交叉は自五月中旬至七月中旬、或は三月至立秋の間は、毎日食卓を開きて旅客を犒ひ、其の他の寺院此れに倣ふ者多く、當時流離丐する者往來群を爲して是れに就食するを例と爲す、若し此の設備なき時は過ぐる處部落に侵入して食物の掠奪行はれ、或は餓死路を蔽ふこと數々ありたり。李朝に入りても賑恤、賑貸を爲す迄の應急措置として數々設粥所を開き、時には王公百官親しく之に臨みて飢民を慰撫せるの例乏からざりしが、用ふること久しうして時種々の情弊伴ひ、管理監督の困難を訴ふるに至り近代遂に之を廢止せり。

顯宗王（日本萬治十三年、西曆一六七〇年）の時、領議政宋時烈疏を奏して賑政の弊を論じたるたもの設粥の實狀を盡せるところあり。参考の爲掲ぐ。

宋宗嘗謂、賑政莫如得實而早爲、朱子極稱以爲聖人之言、日者、賑政不得其實者、何限、而緩不及事者、又多、試以小官言之則、設粥之際、小邑、則其守令親自檢看故、濫僞或小、而至於大邑之分設於遠外者則、其監色、虛張飢民之數而、準受其米、以肥其腹、所設之粥、粒米甚稀、而又不足則添以新水、其食粥而猶死者、皆坐此也、此則不能得實之害也、又監司守令所請之事、朝廷例皆稽緩其所可否、不以時故、及得可否則、事機已變、無所及矣、此則不能早爲之害也、必須痛懲外方虛僞之弊而、外方所請、朝廷又疾速應副、然後、可以有補矣（尤菴集）

五 輕糶及防穀

輕糶は常平倉の糶物を廉賣するものにして、一般糧穀の供給を豊かならしめ、穀價の暴騰を防ぐ爲めに行ふことあり、又一定の貧民又は貧村を調査して特に其の救済の爲めに行ふことありたり。常平倉に關しては備荒の部に詳述せり。

防穀は輕賑に伴ふて起りたるものにして、一面穀物の廉賣を行ふと共に一面買占めを嚴禁し、其の效果の適確を期したり。防穀は地方官に於て臨時に令達を布告し、一定の期間官吏市場に臨みて箇々の賣買に干渉して、多量の買收は之を禁止し、又は米穀商の家宅に臨檢して多量の集積を禁じて速かに之を散賣せしむるの方法を取り、以て各其の地方産米をして貿易により境外に流出し、又は市利壟斷を圖る者の爲め局部に澁滯さるゝの弊害を防止せり、此の方法は常平穀輕糶廢止の後と雖も近世に迄行はれたりしが、隆熙改革後此の事例絶えたり。

六 救 荒 方

古來饑饉の時は農民は木實野草の類を採食するの風習あり、往々中毒して病難を惹起するを以て、救荒應に於て之を調査研究して代用食物として適當のものを選び、其の處方を編纂して救荒方として之を頒布し（李朝世宗王親しく救荒撮要を編纂せり）又平素之を混食して糧穀の節約を勸奨したるの事例數々あり。地方に於ては今尙此等代用食物を採食するの風習あり。現今俗尙救荒方の主なるものを

擧ぐれば左の如し。

一 水に煮て汁を搾り棄て米粟類と混合して粥を造るもの。

蓬、忍冬、藜、牛蒡、黃精、麥門冬、牛耳蔞、枸杞、車前子、蕨、桔梗。

二 水に晒して粉と爲し粥又は餅を造るもの。

橡實、葛根、苧絲子、蒼朮、松真皮、松葉、榆真皮、土伏苓。

七 願 納

官穀を以て賑恤を爲し、尙不足の時は地方官は富民より寄附を募集し、此れに應じて私穀を寄納するものは之を願納と稱す。其の五十石以上を願納せる者は、戸曹より以下は道より褒賞して之れを獎勵するを例とせしが、(大典會通) 李朝肅宗王(日本延寶五年、西曆一六七七年)の時官穀の缺乏に窮したるの餘り、之が補充策として官爵を賣るの備を作れり。即ち中樞府に定員外特別任用の(科擧に依らざる)同知、僉知の二官を設けて、米五十石を納めたる者には同知、四十石を納めたる者には僉知の官を與へ、辭令帖を交付して地方の素封家をして榮耀を郷黨に誇るの途を開きたり。其の教書に曰く、

凶歲賣爵、既載於朱子救荒條例則、誠是不得已之擧、所賣帖文、一依前謄錄爲之則、仕路混淆之讓亦所難免、追贈一款、既因吏曹參議李萬元疏、許令防塞、而家設實職中僉知、同知、受帖之後、依

正官例、謝恩封贈之故、同知價至於五十石、僉知價至於四十石之多而、除謝恩封職贈則、其價與通政、嘉善無甚異、米價不可以前數仍存、只取加設實職一款、稍加存減、別單添入、而其他帖文、依前定式施行（實錄）

此の濫薦は遂に寄附を強要し、空名帖と稱して無記名の任官辭令書を發賣するに至り、弊害云ふべからざりしが、英祖王（日本安永年間西曆一七〇七年）晩年之を罷め、其の篤志願納者に限り大典に依り褒賞することに止めたり。

第四 保 養

四窮の保護養育は救恤の第一歩として歴代其の事例甚だ多く、或は君主親しく鰥寡孤獨を訪ふて之を恵み、或は官穀を散じて老幼を犒ふ等、あらゆる賑恤は常に之より始まりしが李朝に入りては此等の保養は全く官府の義務と爲したり、英宗王經國續典實施以後其の規例稍々革りて、四窮にして自活の路なき者の救濟は、（一）先づ以て親族の扶養に依り（二）之れなき者は官府に於て之を留養し（三）尙民間の任意收養を計すことを例とせり、左に詳述す。

一 扶 養

朝鮮は古來親族愛睦の情敦く、艱難相扶養するは親族一般の情義にして、實に相互の義務たり。其の

範圍に於ては、大典に於ては「飢寒丐乞無親族者、老人無扶護者、量給衣料」とあり、族屬扶養に關し別に義務の範圍を定むることなかりしが、後世疏薄となり、光武九年刑法大全に於ては特に親族の範圍を制限せり、同法に依れば親族は經國大典五服の制に基き、喪禮による有服親を本體とし、至近の無服親を加へて親族とせり、從て親族扶養の義務は大體左の範圍に限られたり。

- 一 戸主同居家族
- 二 血族、十寸迄
- 三 準血族、一寸
- 四 配偶者、準配偶者、無寸
- 五 姻族、九寸迄
- 六 姻族の配偶者、三寸迄

刑法 大全 (光武九年至併合實施)

第六十二條 親屬と稱するは本宗(血族を謂ふ)及異姓の有服親並袒免親を謂ふ左の如し。

一 斬衰、齊衰なり。斬衰三年は父と長子、妻妾が夫及夫の父に、齊衰三年は母及嫡母、繼母と收養父母及慈母に、妻妾が夫の母に、齊衰杖期は嫁母、出母及妻に、齊衰不杖期は祖父母に、齊衰

五月は曾祖父母に、齊衰三月は高祖父母を謂ふ、嫡孫が祖父母の承重なるときは子の例に同じ。

二 恭親なり。衆子女と長子の妻と長孫と長曾孫と長玄孫と兄弟と姉妹と叔伯父母と姑と姪、姪女、夫の姪に、妻が夫の妻、子、己子を謂ふ。

三 大功親なり。夫の祖父母と伯叔父母と夫の姪婦と衆子の妻と衆孫と姪婦と從兄弟と從姉妹を謂ふ。

四 小功親なり。長孫妻、長曾孫妻、長玄孫妻、兄弟妻、從祖父母、大姑、從孫、從孫女、從伯叔父母、從姑、從姪、從姪女、再從兄弟、再從姉妹、外祖父母、外叔、姨母、甥姪、甥姪女等及同母異父の兄弟姉妹並夫の姑と夫の兄弟及兄弟の妻、夫の姉妹と夫の從姪及從姪女と夫の從孫、從孫女と夫の長孫妻、長曾孫妻、長玄孫妻を謂ふ。

五 總麻親なり。衆孫妻、衆曾孫、衆玄孫と從兄弟妻、從孫妻、從曾祖父母、從大姑母、從姪妻、從曾孫、從曾孫女、再從祖父母、再從大姑、再從叔父母、再從姑、再從姪、再從姪女、再從孫、再從孫女と三從兄弟姉妹、外叔母、甥姪妻、内外從兄弟姉妹と妻父母、女婿、外孫、外孫妻、姨從兄弟姉妹、庶母、乳母と夫の高曾祖父母、夫の從祖父母、夫の大姑、夫の從伯叔父母、夫の從姑夫の從兄弟及從兄弟妻、夫の從姪婦、夫の再從姪及再從姪女、夫の從孫婦、再從孫、夫の衆孫婦、夫の再從孫女、夫の衆玄孫を謂ふ。

六 無服親なり。本宗の同五世祖袒免親と異姓の外曾祖父母と外再從兄弟姉妹と從姨母の子と外

從姪、姨從妻、內從姨と妻祖父母、妻外祖父母、妻伯叔父母、妻姑、妻兄弟、妻兄弟妻、妻侄、妻姉妹と外曾孫と姑夫、姉妹夫を謂ふ。

七 同居繼父が子孫なく己の大功親なき場合に於ては、昇年、子孫及大功親共ある場合に於ては齊衰三月とす。

八 今不同居繼父は齊衰三月とす。

當時右の規定ありたるも、世道既に墜ちて特に族義を尙ぶ士族にあらざれば此れを守る者尠かりしを以て、隆熙元年改正刑法草案に於ては、若干其の範圍を縮少し其の遺棄する者を罰するの規定を設けたりしが、實行に至らずして併合と成れり。現今親族扶養の範圍と云ふは大體上述刑法大全規定の舊慣を云ふものとす。

改正刑法草案抄 (隆熙元年)

第七十二條 本法に親屬と稱するは左の如し。

一 祖父母、父母、夫妻

二 子孫及の其配偶者

三 兄弟姉妹及其の配偶者

四 兄弟姉妹の子及其配偶者

五 父母の兄弟姉妹及其配偶者

六 父母の兄弟姉妹の子

七 配偶者の祖父母、父母

八 配偶者の兄弟姉妹及其配偶者

九 配偶者の兄弟姉妹の子

十 配偶者の父母の兄弟姉妹

第七十三條 祖父母と稱するは高、曾、祖父母と外祖父母等の總稱、父母と稱するは繼父母、養父母及嫡母等の總稱、子孫と稱するは庶子、養子、繼子、曾玄孫、外孫等の總稱、兄弟姉妹と稱するは異父異母の兄弟姉妹の總稱なり。

養子たる者其の養家の親屬に於ける例は實子の場合と同じ。

第二百三十五條 自力に依り生存し能はざる老者、幼者若は病者を遺棄する者は三月以上三年以下の有役禁錮に處す。

老、幼、病者の保護の責任を有する者其の必須なる保養を缺くとき亦同じ。

第二百三十六條 資給を受け人の寄託に依りて老、幼、病者を保養し或は非法の所爲に原因したる保養責任を自負せる者、前條の罪を犯したる時は、一年以上四年以下の有役禁錮に處す。

第二百三十七條 老、幼、病者に必須なる保養を缺くに因り疾病死傷を致せしめたる者は、毆打、損傷の各本條に照し重に従ひて之を處斷す。

第二百三十八條 若し父母、祖父母が一家の耻辱を蔽はむが爲め或は養育し能はざるに因り幼者を遺棄したる者は其の罪を原宥し前各條本刑に二等又は三等を減ず。

扶養の義務は親等の近き者を先にするを順序とし、其の方法は先づ同居して衣食を共にすること普通にして、雙方の合意を以て別居する時は祭祀衣食の實費を供給するを限度とせり。

二 留 養

留養は扶養者なき者を官府に於て收容養育するものにして高麗朝以來は地方官に於て、當時又は隨時衣食を賑給するを例とせしも、後世行乞兒、遺棄兒増加し、其の措置に窮したるを以て、李朝正祖七年（日本安永十三年、西曆一七八四年）字恤典則を制定して、賑恤廳の事業として先づ京城に於ける棄兒の留養を爲さしめ、地方をして之に倣はしめたり、其の典則要領左の如し。

イ 行乞兒は十歳まで、道傍遺棄兒は三歳までを限度とし漢城五部は賑廳に報告し、同廳之を留養すべし、但し行乞兒は荒年麥秋に限る、（行乞能力ある者は荒歉季の外自在に行乞し得べければなり）。

ロ 行乞兒は賑廳外、倉門外の空間の場所、別に土宇を設けて留接の所となし、糧を給す。

ハ 遺棄兒は流丐の女人中乳ある者を選び、一女に兩兒を授けて哺育せしめ、米、醬及菹を給す、丐

女にあらざる者之を授け哺養せむとする者ある時は、一人に一兒を限りて委托し、米、醬及菘を給す。

ニ 行乞兒、遺棄兒を問はず民間之を收養せむとする者ある時は、經國續典に依り處分すべし。

ホ 行乞兒、遺棄兒、及乳女衣服なき者は、發見次第賑廳より之を給し、其の疾病ある者は惠民署より救療すべし。

へ 五部にして調査報告を怠り、賑廳郎官にして留養に勤ならざる者は處罰す。

ト 京外に於ては其の面里任より本牧守官に報告し、京城の例に準じて措置すべし。

守令違ふ者は道臣より論罪し、或は御史之を摘發して重きに從つて處罰す。

チ 京外に於ける遺棄兒は七歳までを限り衣食料を官給す。

是れ實に正宗王が慈恤の至意に出でたるものにして、現今孤兒院の制と軒輊なきを認むべく、其の年齢を制限して幼弱者に限り可成里預け又は民間に收養せしめたる等、其の用意の深さを見るべし。

此の典則は後世賑恤廳と共に廢止されたり。

三 收 養

收養は民家に於て子女又は奴婢たらしむるの目的を以て、遺棄兒又は貧民を收容養育するものにして遠く高麗の初代に於て寺院により緣起されたり、當時寺院に於て、僧侶は遺棄兒を收養して法父子の關係を結び、法を教へて相續者と爲し、其の他の流亡者は之を收養して、使役として寺院に隸屬

せしむるの慣例あり。漸次濫觴して民家之を爲す者生じ、後世に至りて人身誘拐掠奪の弊を醸したるを以て、李朝に入りては明律を引用するに伴ひ收養は一切官府の事業と爲し、私人の收養は之を禁止せり、當時引用せる明律には左の規定ありたり。

(收養孤老の條)

凡鰥寡孤獨及篤疾之人、貧窮無親屬依倚、不能自存、所在官司、應收養、而不收養者、杖六十、若應給衣糧、而官吏剋減者、以監守自盜論。

(立嫡子違法の條) 其乞養異姓義子、以亂宗族者、杖六十、若以子與異姓人爲嗣、罪同、其子歸宗、若庶民之家、扶養奴隸者、杖一百、卽放從良。

(收留迷失子女の條) 凡收留人家迷失子女、不送官司、而賣爲奴婢者、杖一百、徒三年、爲妻妾子孫者、杖九十、徒二年半、若得迷失奴婢而賣者、各減良人罪一等、被賣之人不坐、給親完聚。若收留在逃子女、而賣爲奴婢者、杖九十、徒二年半、爲妻妾子孫者、杖八十、徒二年、若得在逃奴婢而賣者各減良人罪一等、其被賣在逃之人、又各減一等、若在逃之罪重者、自從重論、其自收留、爲奴婢妻妾子孫者、罪亦如之、隱藏在家者、並杖八十。

然れ共民間收養の舊慣は全く之を破るを得ず、加之官費給養の結果は益々被收養者の増加を來し、限りある官費は到底悉く之を支辨し能はざるに至りたるを以て、中葉顯宗王以後は、漢城府の遺棄兒に

限り官府の免許の下に民間收養を許し肅宗王以後は、凶歉の歳は臨時救荒の措置として官帖（奴婢又は養子女たり得べき免許狀）を下付して自由に民家に就き活路を求めしめしが、英宗王（日本享保年間、西曆一七八〇年頃）經國續典に於て收養に關する事目を規定せるに依り、民間の收養は一般に之を許されたり。收養事目の要領左の如し。

凶歳に於ける遺棄小兒は人民に收養救活され、子と爲り奴と爲ることを許す。

イ 被收養者は年齢三歳未満の者に限る。

但し連年凶歉の際は八九歳乃至十五歳まで之を許す。

ロ 遺棄小兒を收養せむとする者は、小兒の年齢容貌を具し漢城は部、地方は郡に申出づべし、部及郡は小兒の父母ある者は父母、其の他は里任及隣人に就き事情を調査の上立案（免狀）を下付し、賑恤廳に報告すべし。

ハ 收養を爲したる者は、被養者を子女と爲し又は奴婢となすことを得。

奴婢と爲すに付ては、凶歉の程度、收養の久近により、或は一定年間を限り、又は終身若は子孫永代に至るまで之を爲すことを得（細項は臨時に事目として規定することあるべし）

收養子女は恩義上親子の關係を有する者にして、祀祭を相續する者にあらず。

ニ 收養六十日未滿の者、又は終始一貫せざる者は、前項の權利なきものとす。

ホ 有効に收養されたる者は、其の素公私の奴婢たる者と雖官主又は舊主は之を奪還することを得ず。へ 收養後三箇月以内に於ては、其の父母親族に限り率還することを許す、但し所養糧穀の二倍を賠償することを要す。

ト 永代奴婢たる者に收養されたる者は亦奴婢たるべし、但親奴婢の自家其の所屬を争ひ決せざる者は（何方に收養されたるかの事實判明せざるものを云ふ）良民たるべし。

チ 勢力を挟みて無理に他を收養し、又は之を奪還したる者又は本事目に依らず、私に父母相合意を以て收養を爲したる者は此を罰す。

是れ現今謂ゆる收養子女及び收養奴婢の慣習の根源にして先年賑恤廳廢止と共に此事目は廢止されたりと雖、今尙棄兒迷兒及貧民兒殊に女兒等が、多く民家收養に依り救濟さるゝは實に此の慣習によるものとす。

尙又寺院が此等遺棄兒の收養所たる事實は古今同様にして殊に李朝斥佛五百年來は良民の僧侶となる者甚だ少く、寺院は此等收養兒により法度を傳へ來りたるは事情不得已ものとす。女子遺棄嚴禁時代に於ても、寺院に於けるものは之を默認されたり、彼の斥佛崇儒の名臣宋浚吉先生が（景宗朝、日本享保、西曆一七二〇年頃）寺院に於ける棄兒を見て、

生 離 死 別 孰 爲 仁

天下元無不是親

荒年不忍同溝壑

爲置慈悲釋氏隣

と詠みて朝野の同情を喚び、寺院棄兒の父母を容宥したるは野乘の傳はるところなりとす。

四 養 老

養老は遠く三國時代より歴代君主の務めて意を用ゐたる所にして、老者を安ぜしむるは王政の始として之を優遇するは君徳を崇め長老尊敬の風教を作振するの要務たり、其の方法は主として優待の旨を表するに足るべく臨時恩賜に止め、其の四窮保養の範圍に屬せざる限り官費扶養は之を爲さざりき、即ち政府は直接之を保養せず、君上自ら老老の精神を示し、民をして老者を尊敬し、何人も之を優遇せざるべからざるの風、馴致し、以て老人をして其の餘生を安過せしむるの主意に出たるものにして、西洋に於ける養老恩給制度と趣を異にせり、是れ一に朝鮮が古來倫常を重ずるの禮俗に基くものにして、一面民生をして老後を慮りて各自勉勵し、竝子弟をして盡すところあらしむるの精神なりとす養老に關し政府が爲したる處置の歴代の事例を示せば左の如し。

一 國王巡幸の際は一般地方高齢者を召して衣食を賜ひ、又は饗宴を爲す。三國以後の恒例なり。

二 國慶の時は宮庭に於て養老の宴を張る（高麗朝以後の例）

三 耆老社を設けて文官正二品以上七十歳以上を以て組織し毎春秋に國王宴を共にす。

(李朝國初來の定例)

四 老人百歳以上は年始に米を賜ひ、毎月酒肉を賜ひ、九十歳以上は毎年酒肉及爵(盃類)を賜ひ、八十歳以上は爵を賜ひ、且毎年仲秋に於て宴を賜ひ、地方にある者は地方官をして餉應せしむ。一品以上は杖几を賜ひ、功臣の父母、妻、堂上官の妻にして七十歳以上は毎月酒肉を賜ふ。

(李朝初葉世宗以來の定例)

五 老人職を設け位階を與へて榮稱を享けしむ。(李朝肅宗王以來の定例)

(大典會通老人職の條) 年八十歳以上勿論良賤除一階、元有階者又加一階、士族婦女年九十者封爵、士庶人百歳者直超崇政(餘は略す)。

六 死刑又は徒流刑に處せられたる者、家に老病の父母又は祖父母あり他に扶養すべき者なき時は、特に減刑換刑の處分を爲し、家に留りて老親を養はしむるの例あり、明律の規定にして李朝に適用されたり。

(明律犯罪存留養親條) 凡犯死罪、非常赦所不原者、而祖父母父母老疾應侍、家無以次成丁者、開其所犯罪名、奏聞、取自上裁、若犯徒流者止杖一百、餘罪收贖、存留養親。

第五 醫 療

醫療救済は夙に高麗朝に於て佛教の精神により施設せられたり、靖宗王二年（日本長元九年、西暦一〇三六年）國都に東西二個所の大悲院を設け、醫藥及衣服を備へて貧困者の治療給養を爲し、僧侶をして之に従事せしめたりしが、後廢され別に濟危舖を興して一般救恤と共に施療を爲し、睿宗王の時惠民局に改めて専ら醫藥施療を爲さしめたり。

李朝に入りては太祖元年（日本元中九年、西暦一三九二年）高麗大悲院の制に倣ひ、京城に東西活人署を設けて國都に於ける貧困者の施療を爲さしめ、同六年別に濟生院を設けて、醫方の調査收蒐、醫書の編纂、刊行、藥物の調査、採集及女醫（主として脈及針灸術）の養成を爲さしめ、肅宗王三十五年（日本享保元年、西暦一七一五年）惠民署を設けて濟生院に代へ、一般民庶の救療を爲さしめしが、李太王十九年（明治十五年）共に廢止され、光武三年廣濟院の設置を見たり。

尙李朝肅宗王の時に於ては、救療機關として月令醫を設置せり、月令醫は特定の開業醫に對し月祿を給して醫療の用命に従はしむること今の公醫の如き者にして、義禁府及典獄署に各一人を置き、囚人の疾病治療を爲さしめ、成均館、四學に各一人を置き、在學儒生の疾病治療に従事せしめ、京城の五部に各一人を置き、一般部民の診療に従事せしめ、貧民に限り藥價を官給するを例とし、京外各州

又之れに倣ふて月令醫を置くことありしが、尋で醫學を科擧の一科に加へてより醫術の研修隆盛となり、一般醫業各州郡に普及するに至り、地方の月令醫は漸次廢止されたり。

第六 顧 助

顧助は宗親、士族の婚葬の費を國庫より扶助するものにして、李朝初葉以來の制なり。李朝國初に於ては、麗朝佛教の影響を受け女子を出嫁せしめざるの風習あり、世宗王の時是を督勵する方法として三十歳以上の女子を出嫁せしめざる者は其の家長を處罰すると共に、貧乏士族にして嫁資なき者は國庫より之を扶助するの法を設け（經國大典）ありしが、中葉以來は婚嫁を早くするの風を馴致するに至り、後世廢止されたり。

又正宗王の時は宗親優遇の方法として、特に貧乏にして婚姻の時期を過し、又は喪葬を營むこと能はざるものは、毎年之を調査して、其の費用を官給して婚喪の禮を修むるに遺憾なからしめたり。

古來朝鮮は禮節を重むじ婚喪は人生の大事たり、婚喪費の顧助は實に此の趣旨に出でたるものにして民間に於ても之を相扶助するの習俗となり、普通に契を造りて之を行ふものとす、今日各部落多數の婚喪契、喪布契、扶助契等は、此の互助の爲めに存在するものなりとす。

第七 隣 堡

隣堡相救は村落に於ける最も卑近なる救済にして、部落と共に發達せり、由來朝鮮の部落は家族の擴大したるものにして、古代に於ては隣人は概ね同族にして、一部落に於て祖先を同じうせる者、其の祖先の開きたる土地を耕して共同生活を營むに當り、一族同姓相結束し、艱難相救助するは人生の至情にして又自然の要求たり、古代三韓の開國は實に此の觀念に基きしものとす、爾來文物の發達と各種族の變遷とに連れ部落は異姓混居することとなり、同族的愛情は漸次薄らぎたるも、一面部落的共通生活の要求は益々切實となり、こゝに「隣人四寸」の觀念生じたり、即ち隣人は從兄弟の如く相友愛救助すべきものなりと云ふものにして、現今慣習上の隣堡相救は實に茲に發端せり、是れ歐米に於ける所謂隣堡事業と性質を異にせるところとす。

隣壁の救済は右の如く、族誼を基礎とせる隣人相愛の精神に基き慣習として行はるゝものにして、別に組織制度の存するなかりしが、李朝宣祖王の時（日本文祿年間、西曆一六〇〇年頃）栗谷により制定されたる郷約に於て具體的の規定を見たり。

郷約古也、同井之人、守望相助、疾病相救、出入相扶（中略）世衰道微、政荒民散、教替於上、俗敗於下、吁可悲哉、尊迪之方、莫如申明郷約（栗谷全書）

郷約 災難相恤の條

患難相恤之事

一曰水火

近者遣人、及時救之、甚則親往、多率人救、且弔之、家舍燬盡、則衆議、寄蓋草材木、出役了、往助構屋之役、若因之絕糧、則衆議、以財濟之。

二曰盜賊

近者同力追捕、有力者爲之告官司、其家貧、則爲之助出募債、若衣糧無餘則衆議以財濟之。

三曰疾病

小則遣人問之、甚則爲訪醫藥、貧則助其養疾之費、若闔家病臥、則隣里出力、耕耘以助。

四曰死喪

闕人、則助其幹辦、乏財、則賻贍借貸。

五曰孤弱

孤幼無依者、若能自贍、則擇其親屬之忠幹者爲之區處、其稽出納、或問于官司、以濟之、或擇人教之、及爲求婚姻、貧者、協力濟之、無令失所、若有侵欺之者、衆人力爲辨理、若稍長、而放逸不檢、亦防察約束之、無令陷於不義。

六曰誣枉

有爲人誣枉過惡、不能自伸者、勢可以聞於官府、則爲言之、有方略可以救解、則爲解之、或其家

因以失所者、衆共以財濟之。

七曰貧乏

有安貧守分、而生計大不足者、衆以財濟之、或爲之假貸置產、以歲月償之。

右患難相恤之事。凡有當救恤者、其家告于約正、隱則約中之近者、爲之告約正、令直月徧告、且爲之糾集而程督之、凡同約者、財物器用車馬人僕、皆有無相假、若不急之用及有所妨害、則不必借、可借而不借及逾期不還及損壞財物者、論以犯約之過、書于籍、有能行之者、亦書其善於籍、以告鄉人。

此れ粟谷が昔來の習俗に稽へて制定したるものにして、郷約は嚴格に實行さるゝに至らざりしと雖、此の種隣儕相救は今尙地方の美風として存在せるところ多し。

昭和四年九月二十日 印刷
昭和四年九月二十四日 發行

朝鮮總督府

京城府蓬萊町三丁目六十二番地

印刷所 朝鮮印刷株式會社

1969.12.1